

令和元年度

卒業生・修了生・就職先調査報告書

令和3年1月

福島大学教育推進機構

令和元年度 卒業生・修了生・就職先調査報告書

【目次】

調査概要.....	1
第1章 福島大学の教育に関する卒業生アンケート.....	3
第1節 概要と分析.....	3
第2節 単純集計.....	29
第1項 人間発達文化学類の卒業生.....	29
第2項 行政政策学類の卒業生.....	36
第3項 経済経営学類の卒業生.....	43
第4項 現代教養コースの卒業生.....	50
第5項 共生システム理工学類の卒業生.....	57
第2章 福島大学の教育に関する修了生アンケート.....	64
第1節 概要と分析.....	64
第1項 人間発達文化研究科の修了生.....	82
第2項 地域政策科学研究科の修了生.....	91
第3項 経済学研究科の修了生.....	99
第4項 共生システム理工学研究科の修了生.....	107
第3章 就職先に対する大学・大学院教育の成果に関するアンケート.....	115
第1節 概要と分析.....	115
第2節 単純集計.....	121
第1項 企業等アンケート.....	121
第2項 公共機関アンケート.....	126

調査概要

本調査報告書は、2019 年に福島大学の卒業生・修了生・就職先に対して行われた調査の結果をまとめたものである。調査の目的は、採用先における本学卒業生・修了生の評価や、大学・大学院の教育の効果および学修成果を明らかにすることである。本調査は 2019 年 12 月（12 月 17 日発送）から 2020 年 1 月（1 月 31 日締切）にかけて実施した。また、調査の方法については、卒業生・修了生調査では依頼ハガキを郵送して Web 調査を実施し、就職先調査では Web 調査と郵送のいずれかの方法で回答を集めた。本調査は主に教育推進機構が中心となって実施し、高等教育企画室が結果のとりまとめ、分析にあたった。

「福島大学の教育に関する卒業生アンケート調査」については、過去 3 年間（2016～2018 年）の福島大学の学士課程卒業生を対象とした。質問項目は、属性（性別・入学年・在学時の所属・卒業後の在学経験・現在の就業状況）、在学時の教育に対する評価、就業後における大学時代の経験の重要性、各種能力の修得状況、希望通りの職場・生活である。なお、調査票は人間発達文化学類・行政政策学類・経済経営学類・共生システム理工学類・現代教養コースの 5 種類を作成し、それぞれの卒業生に配布した。大部分の設問は共通しているが、一部・学類やコースの実情に応じた質問内容となっている。回収状況については、2943 名に送付し、347 名から回答を得た。宛先不明などによる返送 143 を除くと、回収率は 12.4% である。

「福島大学の教育に関する修了生アンケート調査」については、過去 3 年間（2016～2018 年）の福島大学の修士課程修了生・博士後期課程修了生・専門職学位課程（教職大学院）修了生を対象とした。質問項目は、属性（性別・入学年・在学時の所属・卒業後の在学経験・現在の就業状況）、在学時の教育に対する評価、就業後における大学院時代の経験の重要性、各種能力の修得状況、希望通りの職場・生活である。調査票の回収状況については、287 名に送付し、55 名から回答を得た。宛先不明などによる返送 18 を除くと、回収率は 20.4% である。

就職先に対するアンケートについては、過去 3 年間で福島大学の卒業生および修了生の採用実績のある企業等、および公共機関に配布した。調査票は企業等向け、公共機関向けの 2 種類を作成し配布した。質問項目は、属性（所在地・従業員数・業種・採用状況）、大学時代の経験の重要性、福島大学卒業生の能力水準である。このうち、属性および採用状況に関する設問は、企業等、公共機関によって異なる。これら就職先を合わせた調査票の送付数は 379 で、回答は 132 であった。宛先不明などによる返送 4 を除くと、回収率は 31.3% である。

なお、調査項目の多くは、平成 H22 年度と H25 年度に行われた「福島大学の教育に関する卒業生アンケート」および「就職先企業に対する大学教育の成果に関するアンケート」と共通している。

令和元年度実施 卒業生・修了生・就職先アンケート回収状況

	当初送付数 (A)	宛先不明等 返送 (B)	差引対象 者数 (A) - (B) = (C)	計 (無回答・重 複分除く)	回収率
人間発達文化学類	887	35	852	149	17.5%
行政政策学類	681	29	652	79	12.1%
経済経営学類	684	39	645	43	6.7%
共生システム理工学類	514	22	492	57	11.6%
現代教養コース	177	18	159	19	11.9%
小計	2943	143	2800	347	12.4%
大学院	287	18	269	55	20.4%
小計	287	18	269	55	20.4%
企業等	302	4	298	98	32.9%
公共機関	77	0	77	34	44.2%
小計	379	4	375	132	35.2%
合計	3609	165	3444	534	15.5%

第1章 福島大学の教育に関する卒業生アンケート

第1節概要と分析

本章は、学部卒の卒業生を対象とした「福島大学の教育に関する卒業生アンケート」の集計結果をまとめたものである。第1節では、各学類および現代教養コース（夜間主）の調査票を総合した集計結果について紹介する。具体的には、属性（性別・入学年・在学時の所属・卒業後の在学経験・現在の就業状況）、在学時の教育に対する評価、就業後における大学時代の経験の重要性、各種能力の修得状況について概括的に論じる。また、第2節では各学類およびおおよび現代教養コース（夜間主）それぞれの回答をまとめた。学類別の回答については、本章第2節をご参照いただきたい。

◎回答者の属性

「福島大学の教育に関する卒業生アンケート」回答者の属性は次の通りにある。まず性別は「男性」166名（48%）、「女性」167名（48%）、「未記入」14名（4%）であった（表1-1）。入学年については、「2013年」101名（29%）、「2014年」121名（35%）、「2015年」87名（25%）、「その他」26名（8%）、「未記入」3名（1%）であった（表1-2）。卒業年は、「2016年」12名（3%）、「2017年」108名（31%）、「2018年」119名（34%）、「2019年」104名（30%）、「未記入」4名（1%）であった（表1-2）。在学時の所属は、「人間発達文化学類」149名（43%）、「行政政策学類」79名（23%）、「経済経営学類」43名（12%）、「共生システム理工学類」57名（16%）、「現代教養コース」19名（5%）であった（表1-3）。

また現在令和2年度の学生現員は、男性58%、女性42%である（表1-1）。所属は、人間発達文化学類29%、行政政策学類22%、経済経営学類25%、共生システム理工学類19%、現代教養コース5%である。現員の構成を比較すると、卒業生調査の回答者の割合は、女性、人間発達文化学類の割合が高い一方で、経済経営学類が低い。そのため、本章は4学類および現代教養コースを合計した調査結果であるが、データを解釈するにあたって、このような性別や偏りを有するデータであることに留意が必要である。

卒業後の在学経験については、「なし」313名（90%）、「福島大学の大学院博士前期課程・修士課程」22名（6%）、「他大学の大学院博士前期課程・修士課程」11名（3%）、「その他」1名（0%）であった（表1-4）。なお現在の就業状況は、「常時雇用の社員・職員」283（82%）「パート・アルバイト・臨時の社員・職員」24名（7%）、「自営業主・家族従業者」1名（0%）、「無職」6名（2%）、「学生」25名（7%）、「その他」3名（1%）、「未記入」5名（1%）であった（表1-5）。よって、卒業生調査の集計結果は、常時雇用の身分にある卒業生の意見を強く反映したものと考えられる。

回答者の就職した年を尋ねた結果、「2017年」93名（27%）、「2018年」111名（32%）、「2019年」98名（28%）、「2020年」5名（1%）、「その他」14名（4%）、「未記入」26名（8%）であった（表1-6）。仕事先の業種については、割合が大きい順に、「教育・学習支援業」93名（27%）、「他に分類されない公務」64名（18%）、「他に分類されないサービス業」24名（7%）、「卸売・小売業」24名（7%）、「金融・保険業」21名（6%）、「情報通信業」21名（6%）、「製造業」20名（6%）、「医療・福祉」16名（5%）、「複合サービス事業」13名（4%）、「運輸業」13名（4%）、「建設業」8名（2%）、「その他」5名（1%）、「電気・ガス・熱供給・水道業」5名（1%）、「不動産業」1名（0%）であった（表1-7）。職種は、「一般事務」109名（31%）、「営業・販売職」56名（16%）、「サービス職」

27 名 (8%) , 「技術職」 35 名 (10%) , 「専門職」 65 名 (19%) , 「その他」 30 名 (9%) であった (表 1-8) 。

勤務先規模 (常用雇用者数) は, 「29 名以下」 59 名 (17%) , 「30-99 名」 63 名 (18%) , 「100-499 名」 90 名 (26%) , 「500-999 名」 37 名 (11%) , 「1,000-4,999 名」 34 名 (10%) , 「5,000-9,999 名」 16 名 (5%) , 「10,000 名以上」 28 名 (8%) , 「未記入」 20 名 (6%) であった (表 1-9) 。

表 1-1 性別

性別	回答者	現員
男性	166 (48%)	2259 (58%)
女性	167 (48%)	1643 (42%)
未記入	14 (4%)	0 (0%)
計	347 (100%)	3902 (100%)

※上表では現員数は食農学類 (平成 31 年 4 月設置) を除いた割合を示している。

表 1-2 入学年と卒業年 (西暦)

入学	2012	16 (5%)	卒業	2016	12 (3%)
	2013	101 (29%)		2017	108 (31%)
	2014	121 (35%)		2018	119 (34%)
	2015	87 (25%)		2019	104 (30%)
	2016	10 (3%)		未記入	4 (1%)
	未記入	3 (1%)		計	347 (100%)
	計	347 (100%)			

表 1-3 在学時の所属

所属	回答者	現員
人間発達文化学類	149 (43%)	1150 (29%)
行政政策学類	79 (23%)	864 (22%)
経済経営学類	43 (12%)	959 (25%)
共生システム理工学類	57 (16%)	745 (19%)
現代教養コース	19 (5%)	184 (5%)
未記入	0 (0%)	0 (0%)
計	347 (100%)	3902 (100%)

※上表では現員数は食農学類 (平成 31 年 4 月設置) を除いた割合を示している。

表 1-4 卒業後の在学経験

在学 経験	なし	313 (90%)
	福島大学の大学院博士前期課程・修士課程	22 (6%)
	他大学の大学院博士前期課程・修士課程	11 (3%)
	その他	1 (0%)
	未記入	0 (0%)
	計	347 (100%)

表 1-5 現在の就業状況

就業 状況	1 常時雇用の社員・職員	283 (82%)
	2 パート・アルバイト・臨時の社員・職員	24 (7%)
	3 自営業主・家族従業者	1 (0%)
	4 無職	6 (2%)
	5 学生	25 (7%)
	6 その他	3 (1%)
	未記入	5 (1%)
	計	347 (100%)

表 1-6 就職した年（西暦）

入学	1969	1 (0%)
	1976	1 (0%)
	2012	1 (0%)
	2013	1 (0%)
	2014	1 (0%)
	2015	2 (1%)
	2016	7 (2%)
	2017	93 (27%)
	2018	111 (32%)
	2019	98 (28%)
	2020	5 (1%)
	未記入	26 (8%)
	計	347 (100%)

表 1-7 仕事先の業種

業種	1 農林水産業	0 (0%)
	2 鉱業	0 (0%)
	3 建設業	8 (2%)
	4 製造業	20 (6%)
	5 電気・ガス・熱供給・水道業	5 (1%)
	6 情報通信業	21 (6%)
	7 運輸業	13 (4%)
	8 卸売・小売業	24 (7%)
	9 金融・保険業	21 (6%)
	10 不動産業	1 (0%)
	11 飲食店、宿泊業	0 (0%)
	12 医療、福祉	16 (5%)
	13 教育、学習支援業	93 (27%)
	14 複合サービス事業	13 (4%)
	15 他に分類されないサービス業	24 (7%)
	16 他に分類されない公務	64 (18%)
	17 その他	5 (1%)
	未記入	19 (5%)
	計	347 (100%)

表 1-8 仕事の職種

職種	1 一般事務	109 (31%)
	2 営業・販売職	56 (16%)
	3 サービス職	27 (8%)
	4 技術職	35 (10%)
	5 専門職	65 (19%)
	6 その他	30 (9%)
	未記入	25 (7%)
	計	347 (100%)

表 1-9 勤務先の規模(常用雇用者数)

規模	1 29 名以下	59 (17%)
	2 30-99 名	63 (18%)
	3 100-499 名	90 (26%)
	4 500-999 名	37 (11%)
	5 1,000-4,999 名	34 (10%)
	6 5,000-9,999 名	16 (5%)
	7 10,000 名以上	28 (8%)
	未記入	20 (6%)
	計	347 (100%)

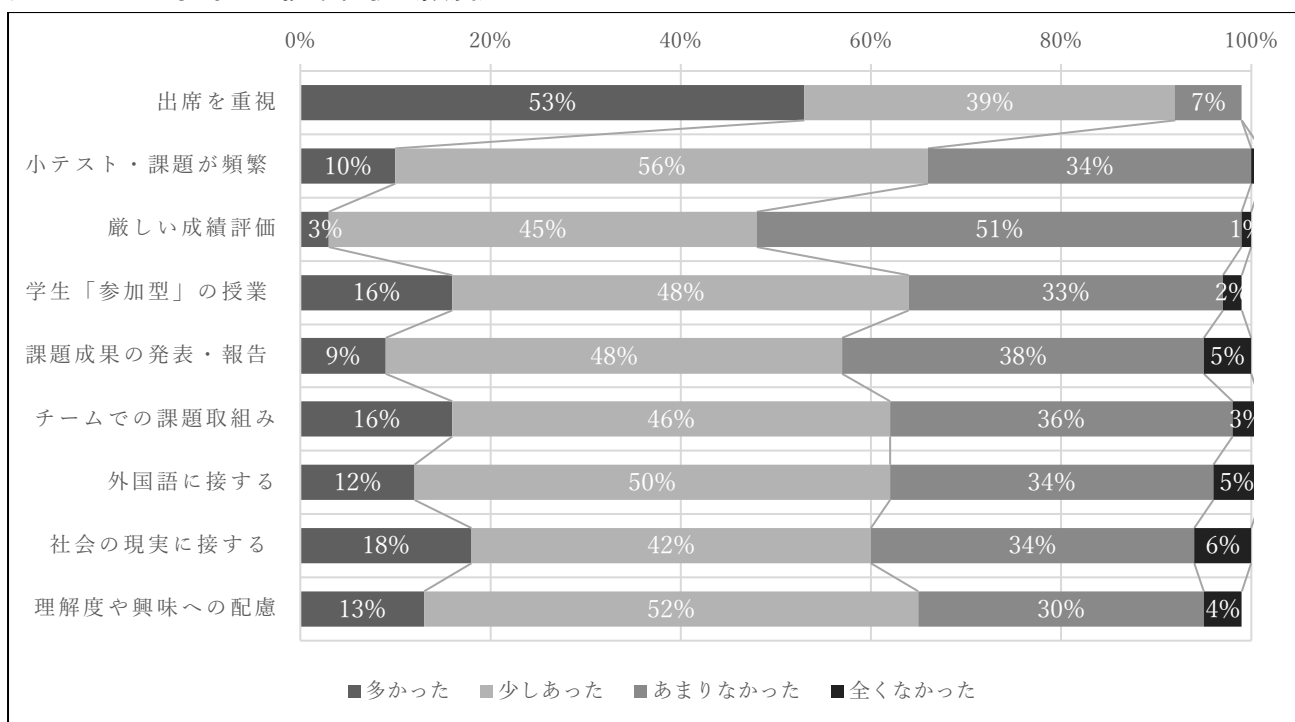
◎在学時の教育に対する評価

卒業生調査では、大学時代の授業経験（9項目）について、どれほど含まれていたか（頻度）、またどれほど必要であるかと考えるか（必要性）を尋ねている。具体的には、これらの項目は「出席を重視」「小テスト・課題が頻繁」「厳しい成績評価」「学生「参加型」の授業」「課題成果の発表・報告」「チームでの課題取り組み」「外国語に接する」「社会の現実に関接する」「理解度や興味への配慮」である。

まず授業内容の経験頻度では、「出席を重視する授業が多かった」ことは、「多かった」「少しあった」を合わせて9割超えている。また、その他の項目は「多かった」「少しあった」を合わせても、4～6割程度である（図1-1）。

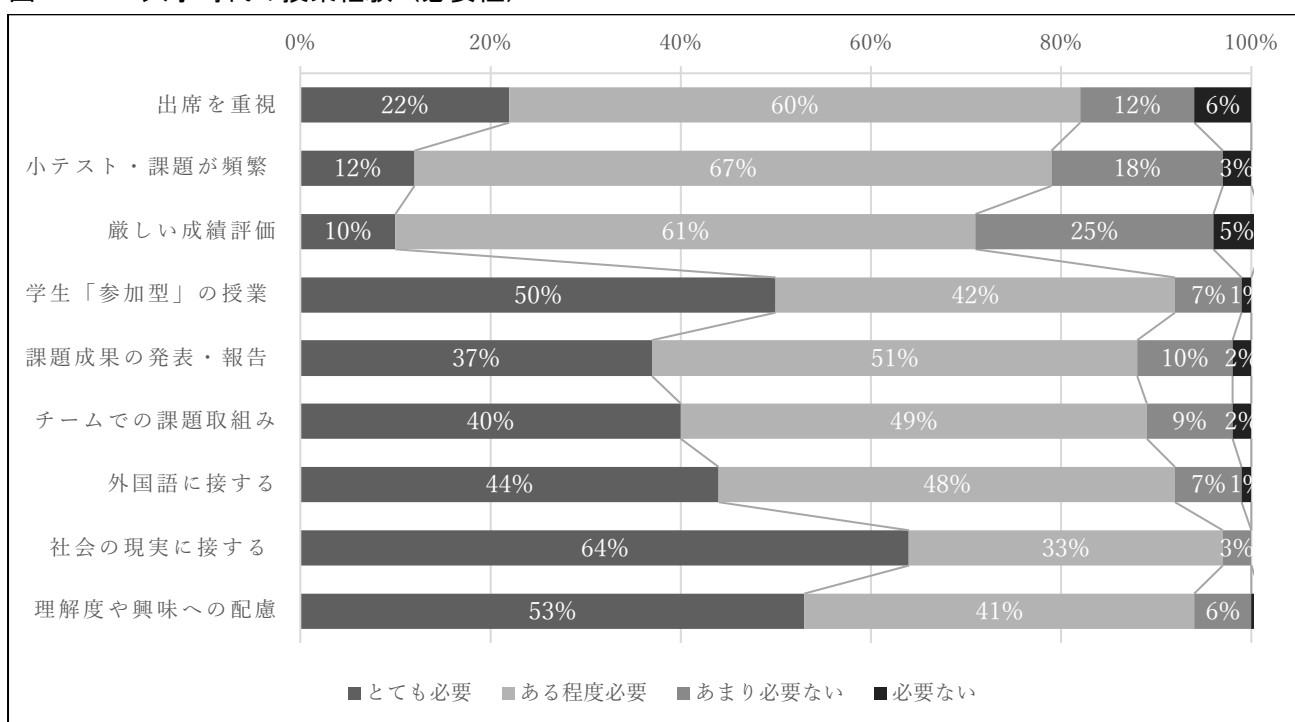
一方、授業の必要性では、「社会の現実に関接する」を「とても必要」とする回答者が最も多い（図1-2）。そのほか、「理解度や興味への配慮」「学生「参加型」の授業」「外国語に接する」に対するニーズも高く、「チームでの課題取り組み」「課題成果の発表・報告」「出席を重視」が続いている。また、「とても必要」「ある程度必要」を合わせて、いずれの項目も7割超えている。

図 1-1. 大学時代の授業経験（頻度）



※上図では「未記入」を除いた割合を示している。

図 1-2. 大学時代の授業経験（必要性）



※上図では「未記入」を除いた割合を示している。

◎教育制度・内容の評価

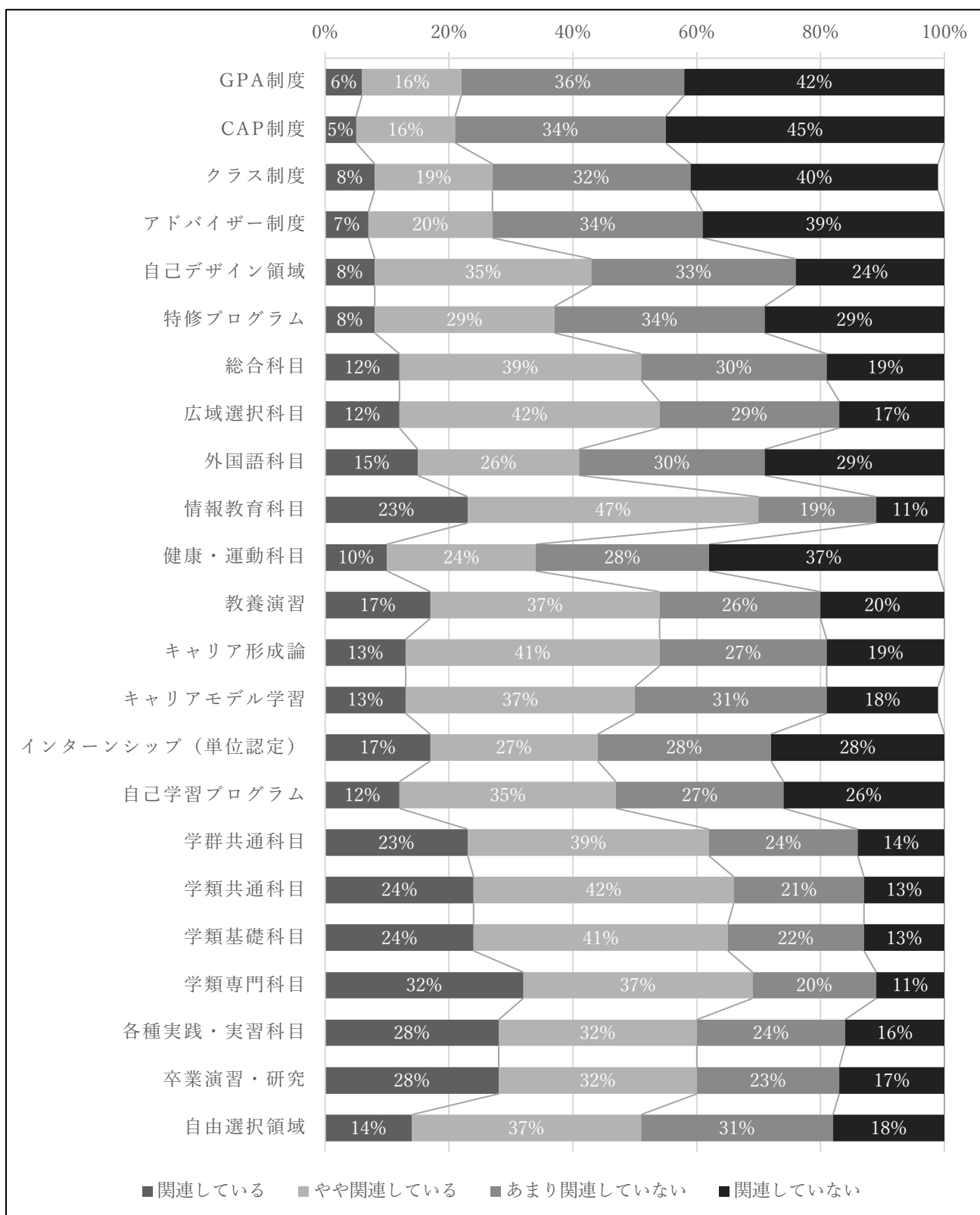
図 1-3～8 では、福島大学の教育制度・内容の集計結果を示している。これらは、全学類・コースの卒業生を対象とした共通の設問である。具体的には、「福島大学の教育制度・内容は、現在従事している職務・作業を遂行する上でどの程度関連しているか」（4 段階）について尋ねている。ここでは、全学類・コースの結果、および学類・コース別の結果を確認する。

まず各項目が関連しているかどうかについては、「関連している」「やや関連している」の合計割合を確認していく。割合が高い順に 3 項目（同率含む）を見てみると、卒業生調査では、「情報教育科目」70%、「学類専門科目」69%、「学類共通科目」66%である（図 1-3）。また学類・コース別の結果をみると、人間発達文化学類は「情報教育科目」70%、「学類専門科目」69%、「各種実践・実習科目」69%である（図 1-4）。行政政策学類は、「情報教育科目」77%、「学類共通科目」72%、および「学類基礎科目」と「学類専門科目」が同率で 71%である（図 1-5）。経済経営学類は「学類専門科目」と「学類共通科目」74%で同率であり、次はインターンシップ（単位認定）68%である（図 1-6）。共生システム理工学類は「情報教育科目」67%、「学類専門科目」64%、「卒業演習・研究」60%である（図 1-7）。現代教養コースは「自由選択領域」74%、「自己学習プログラム」73%、「学類共通科目」および「学類専門科目」が同率で 71%である（図 1-8）。学類によってばらつきはあるが、「情報教育科目」は選択される割合が高い。平成 25 年度の卒業生調査では「情報教育科目」の重要性を指摘する声は必ずしも高くなかったが（9 頁）、今回の調査では大幅にその声が高まっている。この結果は、情報化社会の進展の中で、情報教育科目のニーズが高まっていると推測される。

次に各学類の違いに着目するため、学類別の教育制度・内容の評価各項目について見てみよう。その結果、とくに人間発達文化学類の卒業生は、ほかの学類よりも「クラス制度」（表 1-10）「健康・運動科目」（表 1-11）「各種実践・実習科目」（表 1-12）について、現在従事している職務の遂行に関連していると考えている卒業生が多い。こういった回答傾向は、卒業生に学校教員となっている者が多いことに起因すると考えられる。なお、ほかの項目では学類の回答に違いが見られないが、学類別の詳細は本章第 2 節をご参照いただきたい。

図 1-3. 教育制度・内容の評価（令和元年度調査の結果-全員）

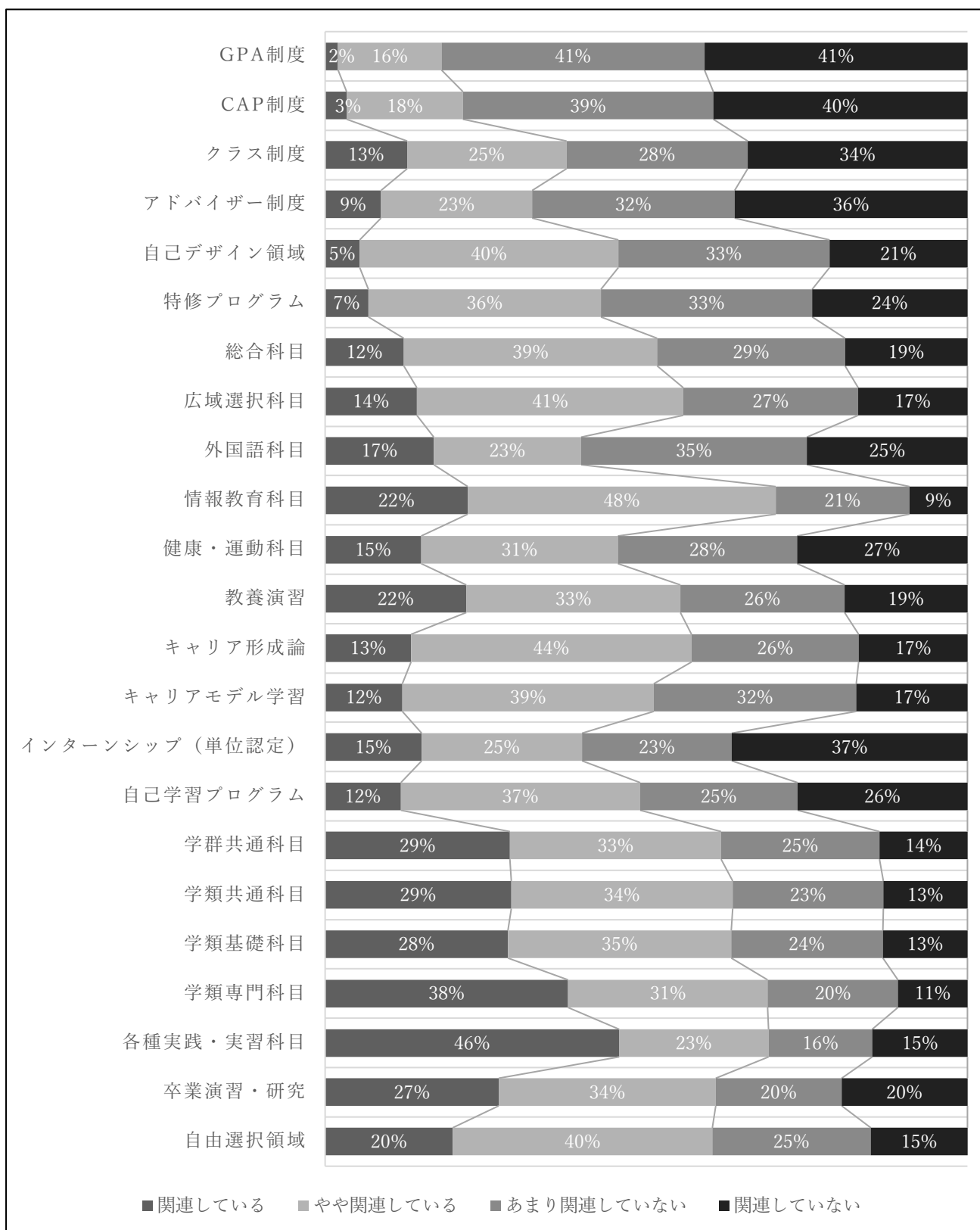
現在従事している職務・作業を遂行する上でどの程度関連しているか。



※上図では「未履修」「未記入」を除いた割合を示している。

図 1-4. 教育制度・内容の評価（令和元年度調査の結果-人間発達文化学類）

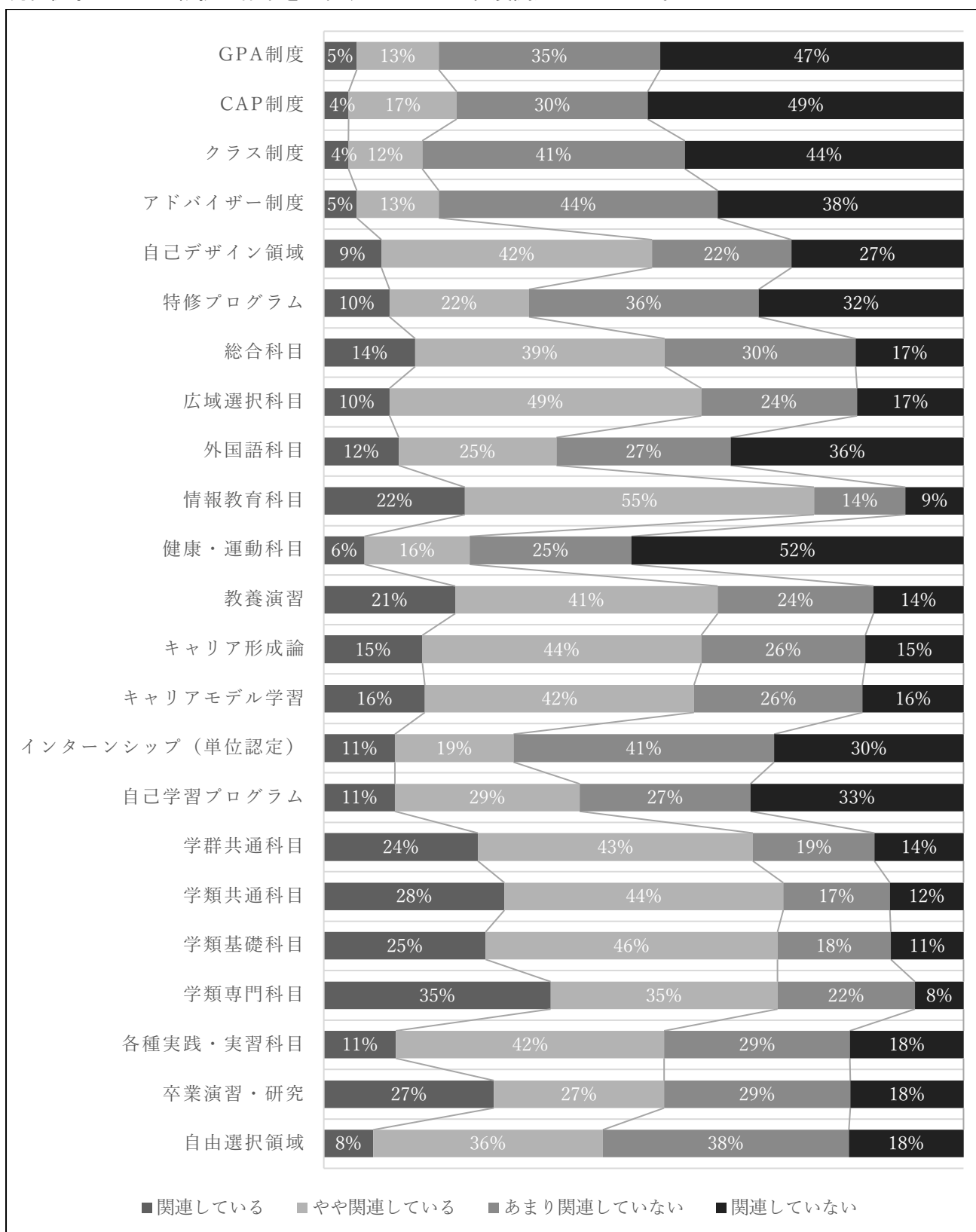
現在従事している職務・作業を遂行する上でどの程度関連しているか。



※上図では「未履修」「未記入」を除いた割合を示している。

図 1-5. 教育制度・内容の評価（令和元年度調査の結果-行政政策学類）

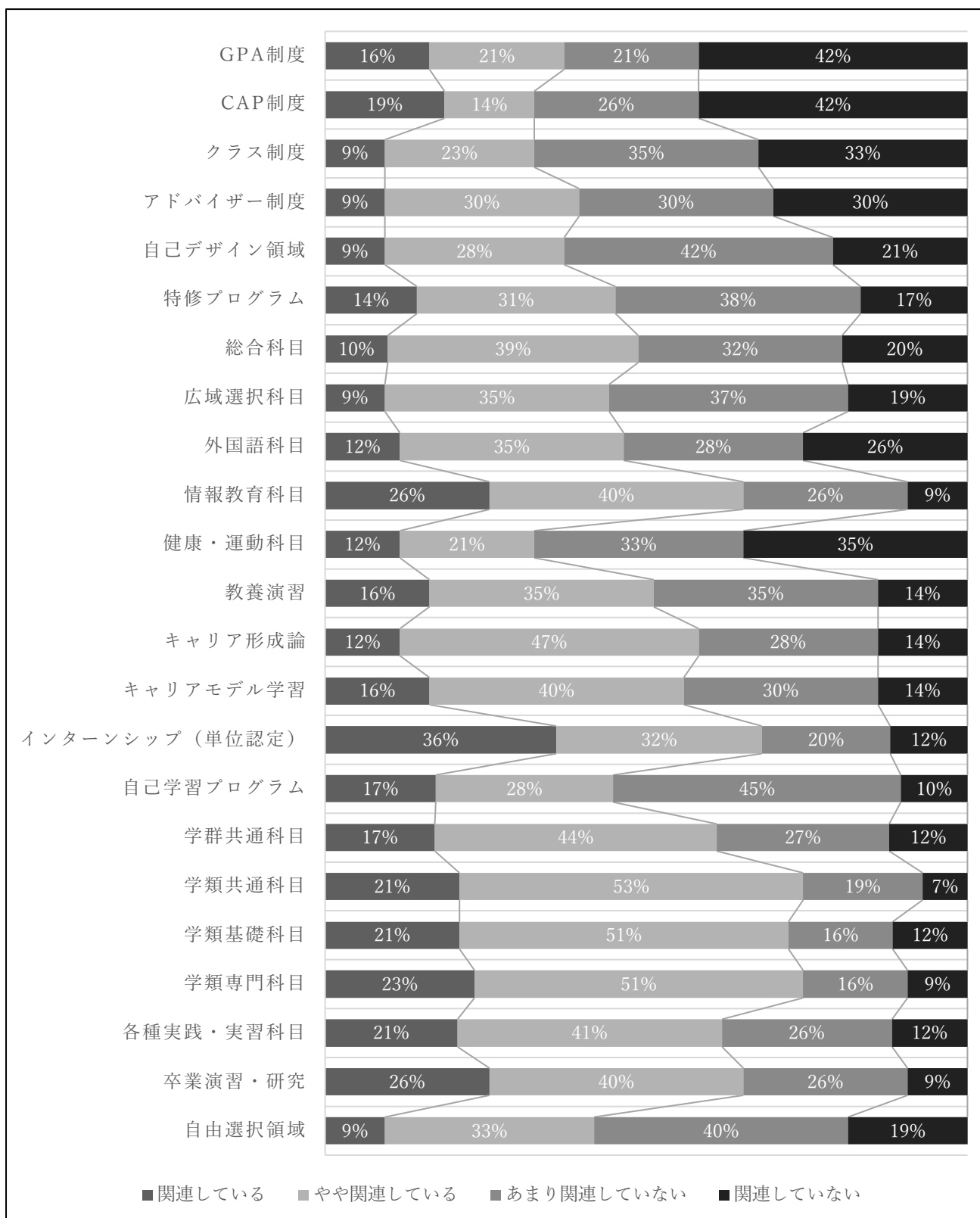
現在従事している職務・作業を遂行する上でどの程度関連しているか。



※上図では「未履修」「未記入」を除いた割合を示している。

図 1-6. 教育制度・内容の評価（令和元年度調査の結果-経済経営学類）

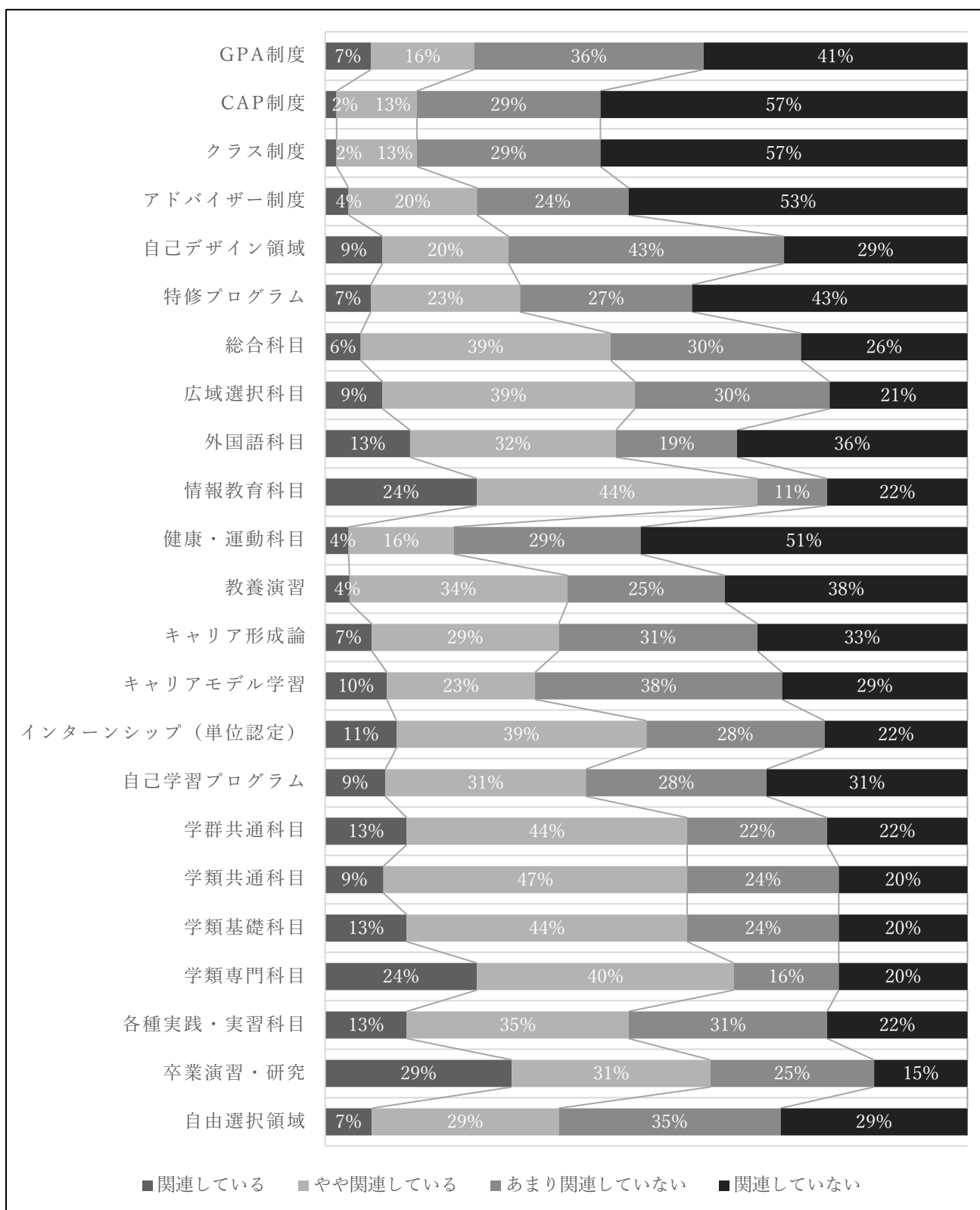
現在従事している職務・作業を遂行する上でどの程度関連しているか。



※上図では「未履修」「未記入」を除いた割合を示している。

図 1-7. 教育制度・内容の評価（令和元年度調査の結果-共生システム理工学類）

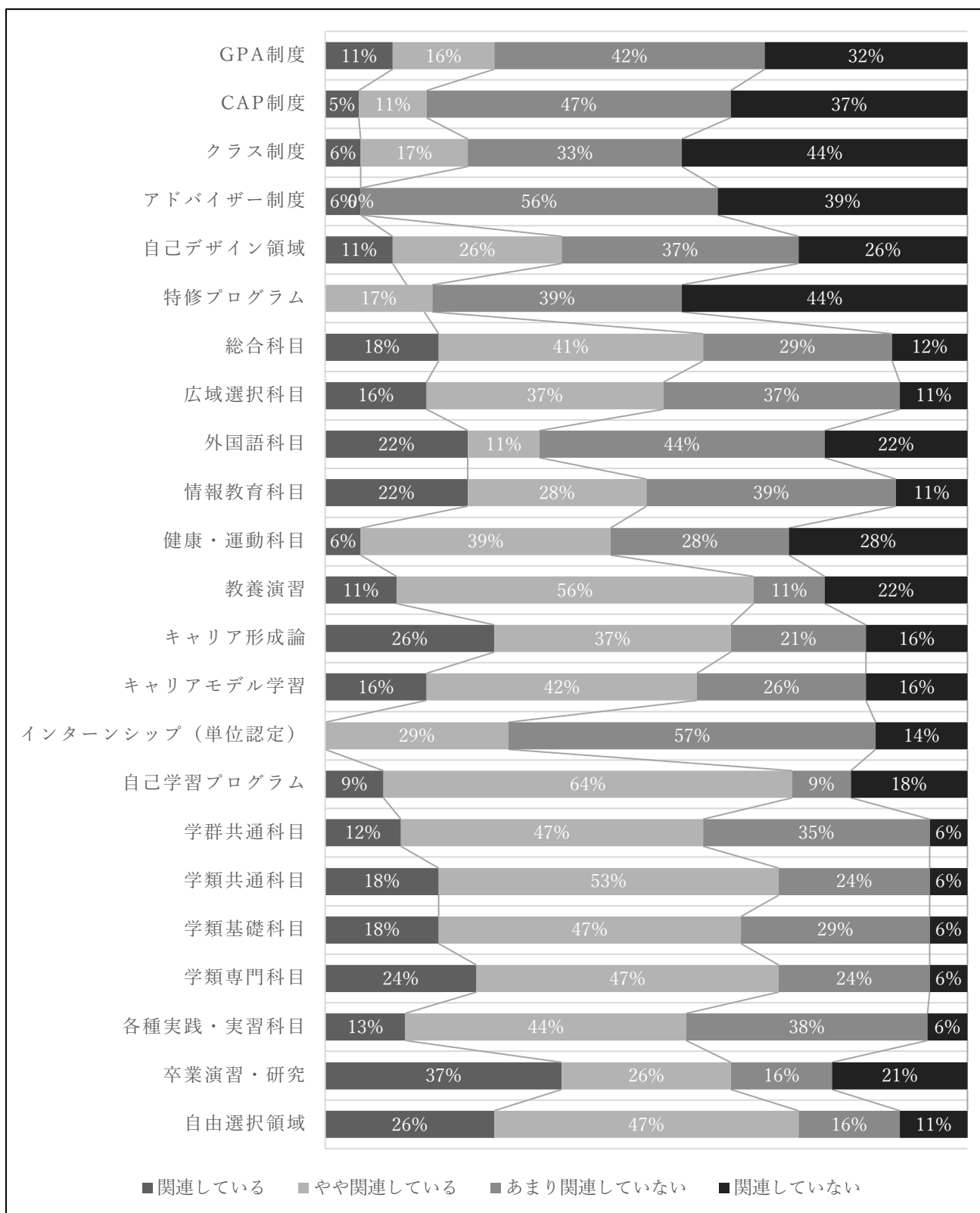
現在従事している職務・作業を遂行する上でどの程度関連しているか。



※上図では「未履修」「未記入」を除いた割合を示している。

図 1-8. 教育制度・内容の評価（令和元年度調査の結果-現代教養コース）

現在従事している職務・作業を遂行する上でどの程度関連しているか。



※上図では「未履修」「未記入」を除いた割合を示している。

表 1-10 学類とクラス制度のクロス表

	関連 している	やや関連 している	あまり関連 していない	関連して いない	合計
人間発達文化学類	13%	25%	28%	34%	100%
行政政策学類	4%	12%	41%	44%	100%
経済経営学類	9%	23%	35%	33%	100%
現代教養コース	6%	17%	33%	44%	100%
共生システム理工学類	2%	13%	29%	57%	100%

表 1-11 学類と健康・運動科目のクロス表

	関連 している	やや関連 している	あまり関連 していない	関連して いない	合計
人間発達文化学類	15%	31%	28%	27%	100%
行政政策学類	6%	16%	25%	52%	100%
経済経営学類	12%	21%	33%	35%	100%
現代教養コース	6%	39%	28%	28%	100%
共生システム理工学類	4%	16%	29%	51%	100%

表 1-12 学類と各種実践・実習科目のクロス表

	関連 している	やや関連 している	あまり関連 していない	関連して いない	合計
人間発達文化学類	46%	23%	16%	15%	100%
行政政策学類	11%	42%	29%	18%	100%
経済経営学類	21%	41%	26%	12%	100%
現代教養コース	13%	44%	38%	6%	100%
共生システム理工学類	13%	35%	31%	22%	100%

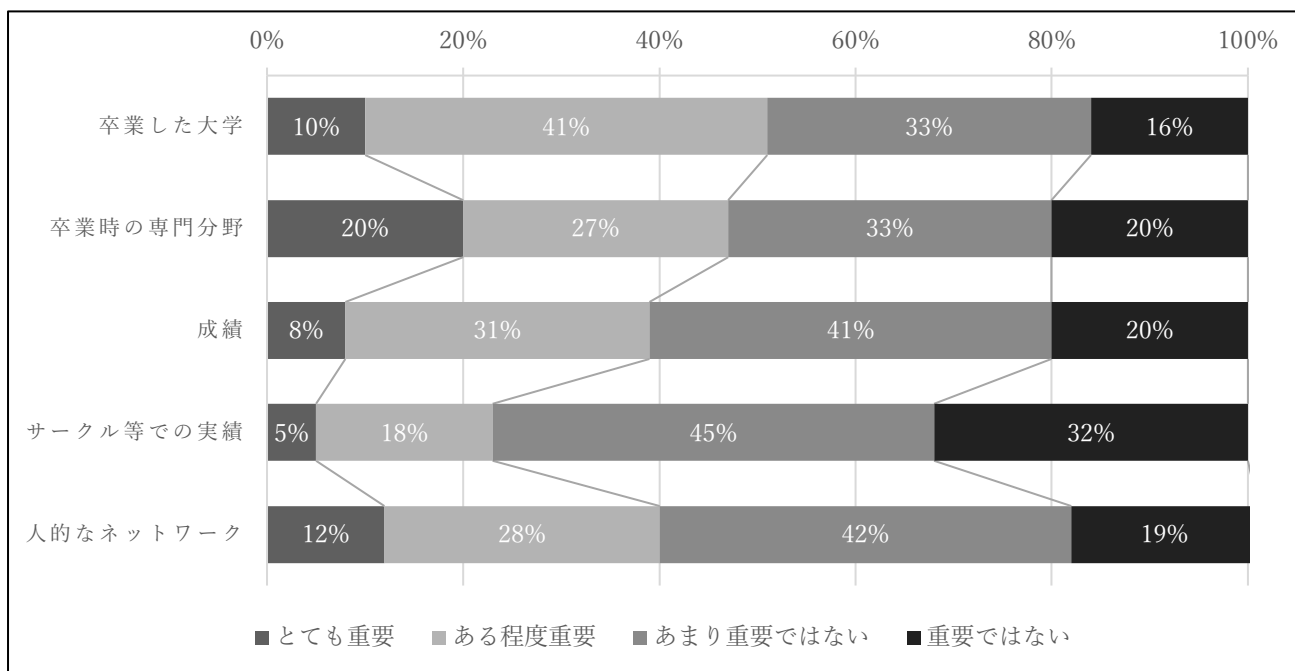
◎就業後における大学時代の経験の重要性

卒業生調査では、図 1-9 に示す「卒業した大学」「卒業時の専門分野」「成績」「サークル等での実績」「人的なネットワーク」が、どの程度、採用時に評価されたかを尋ねている。選択肢は、「とても重要」「ある程度重要」「あまり重要ではない」「重要ではない」の 4 選択である。「とても重要」「ある程度重要」の合計割合が高い順にみると、「卒業した大学」51%、「卒業時の専門分野」47%、「人的なネットワーク」40%、「成績」39%、「サークル等での実績」23%である。

また図 1-10 では、大学時代の経験（10 項目）は現在の仕事でどの程度重要かを示している。選択肢は、前問と同様に、「とても重要」「ある程度重要」「あまり重要ではない」「重要ではない」の 4 択である。

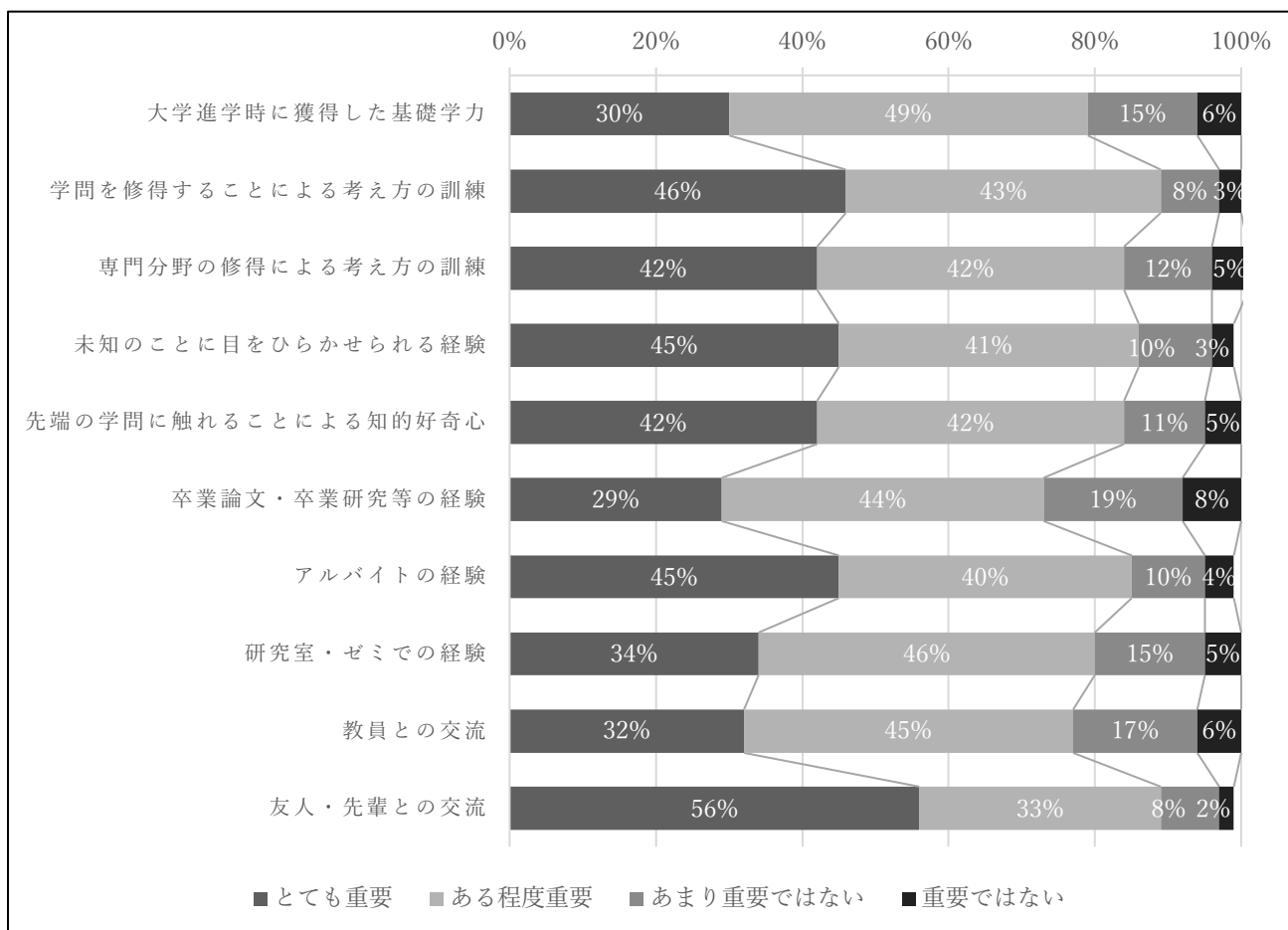
「とても重要」「ある程度重要」の合計割合が高い順に、「学問を修得することによる考え方の訓練」89%、「友人・先輩との交流」89%、「未知のことに目をひらかせられる経験」86%、「アルバイトの経験」85%、「専門分野の修得による考え方の訓練」84%、「先端の学問に触れることによる知的好奇心」84%、「研究室・ゼミでの経験」80%、「大学進学時に獲得した基礎学力」79%、「教員との交流」77%、「卒業論文・卒業研究等の経験」73%である。とくに「学問を修得することによる考え方の訓練」と「友人・先輩との交流」が 9 割近くで最も高い。ほかの項目は、「とても重要」「ある程度重要」の合計割合が 7 割～8 割と重要視されている。

図 1-9 採用された際に評価された点



※上図では「未記入」を除いた割合を示している。

図 1-10 大学時代の経験の重要性



※上図では「未記入」を除いた割合を示している。

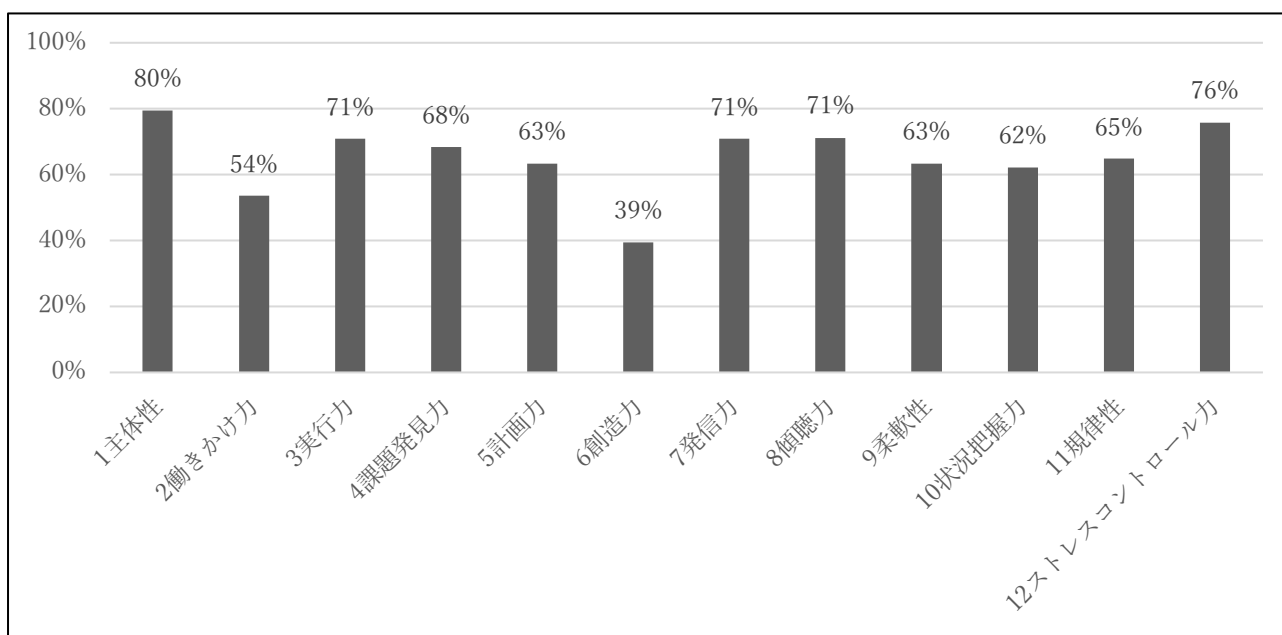
◎各種能力の修得状況

図 1-11 は、社会人基礎力についての集計結果を示すものである。現在の職場において働く上で重要であると考えられる能力、自分の優れた能力、自分にとって不足している能力について、複数選択で尋ねている。以下は、それぞれ選択肢の割合（分母は回答者総数）が高い順に 3 項目を見ていこう。まず働く上で重要であると考えられる能力については、「主体性」80%、「ストレスコントロール力」76%、および「実行力」「発信力」「傾聴力」が同率で 71%であった。次に、福島大生なし自分の優れた能力は、「傾聴力」56%、「規律性」50%、「状況把握力」44%である。一方、福島大生なし自分にとって不足している能力は「働きかけ力」51%、「創造力」46%、「発信力」44%である。福島大学の卒業生は、自分たちの傾聴力や規律性、状況把握力を比較的高く評価する一方で、働きかけ力や創造力や発信力には不足を感じているようである。

また社会人基礎力のほか、図 1-12 に示す自分自身の能力の評価についての設問も、卒業生調査に含まれている。「とてもある」「ややある」「あまりない」「まったくない」の 4 択で尋ねている。「とてもある」「ややある」の合計割合が高い上位 3 項目は、「インターネットで情報を適切に集める力」82%、「自らを律して行動できる力」71%、「地域的な課題への関心」70%であった。一方、「とてもある」「ややある」の合計割合が高い下位 3 項目は、「外国語の能力」26%、「キャリアデザイン力」38%、「プレゼンテーション力」42%であった。福島大学の卒業生は、自分たちの情報収集力や規律性、地域課題への関心を比較的高く評価する一方で、外国語やキャリアデザイン力、プレゼンテーション力を比較的低く評価している。

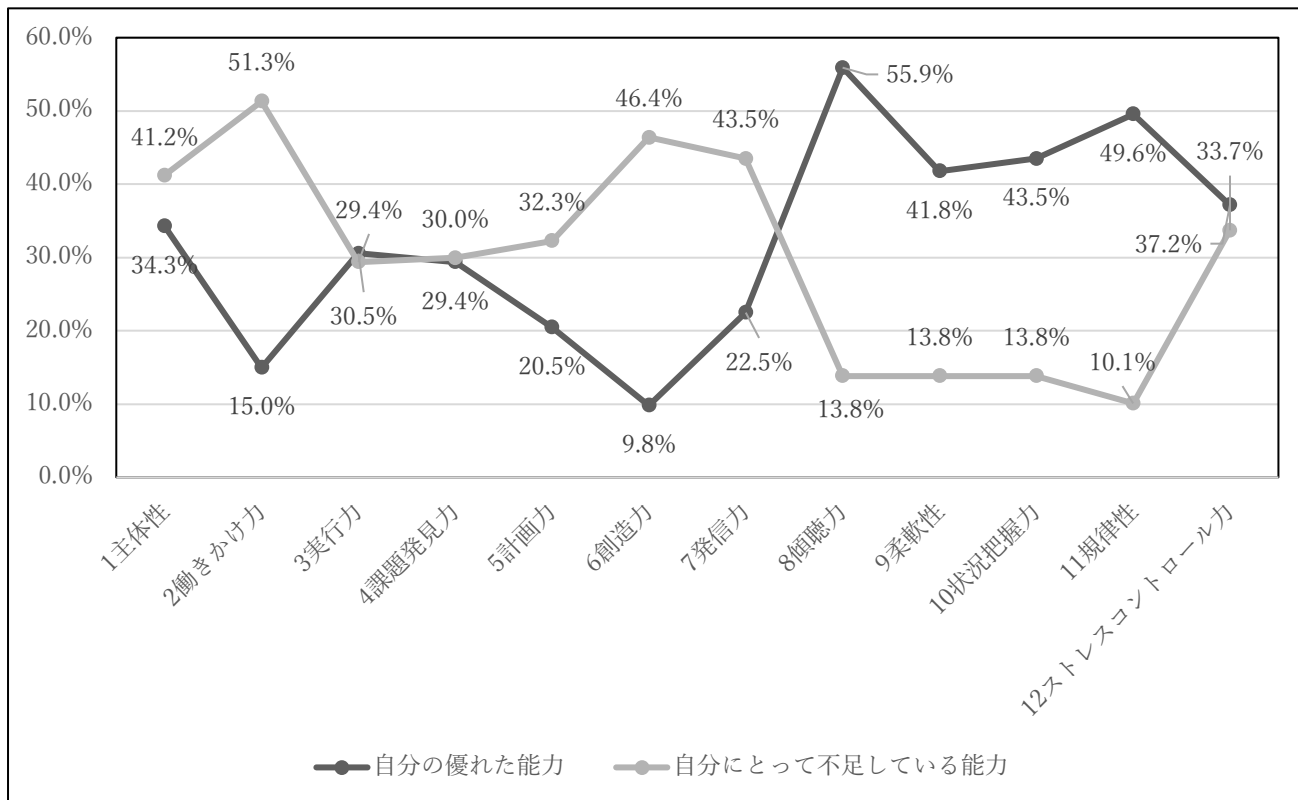
図 1-11 社会人基礎力について

働く上で重要であると考えられる能力



※上図の分母は回答者総数（347 名）である。

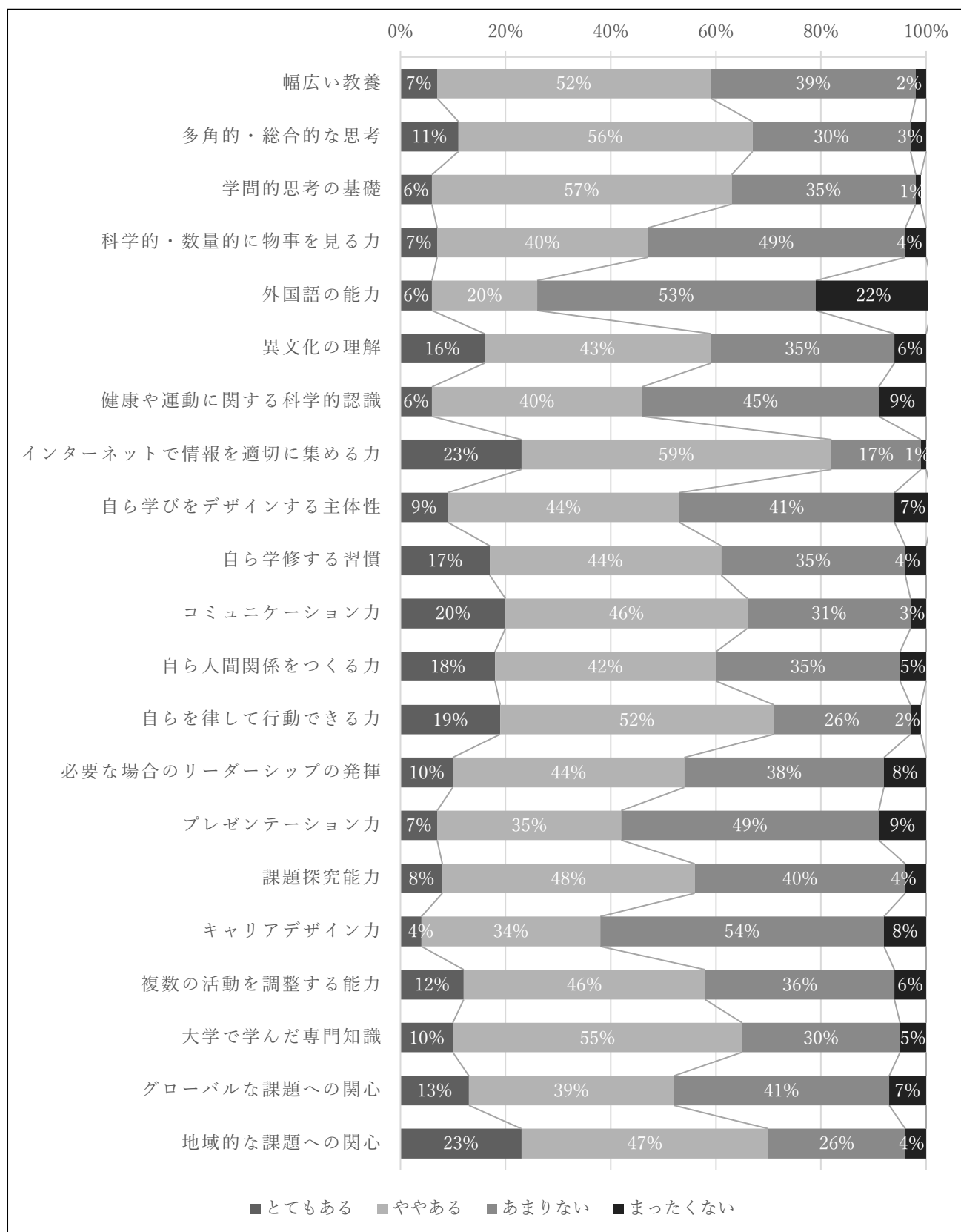
自分の優れた能力、自分にとって不足している能力



※上図の分母は回答者総数（347 名）である。

図 1-12 自分自身の能力の評価

自分自身の能力をどのように評価するか



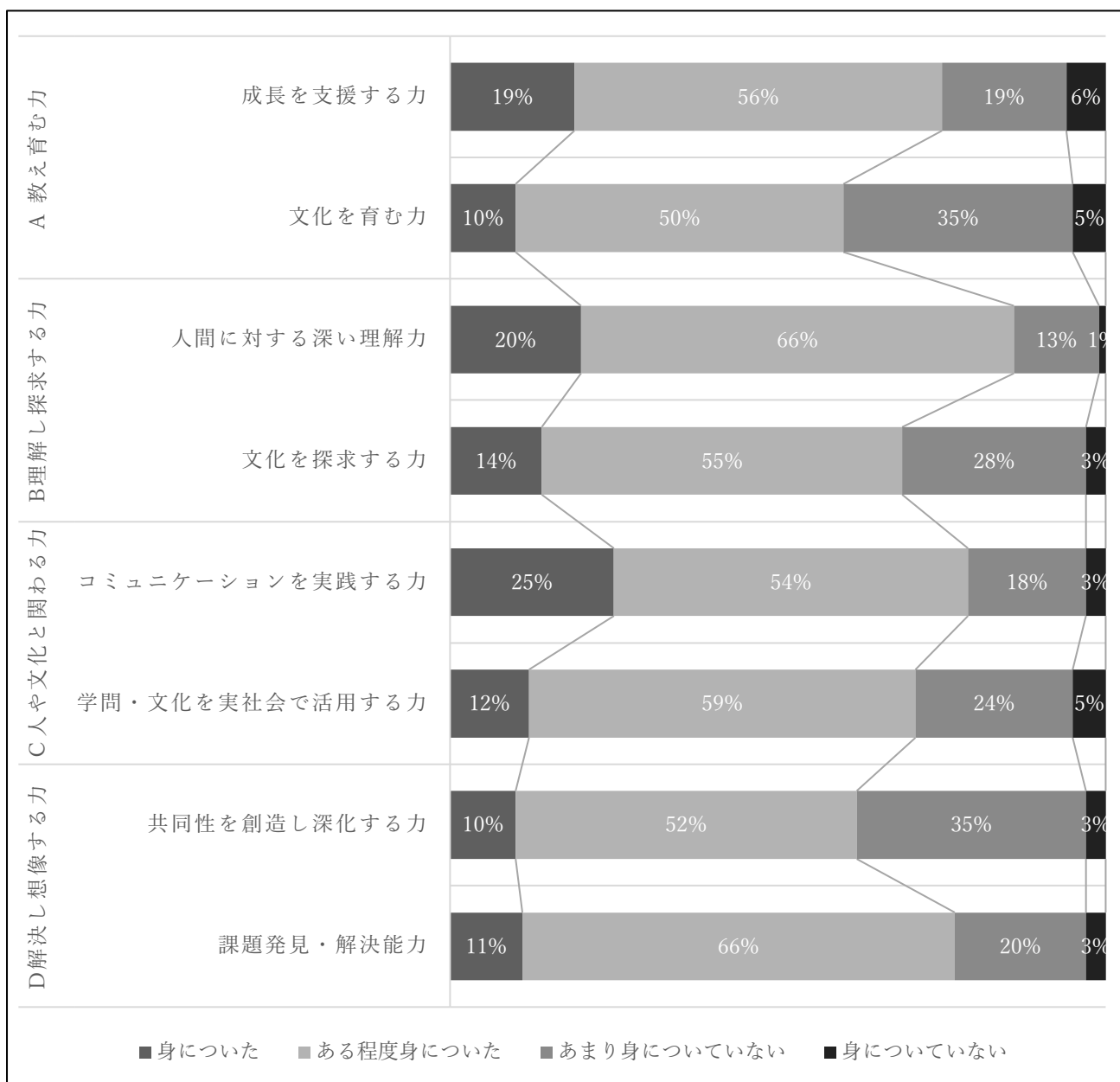
※上図では「未記入」を除いた割合を示している。

◎各学類・コースでの学びについて

図 1-13～図 1-17 は在学時の所属に応じた設問である。各学類・コースないし専門・モデルが掲げる能力について、「身についた」「ある程度身についた」「あまり身につけていない」「身につけていない」の4択でどの程度身についたかを尋ねるものである。

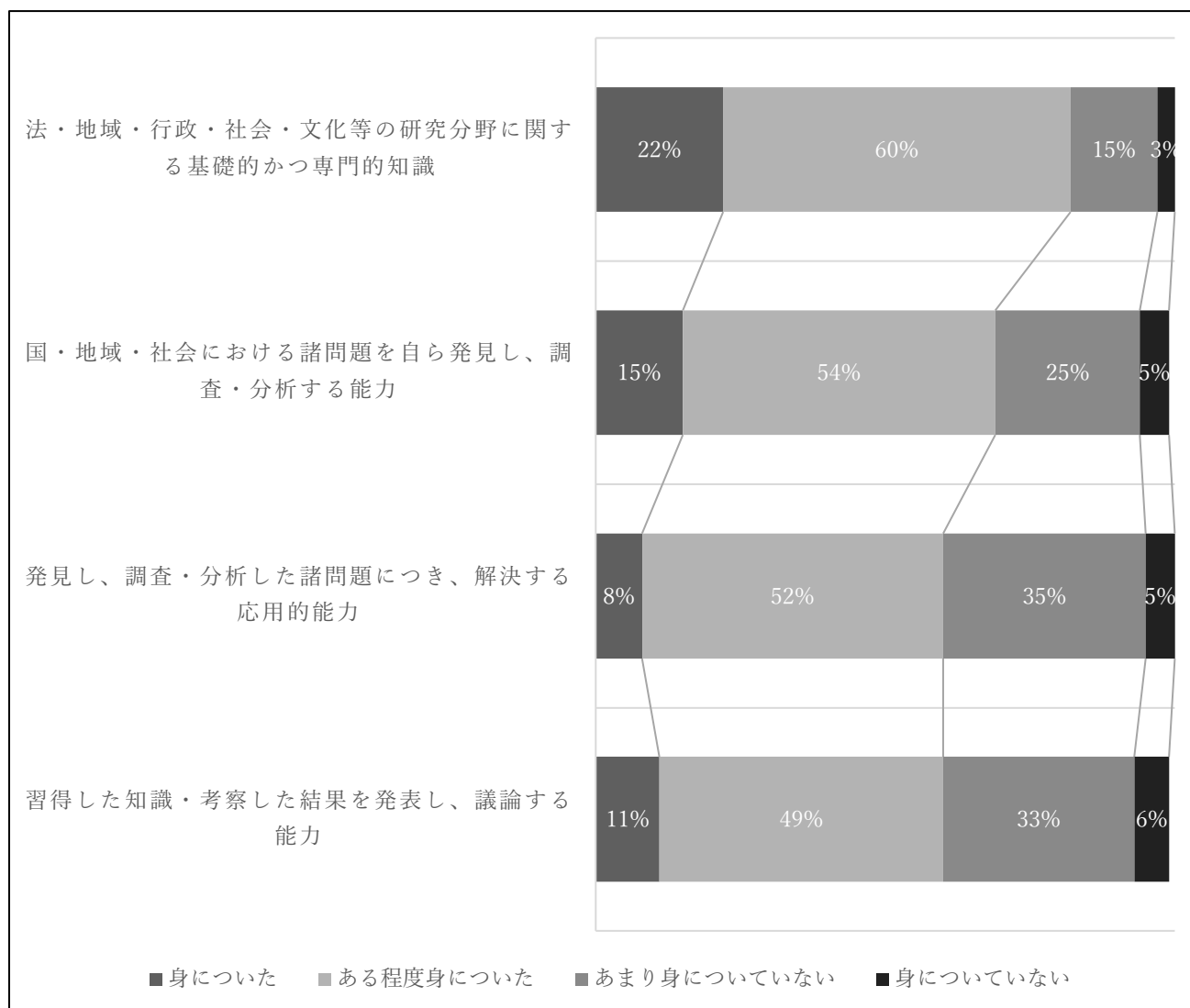
ここでは、4 学類および現代教養コースが掲げる能力の修得状況についてまとめる。まず「身についた」「ある程度身についた」の合計割合が最も高い能力については、各学類・コース別にみていくと、人間発達文化学類では「人間に対する深い理解力」86%，行政政策学類では「法・地域・行政・社会・文化等の研究分野に関する基礎的かつ専門的知識」82%，経済経営学類では「職業人，社会人として自立する力」「基礎的・専門的知識にもとづいて，経済を分析し，論理的に思考する力」81%（同率），共生システム理工学類では「問題解決のための実践力」72%，現代教養コースでは「現代社会を理解し，生活課題，地域社会が直面する課題を解決する社会人としての教養」「人間性を探求する生きがいとしての教養」89%（同率）であった。各学類・コースが掲げる能力は多様であることもあり，修得度については，とくに共通した傾向がみられない。

図 1-13 人間発達文化学類が掲げる能力の修得状況



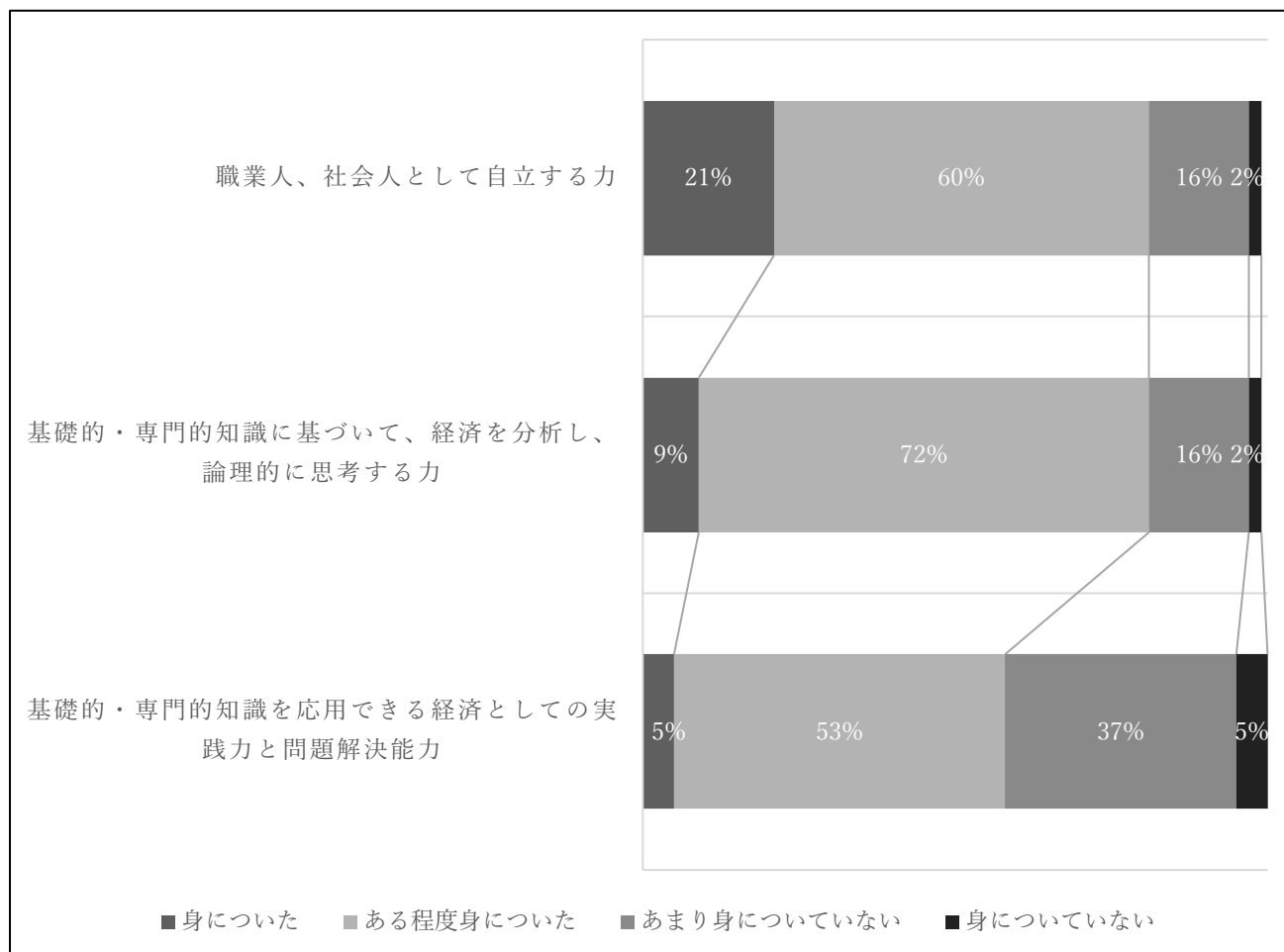
※上図では「未記入」を除いた割合を示している。

図 1-14 行政政策学類が掲げる能力の修得状況



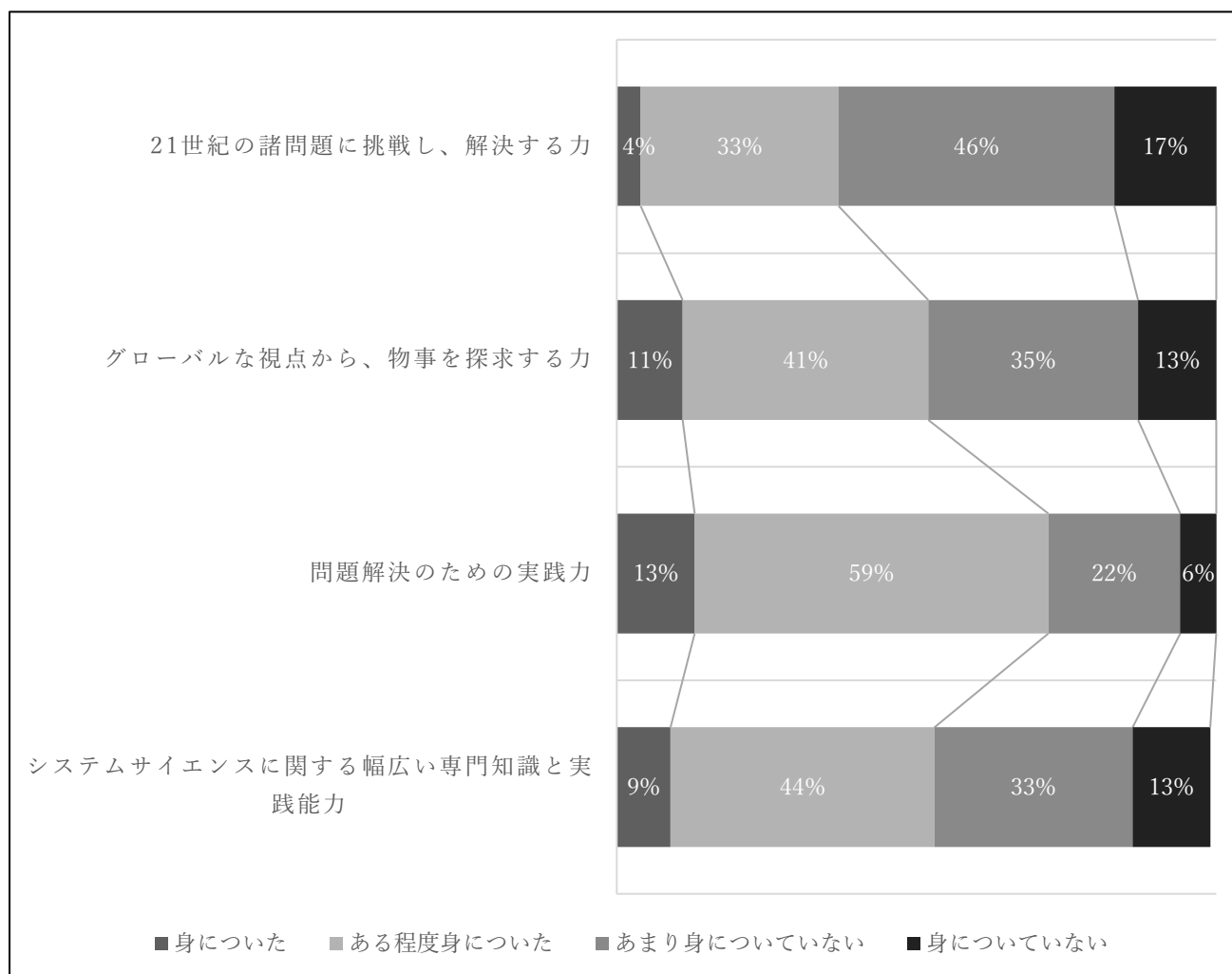
※上図では「未記入」を除いた割合を示している。

図 1-15 経済経営学類が掲げる能力の修得状況



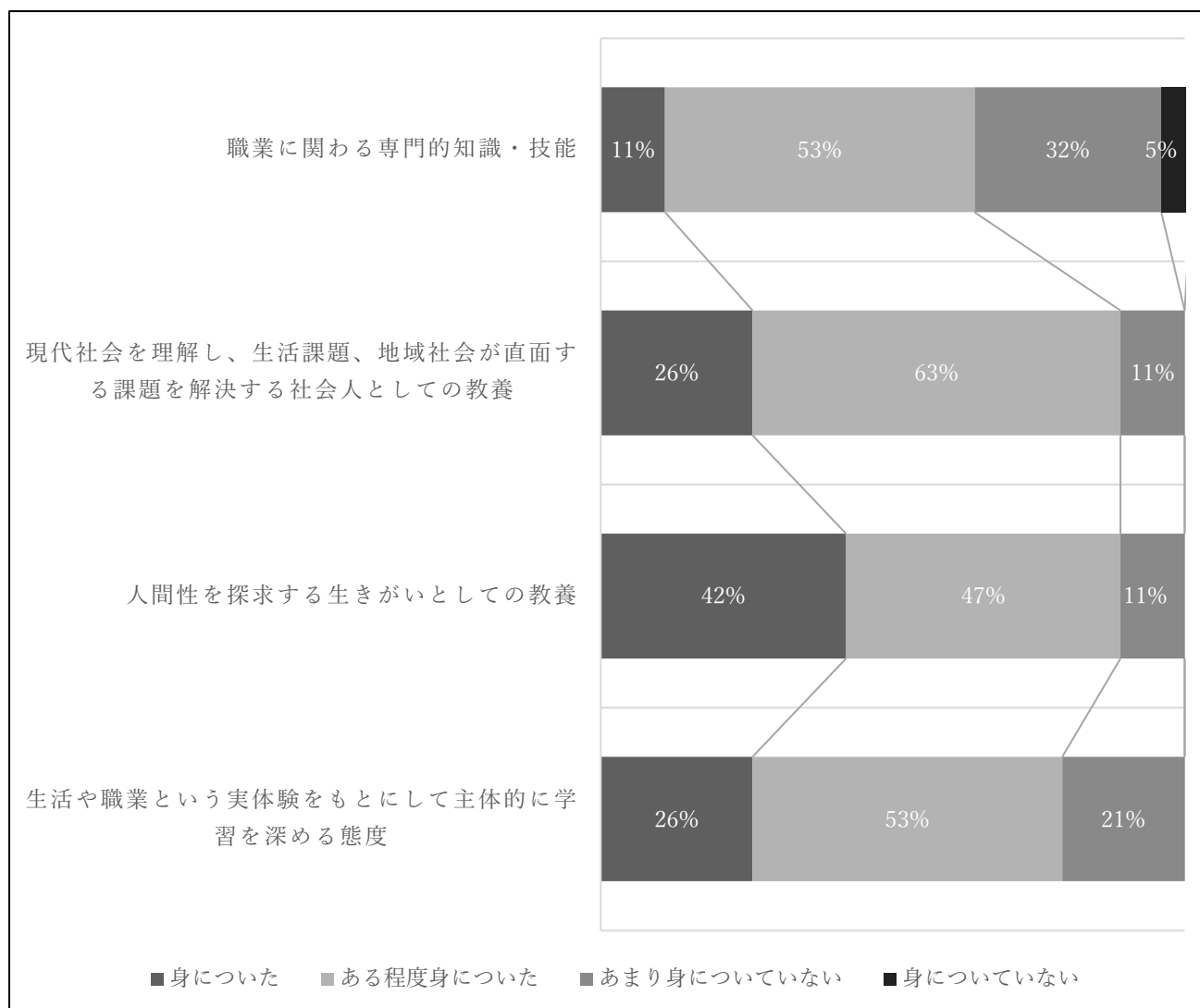
※上図では「未記入」を除いた割合を示している。

図 1-16 共生システム理工学類が掲げる能力の修得状況



※上図では「未記入」を除いた割合を示している。

図 1-17 現代教養コースが掲げる能力の修得状況



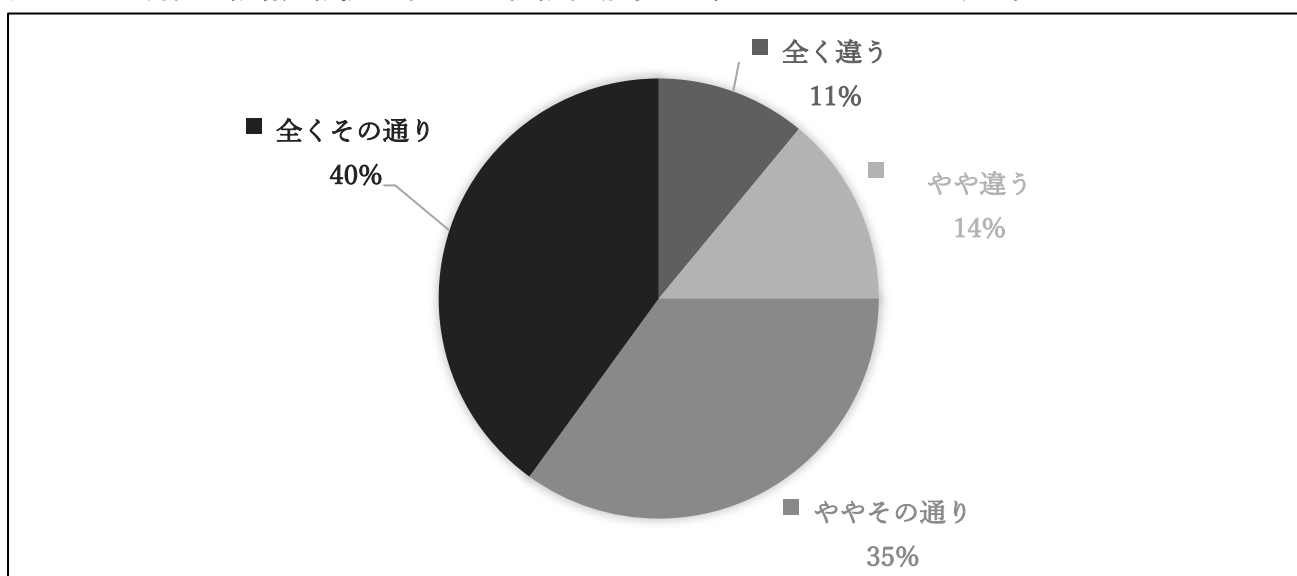
※上図では「未記入」を除いた割合を示している。

◎希望通りの職場・生活

卒業生調査では、希望の通りの職場・職務か、予想通りの生活や状況かについて尋ねている。

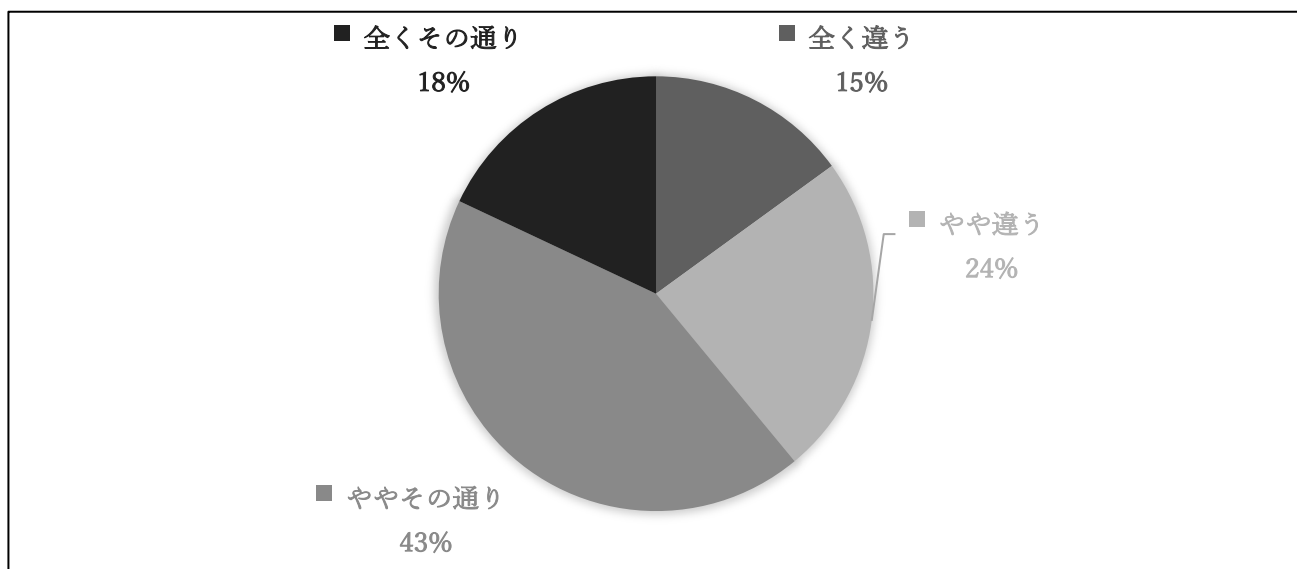
図 1-18 は、「現在の職場，職務はあなたが就職活動時から希望していたものですか」の集計結果を示すものである。希望通りの職場・職務について、「全くその通り」「ややその通りに」の合計割合が 75% であった。また図 1-19 では、「現在の生活や状況について就職活動時から予想していましたか」の集計結果を示す。予想通りの生活や状況について、「全くその通り」「ややその通りに」の合計で 61% であった。回答者は希望通りの職場，予想通りの生活を過ごしているのが過半数である。

図 1-18 現在の職場，職務はあなたが就職活動時から希望していたものですか。



※上図では「未記入」を除いた割合を示している。

図 1-19 現在の生活や状況について就職活動時から予想していましたか。



※上図では「未記入」を除いた割合を示している。

第2節 単純集計

第1項 人間発達文化学類の卒業生

I. あなたの福島大学への在学経験と教育への意識について伺います。

Q1/Q2：福島大学(学類)への入学年／卒業年を西暦でお答えください。

入学	2012	6 (4%)	卒業	2016	6 (4%)
	2013	41 (28%)		2017	44 (30%)
	2014	55 (37%)		2018	56 (38%)
	2015	36 (24%)		2019	42 (28%)
	2016	8 (5%)		未記入	1 (1%)
	2017	2 (1%)		計	149 (100%)
	未記入	1 (1%)			
	計	149 (100%)			

Q3：学類卒業後の在学経験で該当する項目を選択してください。

なし	138 (93%)
福島大学の大学院博士前期課程・修士課程	9 (6%)
他大学の大学院博士前期課程・修士課程	2 (1%)
その他	0 (0%)
未記入	0 (0%)
計	149 (100%)

Q4-Q12：大学在籍時の福島大学の授業について、以下のような授業はどの程度ありましたか。

	多かった	少しあった	あまりなかった	全くなかった	未記入	計
Q4 出席を重視	101 (68%)	41 (28%)	7 (5%)	0 (0%)	0 (0%)	149 (100%)
Q5 小テスト・課題が頻繁	14 (9%)	89 (60%)	46 (31%)	0 (0%)	0 (0%)	149 (100%)
Q6 厳しい成績評価	4 (3%)	75 (50%)	67 (45%)	3 (2%)	0 (0%)	149 (100%)
Q7 学生「参加型」の授業	41 (28%)	77 (52%)	29 (19%)	1 (1%)	1 (1%)	149 (100%)
Q8 課題成果の発表・報告	21 (14%)	84 (56%)	37 (25%)	7 (5%)	0 (0%)	149 (100%)
Q9 チームでの課題取り組み	44 (30%)	69 (46%)	32 (21%)	4 (3%)	0 (0%)	149 (100%)
Q10 外国語に接する	19 (13%)	74 (50%)	51 (34%)	5 (3%)	0 (0%)	149 (100%)
Q11 社会の現実へに接する	15 (10%)	68 (46%)	58 (39%)	8 (5%)	0 (0%)	149 (100%)
Q12 理解度や興味への配慮	16 (11%)	69 (46%)	58 (39%)	6 (4%)	0 (0%)	149 (100%)

Q13-Q21：授業を今振り返って、それらは必要だと思いますか。

	とても必要	ある程度必要	あまり必要ない	必要ない	未記入	計
Q13 出席を重視	38 (26%)	92 (62%)	13 (9%)	6 (4%)	0 (0%)	149 (100%)
Q14 小テスト・課題が頻繁	19 (13%)	107 (72%)	21 (14%)	2 (1%)	0 (0%)	149 (100%)
Q15 厳しい成績評価	13 (9%)	96 (64%)	35 (23%)	4 (3%)	1 (1%)	149 (100%)
Q16 学生「参加型」の授業	73 (49%)	70 (47%)	5 (3%)	1 (1%)	0 (0%)	149 (100%)
Q17 課題成果の発表・報告	42 (28%)	92 (62%)	12 (8%)	2 (1%)	1 (1%)	149 (100%)
Q18 チームでの課題取り組み	60 (40%)	80 (54%)	7 (5%)	2 (1%)	0 (0%)	149 (100%)
Q19 外国語に接する	57 (38%)	81 (54%)	10 (7%)	1 (1%)	0 (0%)	149 (100%)
Q20 社会の現実へに接する	92 (62%)	55 (37%)	2 (1%)	0 (0%)	0 (0%)	149 (100%)
Q21 理解度や興味への配慮	83 (56%)	56 (38%)	7 (5%)	1 (1%)	2 (1%)	149 (100%)

Q22-Q44：以下の福島大学の教育内容は、現在従事している職務・作業を遂行する上でどの程度関連していますか。

		関連している	やや関連している	あまり関連していない	関連していない	未履修	未記入	計
制度全般	Q22 GPA 制度	3 (2%)	24 (16%)	61 (41%)	61 (41%)		0 (0%)	149 (100%)
	Q23 CAP 制度	5 (3%)	27 (18%)	58 (39%)	59 (40%)		0 (0%)	149 (100%)
	Q24 クラス制度	19 (13%)	37 (25%)	42 (28%)	51 (34%)		0 (0%)	149 (100%)
	Q25 アドバイザー制度	13 (9%)	35 (23%)	47 (32%)	54 (36%)		0 (0%)	149 (100%)
	Q26 自己デザイン領域	8 (5%)	60 (40%)	49 (33%)	32 (21%)		0 (0%)	149 (100%)
	Q27 特修プログラム (英語、情報、ふくしま未来学)	10 (7%)	54 (36%)	49 (33%)	36 (24%)		0 (0%)	149 (100%)
自己デザイン領域／共通領域	Q28 総合科目	18 (12%)	58 (39%)	43 (29%)	28 (19%)	2 (1%)	0 (0%)	149 (100%)
	Q29 広域選択科目	21 (14%)	61 (41%)	40 (27%)	25 (17%)	2 (1%)	0 (0%)	149 (100%)
	Q30 外国語科目	25 (17%)	34 (23%)	52 (35%)	37 (25%)	1 (1%)	0 (0%)	149 (100%)
	Q31 情報教育科目	32 (21%)	69 (46%)	30 (20%)	13 (9%)	3 (2%)	2 (1%)	149 (100%)
	Q32 健康・運動科目	22 (15%)	45 (30%)	41 (28%)	39 (26%)	2 (1%)	0 (0%)	149 (100%)
	Q33 教養演習	31 (21%)	47 (32%)	36 (24%)	27 (18%)	8 (5%)	0 (0%)	149 (100%)
	Q34 キャリア形成論	19 (13%)	62 (42%)	37 (25%)	24 (16%)	6 (4%)	1 (1%)	149 (100%)
	Q35 キャリアモデル学習	16 (11%)	52 (35%)	42 (28%)	23 (15%)	16 (11%)	0 (0%)	149 (100%)
	Q36 インターンシップ (単位認定)	9 (6%)	15 (10%)	14 (9%)	22 (15%)	88 (59%)	1 (1%)	149 (100%)
専門領域	Q37 自己学習プログラム	12 (8%)	38 (26%)	25 (17%)	27 (18%)	45 (30%)	2 (1%)	149 (100%)
	Q38 学群共通科目	42 (28%)	48 (32%)	36 (24%)	20 (13%)	3 (2%)	0 (0%)	149 (100%)
	Q39 学類共通科目	42 (28%)	50 (34%)	34 (23%)	19 (13%)	4 (3%)	0 (0%)	149 (100%)
	Q40 学類基礎科目	41 (28%)	50 (34%)	34 (23%)	19 (13%)	5 (3%)	0 (0%)	149 (100%)
	Q41 学類専門科目	56 (38%)	46 (31%)	30 (20%)	16 (11%)	1 (1%)	0 (0%)	149 (100%)
	Q42 各種実践・実習科目	65 (44%)	33 (22%)	23 (15%)	21 (14%)	7 (5%)	0 (0%)	149 (100%)
Q44 自由選択領域	Q43 卒業演習・研究	40 (27%)	50 (34%)	29 (19%)	29 (19%)	0 (0%)	1 (1%)	149 (100%)
		29 (19%)	59 (40%)	36 (24%)	22 (15%)	3 (2%)	0 (0%)	149 (100%)

Ⅱ. あなた現在の仕事について伺います。

現在お仕事をされていない方は、最後に就かれていたお仕事についてご回答ください。

Q45：就職した年を西暦でお答えください。

就職	2012	1 (1%)
	2016	5 (3%)
	2017	33 (22%)
	2018	56 (38%)
	2019	47 (32%)
	2020	2 (1%)
	未記入	5 (3%)
	計	149 (100%)

Q46/Q47：現在の仕事の業種/職種について当てはまるものを選択してください。

業種	1 農林水産業	0 (0%)
	2 鉱業	0 (0%)
	3 建設業	2 (1%)
	4 製造業	4 (3%)
	5 電気・ガス・熱供給・水道業	0 (0%)
	6 情報通信業	5 (3%)
	7 運輸業	3 (2%)
	8 卸売・小売業	7 (5%)
	9 金融・保険業	4 (3%)
	10 不動産業	0 (0%)
	11 飲食店、宿泊業	0 (0%)
	12 医療、福祉	9 (6%)
	13 教育、学習支援業	85 (57%)
	14 複合サービス事業	5 (3%)
	15 他に分類されないサービス業	9 (6%)
	16 他に分類されない公務	11 (7%)
	17 その他	1 (1%)
	未記入	4 (3%)
	計	149 (100%)

職種	1 一般事務	32 (21%)
	2 営業・販売職	17 (11%)
	3 サービス職	15 (10%)
	4 技術職	6 (4%)
	5 専門職	49 (33%)
	6 その他	23 (15%)
	未記入	7 (5%)
	計	149 (100%)

※その他内訳

保安職	1
地方公務員	2
大学院	1
総合職	1
小学校教諭	1
高校教員	1
講師	1
公務員	1
教諭	1
教員	8
教育公務員	2
教育	2
サービス業だが病気休職中	1

※その他内訳

大学院	1
-----	---

Q48：勤務先の規模(常用雇用者数)について当てはまるものを選択してください。

規模	1 29 名以下	37 (25%)
	2 30-99 名	41 (28%)
	3 100-499 名	35 (23%)
	4 500-999 名	11 (7%)
	5 1,000-4,999 名	7 (5%)
	6 5,000-9,999 名	3 (2%)
	7 10,000 名以上	10 (7%)
	未記入	5 (3%)
	計	149 (100%)

Q49-Q53：あなたが現在の職場に採用された際に評価された点として、以下の項目はどの程度重要だったと思いますか。

	とても重要	ある程度重要	あまり重要ではない	重要ではない	未記入	計
Q49 卒業した大学	11 (7%)	54 (36%)	57 (38%)	24 (16%)	3 (2%)	149 (100%)
Q50 卒業時の専門分野	49 (33%)	35 (23%)	40 (27%)	22 (15%)	3 (2%)	149 (100%)
Q51 成績	8 (5%)	50 (34%)	58 (39%)	29 (19%)	4 (3%)	149 (100%)
Q52 サークル等での実績	6 (4%)	26 (17%)	63 (42%)	51 (34%)	3 (2%)	149 (100%)
Q53 人的なネットワーク	13 (9%)	42 (28%)	57 (38%)	34 (23%)	3 (2%)	149 (100%)

Q54-Q56：次の社会人基礎力について、現在の職場において働く上で重要であると考えられる能力、自分のれた能力、自分に不足している能力についてお伺いします。

該当する項目全てを選択してください(複数選択可)。

	働く上で重要な能力	自分の優れた能力	自分にとって不足している能力
1 物事に進んで取組む力(主体性)	126 (85%)	53 (36%)	70 (47%)
2 他人に働きかけ巻き込む力(働きかけ力)	86 (58%)	19 (13%)	80 (54%)
3 目的を設定し確実に行動する力(実行力)	112 (75%)	50 (34%)	52 (35%)
4 現状を分析し課題を明らかにする力(課題発見力)	115 (77%)	48 (32%)	48 (32%)
5 課題解決の過程を明らかにし準備する力(計画力)	108 (72%)	33 (22%)	55 (37%)
6 新しい価値を生み出す力(創造力)	66 (44%)	19 (13%)	71 (48%)
7 自分の意見を分かりやすく伝える力(発信力)	114 (77%)	34 (23%)	66 (44%)
8 相手の意見を丁寧に聴く力(傾聴力)	119 (80%)	96 (64%)	20 (13%)
9 意見の違いや立場の違いを理解する力(柔軟性)	106 (71%)	65 (44%)	25 (17%)
10 自分と周囲のとの関係性を理解する力(状況把握力)	99 (66%)	67 (45%)	21 (14%)
11 社会のルールや人との約束を守る力(規律性)	107 (72%)	77 (52%)	16 (11%)
12 ストレスに対応する力(ストレスコントロール力)	123 (83%)	53 (36%)	56 (38%)
未記入	2 (1%)	3 (2%)	3 (2%)

注：ここでのパーセントは全体（149）を分母とした場合の割合。

Q57-Q66：現在のお仕事において、下記の大学時代の経験はどの程度重要だと思いますか。

	とても重要	ある程度重要	あまり重要ではない	重要ではない	未記入	計
Q57 大学進学時に獲得した基礎学力	46 (31%)	71 (48%)	20 (13%)	10 (7%)	2 (1%)	149 (100%)
Q58 学問を修得することによる考え方の訓練	67 (45%)	65 (44%)	11 (7%)	2 (1%)	4 (3%)	149 (100%)
Q59 専門分野の修得による考え方の訓練	72 (48%)	56 (38%)	14 (9%)	5 (3%)	2 (1%)	149 (100%)
Q60 未知のことに目をひらかせられる経験	68 (46%)	63 (42%)	13 (9%)	3 (2%)	2 (1%)	149 (100%)
Q61 先端の学問に触れることによる知的好奇心	64 (43%)	64 (43%)	10 (7%)	7 (5%)	4 (3%)	149 (100%)
Q62 卒業論文・卒業研究等の経験	36 (24%)	67 (45%)	27 (18%)	17 (11%)	2 (1%)	149 (100%)
Q63 アルバイトの経験	66 (44%)	64 (43%)	12 (8%)	5 (3%)	2 (1%)	149 (100%)
Q64 研究室・ゼミでの経験	42 (28%)	68 (46%)	25 (17%)	10 (7%)	4 (3%)	149 (100%)
Q65 教員との交流	53 (36%)	68 (46%)	18 (12%)	8 (5%)	2 (1%)	149 (100%)
Q66 友人・先輩との交流	86 (58%)	44 (30%)	12 (8%)	4 (3%)	3 (2%)	149 (100%)

Q67-Q87：あなたは以下の自分自身の能力をどのように評価しますか。

	とてもある	ややある	あまりない	まったくない	未記入	計
Q67 幅広い教養	7 (5%)	79 (53%)	59 (40%)	3 (2%)	1 (1%)	149 (100%)
Q68 多角的・総合的な思考	14 (9%)	90 (60%)	43 (29%)	1 (1%)	1 (1%)	149 (100%)
Q69 学問的思考の基礎	4 (3%)	99 (66%)	44 (30%)	1 (1%)	1 (1%)	149 (100%)
Q70 科学的・数量的に物事を見る力	7 (5%)	55 (37%)	83 (56%)	2 (1%)	2 (1%)	149 (100%)
Q71 外国語の能力	9 (6%)	34 (23%)	72 (48%)	33 (22%)	1 (1%)	149 (100%)
Q72 異文化の理解	24 (16%)	66 (44%)	52 (35%)	5 (3%)	2 (1%)	149 (100%)
Q73 健康や運動に関する科学的認識	10 (7%)	64 (43%)	65 (44%)	9 (6%)	1 (1%)	149 (100%)
Q74 インターネットで情報を適切に集める力	34 (23%)	87 (58%)	26 (17%)	1 (1%)	1 (1%)	149 (100%)
Q75 自ら学びをデザインする主体性	10 (7%)	75 (50%)	60 (40%)	3 (2%)	1 (1%)	149 (100%)
Q76 自ら学修する習慣	25 (17%)	71 (48%)	51 (34%)	1 (1%)	1 (1%)	149 (100%)
Q77 コミュニケーション力	28 (19%)	76 (51%)	40 (27%)	4 (3%)	1 (1%)	149 (100%)
Q78 自ら人間関係をつくる力	26 (17%)	69 (46%)	48 (32%)	5 (3%)	1 (1%)	149 (100%)
Q79 自らを律して行動できる力	24 (16%)	85 (57%)	36 (24%)	3 (2%)	1 (1%)	149 (100%)
Q80 必要な場合のリーダーシップの発揮	13 (9%)	71 (48%)	57 (38%)	6 (4%)	2 (1%)	149 (100%)
Q81 プレゼンテーション力	8 (5%)	50 (34%)	83 (56%)	7 (5%)	1 (1%)	149 (100%)
Q82 課題探究能力	8 (5%)	82 (55%)	55 (37%)	3 (2%)	1 (1%)	149 (100%)
Q83 キャリアデザイン力	3 (2%)	46 (31%)	91 (61%)	8 (5%)	1 (1%)	149 (100%)
Q84 複数の活動を調整する能力	17 (11%)	70 (47%)	54 (36%)	7 (5%)	1 (1%)	149 (100%)
Q85 大学で学んだ専門知識	18 (12%)	91 (61%)	35 (23%)	4 (3%)	1 (1%)	149 (100%)
Q86 グローバルな課題への関心	18 (12%)	55 (37%)	69 (46%)	6 (4%)	1 (1%)	149 (100%)
Q87 地域的な課題への関心	25 (17%)	74 (50%)	44 (30%)	3 (2%)	3 (2%)	149 (100%)

Q88-Q89：現在の職場、職務はあなたが就職活動時から希望していたものですか。また、現在の生活や状況について就職活動時から予想していましたか。

	全くその通り	ややその通り	やや違う	全く違う	未記入	計
Q88 現在の職場・職務を希望していたか	67 (45%)	55 (37%)	14 (9%)	12 (8%)	1 (1%)	149 (100%)
Q89 現在の生活や状況を予想していたか	27 (18%)	68 (46%)	34 (23%)	19 (13%)	1 (1%)	149 (100%)

Ⅲ. 学類・各専攻の教育についてお伺いします

Q90-Q97：あなたは以下の項目(学類のディプロマポリシー)について、所属していた学類で学んだことを通じてどの程度身につけることができましたか。

【人間発達文化学類の卒業生全員】	身についた	ある程度身についた	あまり身につけていない	身につけていない	未記入	計
a 教える力						
Q90 成長を支援する力	28 (19%)	82 (55%)	28 (19%)	9 (6%)	2 (1%)	149 (100%)
Q91 文化を育む力	15 (10%)	73 (49%)	52 (35%)	7 (5%)	2 (1%)	149 (100%)
b 理解し探求する力						
Q92 人間に対する深い理解力	30 (20%)	97 (65%)	19 (13%)	1 (1%)	2 (1%)	149 (100%)
Q93 文化を探究する力	21 (14%)	81 (54%)	41 (28%)	5 (3%)	1 (1%)	149 (100%)
c 人や文化と関わる力						
Q94 コミュニケーションを実践する力	37 (25%)	80 (54%)	26 (17%)	5 (3%)	1 (1%)	149 (100%)
Q95 学問・文化を実社会で活用する力	18 (12%)	86 (58%)	36 (24%)	7 (5%)	2 (1%)	149 (100%)
d 解決し想像する力						
Q96 共同性を創造し深化する力	15 (10%)	76 (51%)	51 (34%)	5 (3%)	2 (1%)	149 (100%)
Q97 課題発見・解決能力	17 (11%)	98 (66%)	29 (19%)	4 (3%)	1 (1%)	149 (100%)

Q98：所属していた専攻

専攻	人間発達専攻	65(44%)
	文化探究専攻	61(41%)
	スポーツ・芸術創造専攻	23(15%)
	計	149(100%)

Q99-Q110：あなたは以下の項目(学類のディプロマポリシー)について、所属していた学類で学んだことを通じてどの程度身につけることができましたか。

【各専攻の卒業生別】		身についた	ある程度身についた	あまり身につけていない	身につけていない	未記入	計
人間発達専攻	Q99 エducatorとしての自覚と実践的能力や現在の社会状況と人間発達の課題を関連づける力	7(11%)	31(48%)	20(31%)	7(11%)	0(0%)	65(100%)
	Q100 深い人間理解と愛情に根ざし、人間発達に関する専門的学識を身につけ発達の支援を行うとする力	14(22%)	36(55%)	9(14%)	5(8%)	1(2%)	65(100%)
	Q101 多様なコミュニケーションスキルに根ざし、人間関係を形成する力	12(18%)	35(54%)	15(23%)	2(3%)	1(2%)	65(100%)
	Q102 集団的英知にもとづいて、自らの実践を深く省察し実践を改善する力	10(15%)	34(52%)	17(26%)	4(6%)	0(0%)	65(100%)
文化探究専攻	Q103 学問や文化と現実社会との関係を把握し、その知識や技術を伝達する力	5(8%)	36(59%)	18(30%)	2(3%)	0(0%)	61(100%)
	Q104 各文化・学問の専門知識と、学問固有の思考法	5(8%)	40(66%)	16(26%)	0(0%)	0(0%)	61(100%)
	Q105 文化と人間発達の関係を捉え、多様な方法で人間に働きかける力	5(8%)	41(67%)	14(23%)	1(2%)	0(0%)	61(100%)
	Q106 物事を論理的・批判的に捉えるとともに、創造的に問題解決にあたらうとする力	6(10%)	39(64%)	13(21%)	3(5%)	0(0%)	61(100%)
スポーツ・芸術専攻	Q107 スポーツや芸術の担い手として自覚し、人間の成長・発達と諸技術をつなぎ合わせる力	7(30%)	12(52%)	3(13%)	1(4%)	0(0%)	23(100%)
	Q108 スポーツや芸術に関する専門的な知識・技術とそれらの意義への理解	9(39%)	11(48%)	2(9%)	1(4%)	0(0%)	23(100%)
	Q109 スポーツや芸術の意義にもとづいて、集団や地域社会のなかで専門技術を活用する力	6(26%)	11(48%)	5(22%)	1(4%)	0(0%)	23(100%)
	Q110 他領域との協力関係を重視しながら実践する力	5(22%)	13(57%)	2(9%)	3(13%)	0(0%)	23(100%)

注：【各専攻の卒業生別】のパーセンテージは Q98 の各専攻卒業生数を分母とした場合の割合。(人間発達専攻：65，文化探究専攻：61，スポーツ・芸術創造専攻：23)

IV. あなた自身について伺います。

Q111：あなたの性別をお答えください。

性別	男性	45 (30%)
	女性	102 (68%)
	未記入	2 (1%)
	計	149 (100%)

Q112：あなたの現在の年齢（満年齢）をお答えください。

年齢	22	7 (5%)
	23	40 (27%)
	24	56 (38%)
	25	39 (26%)
	26	5 (3%)
	未記入	2 (1%)
	計	149 (100%)

Q113：あなたの現在の就業状況についてお答えください。

就業 状況	1 常時雇用の社員・職員	126 (85%)
	2 パート・アルバイト・臨時の社員・職員	11 (7%)
	3 自営業主・家族従業者	0 (0%)
	4 無職	3 (2%)
	5 学生	7 (5%)
	6 その他	1 (1%)
	未記入	1 (1%)
	計	149 (100%)

※その他内訳

正社員だが病気休職中

第2項 行政政策学類の卒業生

I. あなたの福島大学への在学経験と教育への意識について伺います。

Q1/Q2：福島大学(学類)への入学年／卒業年を西暦でお答えください。

入学	2012	3 (4%)	卒業	2016	1 (1%)
	2013	24 (30%)		2017	23 (29%)
	2014	27 (34%)		2018	28 (35%)
	2015	23 (29%)		2019	25 (32%)
	2016	1 (1%)		未記入	2 (3%)
	未記入	1 (1%)		計	79 (100%)
	計	79 (100%)			

Q3：学類卒業後の在学経験で該当する項目を選択してください。

なし	77 (97%)
福島大学の大学院博士前期課程・修士課程	0 (0%)
他大学の大学院博士前期課程・修士課程	1 (1%)
その他	1 (1%)
未記入	0 (0%)
計	79 (100%)

※その他内訳

他大学の法科大学院(未修)

1

Q4-Q12：大学在籍時の福島大学の授業について、以下のような授業はどの程度ありましたか。

	多かった	少しあった	あまりなかった	全くなかった	未記入	計
Q4 出席を重視	27 (34%)	44 (56%)	8 (10%)	0 (0%)	0 (0%)	79 (100%)
Q5 小テスト・課題が頻繁	2 (3%)	38 (48%)	39 (49%)	0 (0%)	0 (0%)	79 (100%)
Q6 厳しい成績評価	1 (1%)	38 (48%)	39 (49%)	1 (1%)	0 (0%)	79 (100%)
Q7 学生「参加型」の授業	6 (8%)	32 (41%)	38 (48%)	3 (4%)	0 (0%)	79 (100%)
Q8 課題成果の発表・報告	3 (4%)	32 (41%)	40 (51%)	4 (5%)	0 (0%)	79 (100%)
Q9 チームでの課題取り組み	2 (3%)	32 (41%)	42 (53%)	3 (4%)	0 (0%)	79 (100%)
Q10 外国語に接する	10 (13%)	42 (53%)	24 (30%)	3 (4%)	0 (0%)	79 (100%)
Q11 社会の現実へに接する	31 (39%)	32 (41%)	14 (18%)	2 (3%)	0 (0%)	79 (100%)
Q12 理解度や興味への配慮	16 (20%)	45 (57%)	14 (18%)	3 (4%)	1 (1%)	79 (100%)

Q13-Q21：授業を今振り返って、それらは必要だと思いますか。

	とても必要	ある程度必要	あまり必要ない	必要ない	未記入	計
Q13 出席を重視	11 (14%)	49 (62%)	14 (18%)	5 (6%)	0 (0%)	79 (100%)
Q14 小テスト・課題が頻繁	7 (9%)	49 (62%)	19 (24%)	4 (5%)	0 (0%)	79 (100%)
Q15 厳しい成績評価	7 (9%)	51 (65%)	15 (19%)	6 (8%)	0 (0%)	79 (100%)
Q16 学生「参加型」の授業	41 (52%)	28 (35%)	9 (11%)	1 (1%)	0 (0%)	79 (100%)
Q17 課題成果の発表・報告	33 (42%)	31 (39%)	12 (15%)	3 (4%)	0 (0%)	79 (100%)
Q18 チームでの課題取り組み	30 (38%)	36 (46%)	10 (13%)	3 (4%)	0 (0%)	79 (100%)
Q19 外国語に接する	34 (43%)	35 (44%)	7 (9%)	3 (4%)	0 (0%)	79 (100%)
Q20 社会の現実へに接する	58 (73%)	20 (25%)	1 (1%)	0 (0%)	0 (0%)	79 (100%)
Q21 理解度や興味への配慮	45 (57%)	25 (32%)	8 (10%)	0 (0%)	1 (1%)	79 (100%)

Q22-Q44：以下の福島大学の教育内容は、現在従事している職務・作業を遂行する上でどの程度関連していますか。

		関連している	やや関連している	あまり関連していない	関連していない	未履修	未記入	計
制度全般	Q22 GPA 制度	4 (5%)	10 (13%)	27 (34%)	37 (47%)		1 (1%)	79 (100%)
	Q23 CAP 制度	3 (4%)	13 (16%)	23 (29%)	38 (48%)		2 (3%)	79 (100%)
	Q24 クラス制度	3 (4%)	9 (11%)	32 (41%)	34 (43%)		1 (1%)	79 (100%)
	Q25 アドバイザー制度	4 (5%)	10 (13%)	34 (43%)	30 (38%)		1 (1%)	79 (100%)
	Q26 自己デザイン領域	7 (9%)	33 (42%)	17 (22%)	21 (27%)		1 (1%)	79 (100%)
	Q27 特修プログラム (英語、情報、ふくしま未来学)	8 (10%)	17 (22%)	28 (35%)	25 (32%)		1 (1%)	79 (100%)
自己デザイン領域／共通領域	Q28 総合科目	11 (14%)	30 (38%)	23 (29%)	13 (16%)	2 (3%)	0 (0%)	79 (100%)
	Q29 広域選択科目	8 (10%)	38 (48%)	19 (24%)	13 (16%)	1 (1%)	0 (0%)	79 (100%)
	Q30 外国語科目	9 (11%)	19 (24%)	21 (27%)	28 (35%)	1 (1%)	1 (1%)	79 (100%)
	Q31 情報教育科目	17 (22%)	42 (53%)	11 (14%)	7 (9%)	2 (3%)	0 (0%)	79 (100%)
	Q32 健康・運動科目	5 (6%)	13 (16%)	20 (25%)	41 (52%)	0 (0%)	0 (0%)	79 (100%)
	Q33 教養演習	16 (20%)	32 (41%)	19 (24%)	11 (14%)	1 (1%)	0 (0%)	79 (100%)
	Q34 キャリア形成論	12 (15%)	34 (43%)	20 (25%)	12 (15%)	0 (0%)	1 (1%)	79 (100%)
	Q35 キャリアモデル学習	12 (15%)	32 (41%)	20 (25%)	12 (15%)	3 (4%)	0 (0%)	79 (100%)
	Q36 インターンシップ (単位認定)	3 (4%)	5 (6%)	11 (14%)	8 (10%)	52 (66%)	0 (0%)	79 (100%)
	Q37 自己学習プログラム	5 (6%)	13 (16%)	12 (15%)	15 (19%)	34 (43%)	0 (0%)	79 (100%)
専門領域	Q38 学群共通科目	19 (24%)	34 (43%)	15 (19%)	11 (14%)	0 (0%)	0 (0%)	79 (100%)
	Q39 学類共通科目	22 (28%)	34 (43%)	13 (16%)	9 (11%)	1 (1%)	0 (0%)	79 (100%)
	Q40 学類基礎科目	20 (25%)	36 (46%)	14 (18%)	9 (11%)	0 (0%)	0 (0%)	79 (100%)
	Q41 学類専門科目	28 (35%)	28 (35%)	17 (22%)	6 (8%)	0 (0%)	0 (0%)	79 (100%)
	Q42 各種実践・実習科目	7 (9%)	26 (33%)	18 (23%)	11 (14%)	17 (22%)	0 (0%)	79 (100%)
	Q43 卒業演習・研究	21 (27%)	21 (27%)	23 (29%)	14 (18%)	0 (0%)	0 (0%)	79 (100%)
Q44 自由選択領域		6 (8%)	28 (35%)	30 (38%)	14 (18%)	1 (1%)	0 (0%)	79 (100%)

Ⅱ. あなた現在の仕事について伺います。

現在お仕事をされていない方は、最後に就かれていたお仕事についてご回答ください。

Q45：就職した年を西暦でお答えください。

就職	2016	1 (1%)
	2017	23 (29%)
	2018	27 (34%)
	2019	24 (30%)
	未記入	4 (5%)
	計	79 (100%)

Q46/Q47：現在のお仕事の業種/職種について当てはまるものを選択してください。

業種	1 農林水産業	0 (0%)
	2 鉱業	0 (0%)
	3 建設業	3 (4%)
	4 製造業	4 (5%)
	5 電気・ガス・熱供給・水道業	2 (3%)
	6 情報通信業	3 (4%)
	7 運輸業	2 (3%)
	8 卸売・小売業	6 (8%)
	9 金融・保険業	3 (4%)
	10 不動産業	0 (0%)
	11 飲食店、宿泊業	0 (0%)
	12 医療、福祉	3 (4%)
	13 教育、学習支援業	4 (5%)
	14 複合サービス事業	4 (5%)
	15 他に分類されないサービス業	10 (13%)
	16 他に分類されない公務	32 (41%)
	17 その他	1 (1%)
	未記入	2 (3%)
	計	79 (100%)

職種	1 一般事務	48 (61%)
	2 営業・販売職	11 (14%)
	3 サービス職	5 (6%)
	4 技術職	2 (3%)
	5 専門職	9 (11%)
	6 その他	1 (1%)
	未記入	3 (4%)
	計	79 (100%)

※その他内訳

指導・教育

1

※その他内訳

調査業

1

Q48：勤務先の規模(常用雇用者数)について当てはまるものを選択してください。

規模	1 29 名以下	7 (9%)
	2 30-99 名	10 (13%)
	3 100-499 名	33 (42%)
	4 500-999 名	12 (15%)
	5 1,000-4,999 名	9 (11%)
	6 5,000-9,999 名	2 (3%)
	7 10,000 名以上	4 (5%)
	未記入	2 (3%)
	計	79 (100%)

Q49-Q53：あなたが現在の職場に採用された際に評価された点として、以下の項目はどの程度重要だったと思いますか。

	とても重要	ある程度重要	あまり重要ではない	重要ではない	未記入	計
Q49 卒業した大学	12 (15%)	31 (39%)	22 (28%)	12 (15%)	2 (3%)	79 (100%)
Q50 卒業時の専門分野	4 (5%)	22 (28%)	27 (34%)	24 (30%)	2 (3%)	79 (100%)
Q51 成績	8 (10%)	26 (33%)	23 (29%)	20 (25%)	2 (3%)	79 (100%)
Q52 サークル等での実績	5 (6%)	12 (15%)	40 (51%)	20 (25%)	2 (3%)	79 (100%)
Q53 人的なネットワーク	12 (15%)	18 (23%)	37 (47%)	10 (13%)	2 (3%)	79 (100%)

Q54-Q56：次の社会人基礎力について、現在の職場において働く上で重要であると考えられる能力、自分の優れた能力、自分に不足している能力についてお伺いします。

該当する項目全てを選択してください(複数選択可)。

	働く上で重要な能力	自分の優れた能力	自分にとって不足している能力
1 物事に進んで取組む力(主体性)	62 (81%)	21 (28%)	40 (53%)
2 他人に働きかけ巻き込む力(働きかけ力)	46 (60%)	12 (16%)	49 (64%)
3 目的を設定し確実に行動する力(実行力)	54 (70%)	22 (30%)	24 (32%)
4 現状を分析し課題を明らかにする力(課題発見力)	53 (69%)	26 (35%)	24 (32%)
5 課題解決の過程を明らかにし準備する力(計画力)	50 (65%)	17 (23%)	27 (36%)
6 新しい価値を生み出す力(創造力)	28 (36%)	4 (5%)	42 (55%)
7 自分の意見を分かりやすく伝える力(発信力)	63 (82%)	20 (27%)	41 (54%)
8 相手の意見を丁寧に聴く力(傾聴力)	59 (77%)	49 (66%)	12 (16%)
9 意見の違いや立場の違いを理解する力(柔軟性)	51 (66%)	36 (49%)	11 (14%)
10 自分と周囲のとの関係性を理解する力(状況把握力)	55 (71%)	44 (59%)	9 (12%)
11 社会のルールや人との約束を守る力(規律性)	50 (65%)	39 (53%)	8 (11%)
12 ストレスに対応する力(ストレスコントロール力)	62 (81%)	34 (46%)	24 (32%)
未記入	2 (3%)	5 (6%)	3 (4%)

注：ここでのパーセントは全体（79）を分母とした場合の割合。

Q57-Q66：現在のお仕事において、下記の大学時代の経験はどの程度重要だと思いますか。

	とても重要	ある程度重要	あまり重要ではない	重要ではない	未記入	計
Q57 大学進学時に獲得した基礎学力	22 (28%)	41 (52%)	11 (14%)	3 (4%)	2 (3%)	79 (100%)
Q58 学問を修得することによる考え方の訓練	39 (49%)	31 (39%)	4 (5%)	3 (4%)	2 (3%)	79 (100%)
Q59 専門分野の修得による考え方の訓練	31 (39%)	34 (43%)	9 (11%)	3 (4%)	2 (3%)	79 (100%)
Q60 未知のことに目をひらかせられる経験	35 (44%)	31 (39%)	7 (9%)	3 (4%)	3 (4%)	79 (100%)
Q61 先端の学問に触れることによる知的好奇心	32 (41%)	27 (34%)	12 (15%)	5 (6%)	3 (4%)	79 (100%)
Q62 卒業論文・卒業研究等の経験	24 (30%)	36 (46%)	13 (16%)	4 (5%)	2 (3%)	79 (100%)
Q63 アルバイトの経験	38 (48%)	31 (39%)	5 (6%)	3 (4%)	2 (3%)	79 (100%)
Q64 研究室・ゼミでの経験	30 (38%)	37 (47%)	7 (9%)	3 (4%)	2 (3%)	79 (100%)
Q65 教員との交流	27 (34%)	30 (38%)	15 (19%)	5 (6%)	2 (3%)	79 (100%)
Q66 友人・先輩との交流	48 (61%)	20 (25%)	6 (8%)	2 (3%)	3 (4%)	79 (100%)

Q67-Q87：あなたは以下の自分自身の能力をどのように評価しますか。

	とても ある	やや ある	あまり ない	まった くない	未記 入	計
Q67 幅広い教養	6 (8%)	42 (53%)	28 (35%)	3 (4%)	0 (0%)	79 (100%)
Q68 多角的・総合的な思考	8 (10%)	43 (54%)	23 (29%)	5 (6%)	0 (0%)	79 (100%)
Q69 学問的思考の基礎	8 (10%)	34 (43%)	34 (43%)	3 (4%)	0 (0%)	79 (100%)
Q70 科学的・数量的に物事を見る力	7 (9%)	26 (33%)	38 (48%)	8 (10%)	0 (0%)	79 (100%)
Q71 外国語の能力	4 (5%)	11 (14%)	43 (54%)	21 (27%)	0 (0%)	79 (100%)
Q72 異文化の理解	16 (20%)	27 (34%)	28 (35%)	8 (10%)	0 (0%)	79 (100%)
Q73 健康や運動に関する科学的認識	6 (8%)	28 (35%)	32 (41%)	13 (16%)	0 (0%)	79 (100%)
Q74 インターネットで情報を適切に集める力	22 (28%)	40 (51%)	14 (18%)	3 (4%)	0 (0%)	79 (100%)
Q75 自ら学びをデザインする主体性	5 (6%)	27 (34%)	38 (48%)	9 (11%)	0 (0%)	79 (100%)
Q76 自ら学修する習慣	10 (13%)	32 (41%)	30 (38%)	7 (9%)	0 (0%)	79 (100%)
Q77 コミュニケーション力	22 (28%)	26 (33%)	29 (37%)	2 (3%)	0 (0%)	79 (100%)
Q78 自ら人間関係をつくる力	19 (24%)	28 (35%)	27 (34%)	5 (6%)	0 (0%)	79 (100%)
Q79 自らを律して行動できる力	22 (28%)	34 (43%)	20 (25%)	3 (4%)	0 (0%)	79 (100%)
Q80 必要な場合のリーダーシップの発揮	5 (6%)	31 (39%)	30 (38%)	12 (15%)	1 (1%)	79 (100%)
Q81 プレゼンテーション力	4 (5%)	31 (39%)	32 (41%)	11 (14%)	1 (1%)	79 (100%)
Q82 課題探究能力	8 (10%)	35 (44%)	28 (35%)	7 (9%)	1 (1%)	79 (100%)
Q83 キャリアデザイン力	4 (5%)	29 (37%)	36 (46%)	9 (11%)	1 (1%)	79 (100%)
Q84 複数の活動を調整する能力	10 (13%)	34 (43%)	27 (34%)	7 (9%)	1 (1%)	79 (100%)
Q85 大学で学んだ専門知識	7 (9%)	36 (46%)	27 (34%)	8 (10%)	1 (1%)	79 (100%)
Q86 グローバルな課題への関心	13 (16%)	32 (41%)	23 (29%)	10 (13%)	1 (1%)	79 (100%)
Q87 地域的な課題への関心	26 (33%)	37 (47%)	11 (14%)	5 (6%)	0 (0%)	79 (100%)

Q88-Q89：現在の職場、職務はあなたが就職活動時から希望していたものですか。また、現在の生活や状況について就職活動時から予想していましたか。

	全く その通 り	やや その通 り	やや 違う	全く 違う	未記 入	計
Q88 現在の職場・職務を希望していたか	27 (34%)	24 (30%)	15 (19%)	9 (11%)	4 (5%)	79 (100%)
Q89 現在の生活や状況を予想していたか	13 (16%)	30 (38%)	23 (29%)	11 (14%)	2 (3%)	79 (100%)

Ⅲ. 学類・各専攻の教育についてお伺いします

Q90-Q93：あなたは以下の項目(学類のディプロマポリシー)について、所属していた学類で学んだことを通じてどの程度身につけることができましたか。

【行政政策学類の卒業生全員】	身に ついた	ある程度 身につい た	あまり 身につい ていない	身に ついてい ない	未記入	計
Q90 法・地域・行政・社会・文化等の研究分野に関する基礎的かつ専門的知識	17 (22%)	47 (59%)	12 (15%)	2 (3%)	1 (1%)	79 (100%)
Q91 国・地域・社会における諸問題を自ら発見し、調査・分析する能力	12 (15%)	43 (54%)	20 (25%)	4 (5%)	0 (0%)	79 (100%)
Q92 発見し、調査・分析した諸問題につき、解決する応用的能力	6 (8%)	41 (52%)	28 (35%)	4 (5%)	0 (0%)	79 (100%)
Q93 習得した知識・考察した結果を発表し、議論する能力	9 (11%)	39 (49%)	26 (33%)	5 (6%)	0 (0%)	79 (100%)

Q94：所属していた専攻

専攻	法学専攻	17 (22%)
	地域と行政専攻	35 (44%)
	社会と文化専攻	27 (34%)
	計	79 (100%)

Q95-Q106：あなたは以下の項目（学類のディプロマポリシー）について、所属していた学類で学んだことを通じてどの程度身につけることができましたか。

【各専攻の卒業生別】		身についた	ある程度身についた	あまり身についていない	身についていない	未記入	計
法学専攻	Q95 法学のみならず、政治学・行政学や、社会学・比較文化に視野を広げ、深い洞察力を身に付けた上での政策法務的な「法的な思考」	4 (24%)	9 (53%)	3 (18%)	1 (6%)	0 (0%)	17 (100%)
	Q96 市民としての政治参加、裁判員制度、企業法務、公務員としての法的実践などに適応し、地域の複雑かつ多様な社会現象に法的に対応する力	5 (29%)	7 (41%)	3 (18%)	2 (12%)	0 (0%)	17 (100%)
	Q97 国および地域の法的問題を自ら発見し、必要な法令・判例や文献の調べ方・読み方・まとめ方・報告の仕方などの基本的技術を活用して、問題を解決する力	6 (35%)	7 (41%)	3 (18%)	1 (6%)	0 (0%)	17 (100%)
	Q98 習得した知識の活用能力、批判的・論理的思考力、課題探求力、問題解決力、表現能力、異文化理解能力およびコミュニケーション能力など	4 (24%)	7 (41%)	5 (29%)	1 (6%)	0 (0%)	17 (100%)
地域と行政専攻	Q99 政治・行政・社会にかかわる研究分野の基礎的知識	5 (14%)	25 (71%)	4 (11%)	1 (3%)	0 (0%)	35 (100%)
	Q100 地域の固有性と多様性を現地調査によって十分に把握し、様々な資料を読み解き、考える力	7 (20%)	22 (63%)	5 (14%)	1 (3%)	0 (0%)	35 (100%)
	Q101 様々な研究分野の関連性を思考しながら、地域社会の諸問題の解決に向けて、積極的に貢献するための能力	8 (23%)	21 (60%)	5 (14%)	1 (3%)	0 (0%)	35 (100%)
	Q102 習得した知識や思考を適切に表現する力、他者と協力して活動できるコミュニケーション能力	9 (26%)	22 (63%)	4 (11%)	0 (0%)	0 (0%)	35 (100%)
社会と文化専攻	Q103 社会学、歴史学、教育学、文化研究等のいずれかについての専門的な知識、及び「社会と文化」の研究にかかわる学際的な基礎知識	6 (22%)	17 (63%)	3 (11%)	1 (4%)	0 (0%)	27 (100%)
	Q104 現代社会の諸問題、地域社会の問題や、歴史理解、異文化理解、国際交流等にかかわる問題を、みずから発見し、考察し、その解明・解決の方向性を見出す力	6 (22%)	14 (52%)	6 (22%)	1 (4%)	0 (0%)	27 (100%)
	Q105 文献や資料その他の必要な情報源を見つけ出し、それらを解読し、その成果をみずからの立てた問題に照らして、活用する力	7 (26%)	15 (56%)	4 (15%)	1 (4%)	0 (0%)	27 (100%)
	Q106 みずからの考察の成果を文章によって論理的に表現する力、意見交換や討議を尊重しつつ、その成果を的確に伝達する力	5 (19%)	17 (63%)	3 (11%)	2 (7%)	0 (0%)	27 (100%)

注：【各専攻の卒業生別】のパーセンテージは Q94 の各専攻卒業生数を分母とした場合の割合。（法学専攻：17、地域と行政専攻：35、社会と文化専攻：27）

IV. あなた自身について伺います。

Q107：あなたの性別をお答えください。

性別	男性	42 (53%)
	女性	32 (41%)
	未記入	5 (6%)
	計	79 (100%)

Q108：あなたの現在の年齢（満年齢）をお答えください。

年齢	22	4 (5%)
	23	25 (32%)
	24	20 (25%)
	25	27 (34%)
	26	3 (4%)
	未記入	0 (0%)
	計	79 (100%)

Q109：あなたの現在の就業状況についてお答えください。

就業 状況	1 常時雇用の社員・職員	71 (90%)
	2 パート・アルバイト・臨時の社員・職員	4 (5%)
	3 自営業主・家族従業者	0 (0%)
	4 無職	0 (0%)
	5 学生	3 (4%)
	6 その他	0 (0%)
	未記入	1 (1%)
	計	79 (100%)

第3項 経済経営学類の卒業生

I. あなたの福島大学への在学経験と教育への意識について伺います。

Q1/Q2：福島大学(学類)への入学年／卒業年を西暦でお答えください。

入学	2012	3 (7%)	卒業	2016	3 (7%)
	2013	17 (40%)		2017	19 (44%)
	2014	12 (28%)		2018	11 (26%)
	2015	11 (26%)		2019	10 (23%)
	未記入	0 (0%)		未記入	0 (0%)
	計	43 (100%)		計	43 (100%)

Q3：学類卒業後の在学経験で該当する項目を選択してください。

なし	42 (98%)
福島大学の大学院博士前期課程・修士課程	1 (2%)
他大学の大学院博士前期課程・修士課程	0 (0%)
その他	0 (0%)
未記入	0 (0%)
計	43 (100%)

Q4-Q12：大学在籍時の福島大学の授業について、以下のような授業はどの程度ありましたか。

	多かった	少しあった	あまりなかった	全くなかった	未記入	計
Q4 出席を重視	16 (37%)	21 (49%)	6 (14%)	0 (0%)	0 (0%)	43 (100%)
Q5 小テスト・課題が頻繁	4 (9%)	25 (58%)	12 (28%)	2 (5%)	0 (0%)	43 (100%)
Q6 厳しい成績評価	1 (2%)	13 (30%)	28 (65%)	1 (2%)	0 (0%)	43 (100%)
Q7 学生「参加型」の授業	2 (5%)	26 (60%)	13 (30%)	2 (5%)	0 (0%)	43 (100%)
Q8 課題成果の発表・報告	4 (9%)	15 (35%)	22 (51%)	2 (5%)	0 (0%)	43 (100%)
Q9 チームでの課題取り組み	4 (9%)	19 (44%)	19 (44%)	1 (2%)	0 (0%)	43 (100%)
Q10 外国語に接する	8 (19%)	21 (49%)	14 (33%)	0 (0%)	0 (0%)	43 (100%)
Q11 社会の現実に関接する	9 (21%)	21 (49%)	13 (30%)	0 (0%)	0 (0%)	43 (100%)
Q12 理解度や興味への配慮	5 (12%)	23 (53%)	14 (33%)	1 (2%)	0 (0%)	43 (100%)

Q13-Q21：授業を今振り返って、それらは必要だと思いますか。

	とても必要	ある程度必要	あまり必要ない	必要ない	未記入	計
Q13 出席を重視	13 (30%)	25 (58%)	4 (9%)	1 (2%)	0 (0%)	43 (100%)
Q14 小テスト・課題が頻繁	4 (9%)	31 (72%)	8 (19%)	0 (0%)	0 (0%)	43 (100%)
Q15 厳しい成績評価	5 (12%)	21 (49%)	14 (33%)	2 (5%)	1 (2%)	43 (100%)
Q16 学生「参加型」の授業	24 (56%)	18 (42%)	1 (2%)	0 (0%)	0 (0%)	43 (100%)
Q17 課題成果の発表・報告	18 (42%)	21 (49%)	4 (9%)	0 (0%)	0 (0%)	43 (100%)
Q18 チームでの課題取り組み	26 (60%)	14 (33%)	3 (7%)	0 (0%)	0 (0%)	43 (100%)
Q19 外国語に接する	24 (56%)	18 (42%)	1 (2%)	0 (0%)	0 (0%)	43 (100%)
Q20 社会の現実に関接する	31 (72%)	10 (23%)	2 (5%)	0 (0%)	0 (0%)	43 (100%)
Q21 理解度や興味への配慮	21 (49%)	20 (47%)	1 (2%)	1 (2%)	0 (0%)	43 (100%)

Q22-Q44：以下の福島大学の教育内容は、現在従事している職務・作業を遂行する上でどの程度関連していますか。

		関連している	やや関連している	あまり関連していない	関連していない	未履修	未記入	計
制度全般	Q22 GPA 制度	7 (16%)	9 (21%)	9 (21%)	18 (42%)		0 (0%)	43 (100%)
	Q23 CAP 制度	8 (19%)	6 (14%)	11 (26%)	18 (42%)		0 (0%)	43 (100%)
	Q24 クラス制度	4 (9%)	10 (23%)	15 (35%)	14 (33%)		0 (0%)	43 (100%)
	Q25 アドバイザー制度	4 (9%)	13 (30%)	13 (30%)	13 (30%)		0 (0%)	43 (100%)
	Q26 自己デザイン領域	4 (9%)	12 (28%)	18 (42%)	9 (21%)		0 (0%)	43 (100%)
	Q27 特修プログラム (英語、情報、ふくしま未来学)	6 (14%)	13 (30%)	16 (37%)	7 (16%)		1 (2%)	43 (100%)
自己デザイン領域／共通領域	Q28 総合科目	4 (9%)	16 (37%)	13 (30%)	8 (19%)	2 (5%)	0 (0%)	43 (100%)
	Q29 広域選択科目	4 (9%)	15 (35%)	16 (37%)	8 (19%)	0 (0%)	0 (0%)	43 (100%)
	Q30 外国語科目	5 (12%)	15 (35%)	12 (28%)	11 (26%)	0 (0%)	0 (0%)	43 (100%)
	Q31 情報教育科目	11 (26%)	17 (40%)	11 (26%)	4 (9%)	0 (0%)	0 (0%)	43 (100%)
	Q32 健康・運動科目	5 (12%)	9 (21%)	14 (33%)	15 (35%)	0 (0%)	0 (0%)	43 (100%)
	Q33 教養演習	7 (16%)	15 (35%)	15 (35%)	6 (14%)	0 (0%)	0 (0%)	43 (100%)
	Q34 キャリア形成論	5 (12%)	20 (47%)	12 (28%)	6 (14%)	0 (0%)	0 (0%)	43 (100%)
	Q35 キャリアモデル学習	7 (16%)	17 (40%)	13 (30%)	6 (14%)	0 (0%)	0 (0%)	43 (100%)
	Q36 インターンシップ (単位認定)	9 (21%)	8 (19%)	5 (12%)	3 (7%)	18 (42%)	0 (0%)	43 (100%)
専門領域	Q37 自己学習プログラム	5 (12%)	8 (19%)	13 (30%)	3 (7%)	14 (33%)	0 (0%)	43 (100%)
	Q38 学群共通科目	7 (16%)	18 (42%)	11 (26%)	5 (12%)	2 (5%)	0 (0%)	43 (100%)
	Q39 学類共通科目	9 (21%)	23 (53%)	8 (19%)	3 (7%)	0 (0%)	0 (0%)	43 (100%)
	Q40 学類基礎科目	9 (21%)	22 (51%)	7 (16%)	5 (12%)	0 (0%)	0 (0%)	43 (100%)
	Q41 学類専門科目	10 (23%)	22 (51%)	7 (16%)	4 (9%)	0 (0%)	0 (0%)	43 (100%)
	Q42 各種実践・実習科目	7 (16%)	14 (33%)	9 (21%)	4 (9%)	9 (21%)	0 (0%)	43 (100%)
Q43 卒業演習・研究		11 (26%)	17 (40%)	11 (26%)	4 (9%)	0 (0%)	0 (0%)	43 (100%)
Q44 自由選択領域		4 (9%)	14 (33%)	17 (40%)	8 (19%)	0 (0%)	0 (0%)	43 (100%)

Ⅱ. あなた現在の仕事について伺います。

現在お仕事をされていない方は、最後に就かれていたお仕事についてご回答ください。

Q45：就職した年を西暦でお答えください。

就職	2016	1 (2%)
	2017	19 (44%)
	2018	11 (26%)
	2019	10 (23%)
	未記入	2 (5%)
	計	43 (100%)

Q46/Q47：現在のお仕事の業種/職種について当てはまるものを選択してください。

業種	1 農林水産業	0 (0%)
	2 鉱業	0 (0%)
	3 建設業	1 (2%)
	4 製造業	1 (2%)
	5 電気・ガス・熱供給・水道業	2 (5%)
	6 情報通信業	5 (12%)
	7 運輸業	2 (5%)
	8 卸売・小売業	6 (14%)
	9 金融・保険業	13 (30%)
	10 不動産業	0 (0%)
	11 飲食店、宿泊業	0 (0%)
	12 医療、福祉	2 (5%)
	13 教育、学習支援業	0 (0%)
	14 複合サービス事業	1 (2%)
	15 他に分類されないサービス業	1 (2%)
	16 他に分類されない公務	8 (19%)
	17 その他	0 (0%)
	未記入	1 (2%)
	計	43 (100%)

職種	1 一般事務	15 (35%)
	2 営業・販売職	18 (42%)
	3 サービス職	1 (2%)
	4 技術職	3 (7%)
	5 専門職	4 (9%)
	6 その他	1 (2%)
	未記入	1 (2%)
	計	43 (100%)

※その他内訳

用地業務

1

Q48：勤務先の規模(常用雇用者数)について当てはまるものを選択してください。

規模	1 29 名以下	2 (5%)
	2 30-99 名	8 (19%)
	3 100-499 名	9 (21%)
	4 500-999 名	5 (12%)
	5 1,000-4,999 名	10 (23%)
	6 5,000-9,999 名	4 (9%)
	7 10,000 名以上	4 (9%)
	未記入	1 (2%)
	計	43 (100%)

Q49-Q53：あなたが現在の職場に採用された際に評価された点として、以下の項目はどの程度重要だったと思いますか。

	とても重要	ある程度重要	あまり重要ではない	重要ではない	未記入	計
Q49 卒業した大学	2 (5%)	24 (56%)	11 (26%)	5 (12%)	1 (2%)	43 (100%)
Q50 卒業時の専門分野	3 (7%)	11 (26%)	22 (51%)	6 (14%)	1 (2%)	43 (100%)
Q51 成績	3 (7%)	13 (30%)	21 (49%)	5 (12%)	1 (2%)	43 (100%)
Q52 サークル等での実績	3 (7%)	10 (23%)	21 (49%)	8 (19%)	1 (2%)	43 (100%)
Q53 人的なネットワーク	3 (7%)	16 (37%)	17 (40%)	6 (14%)	1 (2%)	43 (100%)

Q54-Q56：次の社会人基礎力について、現在の職場において働く上で重要であると考えられる能力、自分の優れた能力、自分に不足している能力についてお伺いします。

該当する項目全てを選択してください(複数選択可)。

	働く上で重要な能力	自分の優れた能力	自分にとって不足している能力
1 物事に進んで取組む力(主体性)	32 (76%)	14 (34%)	12 (29%)
2 他人に働きかけ巻き込む力(働きかけ力)	17 (40%)	6 (15%)	20 (48%)
3 目的を設定し確実に行動する力(実行力)	29 (69%)	8 (20%)	9 (21%)
4 現状を分析し課題を明らかにする力(課題発見力)	22 (52%)	6 (15%)	12 (29%)
5 課題解決の過程を明らかにし準備する力(計画力)	19 (45%)	7 (17%)	8 (19%)
6 新しい価値を生み出す力(創造力)	11 (26%)	2 (5%)	16 (38%)
7 自分の意見を分かりやすく伝える力(発信力)	21 (50%)	6 (15%)	11 (26%)
8 相手の意見を丁寧に聴く力(傾聴力)	26 (62%)	20 (49%)	3 (7%)
9 意見の違いや立場の違いを理解する力(柔軟性)	20 (48%)	16 (39%)	2 (5%)
10 自分と周囲のとの関係性を理解する力(状況把握力)	21 (50%)	15 (37%)	2 (5%)
11 社会のルールや人との約束を守る力(規律性)	27 (64%)	20 (49%)	4 (10%)
12 ストレスに対応する力(ストレスコントロール力)	28 (67%)	14 (34%)	11 (26%)
未記入	1 (2%)	2 (5%)	1 (2%)

注：ここでのパーセントは全体（43）を分母とした場合の割合。

Q57-Q66：現在のお仕事において、下記の大学時代の経験はどの程度重要だと思いますか。

	とても重要	ある程度重要	あまり重要ではない	重要ではない	未記入	計
Q57 大学進学時に獲得した基礎学力	11 (26%)	21 (49%)	9 (21%)	1 (2%)	1 (2%)	43 (100%)
Q58 学問を修得することによる考え方の訓練	15 (35%)	23 (53%)	2 (5%)	2 (5%)	1 (2%)	43 (100%)
Q59 専門分野の修得による考え方の訓練	12 (28%)	23 (53%)	4 (9%)	3 (7%)	1 (2%)	43 (100%)
Q60 未知のことに目をひらかせられる経験	19 (44%)	18 (42%)	4 (9%)	1 (2%)	1 (2%)	43 (100%)
Q61 先端の学問に触れることによる知的好奇心	13 (30%)	21 (49%)	7 (16%)	1 (2%)	1 (2%)	43 (100%)
Q62 卒業論文・卒業研究等の経験	7 (16%)	26 (60%)	8 (19%)	1 (2%)	1 (2%)	43 (100%)
Q63 アルバイトの経験	21 (49%)	15 (35%)	4 (9%)	2 (5%)	1 (2%)	43 (100%)
Q64 研究室・ゼミでの経験	13 (30%)	23 (53%)	5 (12%)	1 (2%)	1 (2%)	43 (100%)
Q65 教員との交流	8 (19%)	23 (53%)	9 (21%)	2 (5%)	1 (2%)	43 (100%)
Q66 友人・先輩との交流	23 (53%)	17 (40%)	2 (5%)	0 (0%)	1 (2%)	43 (100%)

Q67-Q87：あなたは以下の自分自身の能力をどのように評価しますか。

	とても ある	やや ある	あまり ない	まった くない	未記 入	計
Q67 幅広い教養	2 (5%)	27 (63%)	14 (33%)	0 (0%)	0 (0%)	43 (100%)
Q68 多角的・総合的な思考	3 (7%)	25 (58%)	14 (33%)	1 (2%)	0 (0%)	43 (100%)
Q69 学問的思考の基礎	2 (5%)	23 (53%)	18 (42%)	0 (0%)	0 (0%)	43 (100%)
Q70 科学的・数量的に物事を見る力	3 (7%)	18 (42%)	20 (47%)	2 (5%)	0 (0%)	43 (100%)
Q71 外国語の能力	3 (7%)	11 (26%)	24 (56%)	5 (12%)	0 (0%)	43 (100%)
Q72 異文化の理解	4 (9%)	24 (56%)	14 (33%)	1 (2%)	0 (0%)	43 (100%)
Q73 健康や運動に関する科学的認識	1 (2%)	17 (40%)	22 (51%)	2 (5%)	1 (2%)	43 (100%)
Q74 インターネットで情報を適切に集める力	6 (14%)	31 (72%)	6 (14%)	0 (0%)	0 (0%)	43 (100%)
Q75 自ら学びをデザインする主体性	3 (7%)	16 (37%)	18 (42%)	6 (14%)	0 (0%)	43 (100%)
Q76 自ら学修する習慣	5 (12%)	19 (44%)	15 (35%)	4 (9%)	0 (0%)	43 (100%)
Q77 コミュニケーション力	8 (19%)	20 (47%)	15 (35%)	0 (0%)	0 (0%)	43 (100%)
Q78 自ら人間関係をつくる力	5 (12%)	20 (47%)	17 (40%)	1 (2%)	0 (0%)	43 (100%)
Q79 自らを律して行動できる力	5 (12%)	25 (58%)	13 (30%)	0 (0%)	0 (0%)	43 (100%)
Q80 必要な場合のリーダーシップの発揮	2 (5%)	19 (44%)	20 (47%)	2 (5%)	0 (0%)	43 (100%)
Q81 プレゼンテーション力	5 (12%)	11 (26%)	21 (49%)	6 (14%)	0 (0%)	43 (100%)
Q82 課題探究能力	4 (9%)	15 (35%)	23 (53%)	1 (2%)	0 (0%)	43 (100%)
Q83 キャリアデザイン力	2 (5%)	19 (44%)	21 (49%)	1 (2%)	0 (0%)	43 (100%)
Q84 複数の活動を調整する能力	4 (9%)	24 (56%)	14 (33%)	1 (2%)	0 (0%)	43 (100%)
Q85 大学で学んだ専門知識	3 (7%)	23 (53%)	16 (37%)	1 (2%)	0 (0%)	43 (100%)
Q86 グローバルな課題への関心	5 (12%)	16 (37%)	18 (42%)	4 (9%)	0 (0%)	43 (100%)
Q87 地域的な課題への関心	13 (30%)	17 (40%)	12 (28%)	1 (2%)	0 (0%)	43 (100%)

Q88-Q89：現在の職場、職務はあなたが就職活動時から希望していたものですか。また、現在の生活や状況について就職活動時から予想していましたか。

	全く その通 り	やや その通 り	やや 違う	全く 違う	未記 入	計
Q88 現在の職場・職務を希望していたか	16 (37%)	16 (37%)	7 (16%)	3 (7%)	1 (2%)	43 (100%)
Q89 現在の生活や状況を予想していたか	10 (23%)	20 (47%)	8 (19%)	5 (12%)	0 (0%)	43 (100%)

Ⅲ. 学類・各専攻の教育についてお伺いします

Q90-Q93：あなたは以下の項目(学類のディプロマポリシー)について、所属していた学類で学んだことを通じてどの程度身につけることができましたか。

【経済経営学類の卒業生全員】	身に ついた	ある程度 身につ いた	あまり 身に ついて いない	身に ついて いない	未記入	計
Q90 職業人、社会人として自立する力	9 (21%)	26 (60%)	7 (16%)	1 (2%)	0 (0%)	43 (100%)
Q91 基礎的・専門的知識に基づいて、経済社会を分析し、論理的に思考する力	4 (9%)	31 (72%)	7 (16%)	1 (2%)	0 (0%)	43 (100%)
Q92 基礎的・専門的知識を応用できる経済学士としての実践力と問題解決能力	2 (5%)	23 (53%)	16 (37%)	2 (5%)	0 (0%)	43 (100%)

Q93：所属していた専攻

専攻	経済分析専攻	8 (19%)
	国際地域経済専攻	19 (44%)
	企業経営専攻	16 (37%)
	計	43 (100%)

Q94-Q96：あなたは以下の項目(学類のディプロマポリシー)について、所属していた学類で学んだことを通じてどの程度身につけることができましたか。

【各専攻の卒業生別】		身についた	ある程度身についた	あまり身につけていない	身につけていない	未記入	計
経済分析専攻	Q94 ミクロ・マクロ経済学での諸議論を通して経済のしくみを体系的に理解し、得られた知識を、金融・公共経済をはじめとした経済システムの分析とそのあり方に関する実践的な考察に応用することができる力	3(38%)	2(25%)	3(38%)	0(0%)	0(0%)	8(100%)
国際地域専攻	Q95 経済学的素養に基づく理論的、歴史的、政策的見地に加えてグローバルな知識を身に付けて今日の経済社会を理解し、国際社会と地域社会の課題に理論的実践的に取り組むことができる力	1(5%)	14(74%)	3(16%)	1(5%)	0(0%)	19(100%)
企業経営専攻	Q96 企業活動に対し、外部環境を踏まえて定量的・定性的に分析するための専門的知識、及び、それを応用して企業およびその他組織における適切な意思決定ができる基礎的力量	3(19%)	7(44%)	5(31%)	1(6%)	0(0%)	16(100%)

注：【各専攻の卒業生別】のパーセンテージはQ94の各専攻卒業生数を分母とした場合の割合。(経済分析専攻：8，国際地域専攻：19，企業経営専攻：16)

IV. あなた自身について伺います。

Q97：あなたの性別をお答えください。

性別	男性	29 (67%)
	女性	13 (30%)
	未記入	1 (2%)
	計	43 (100%)

Q98：あなたの現在の年齢（満年齢）をお答えください。

年齢	22	3 (7%)
	23	8 (19%)
	24	11 (26%)
	25	17 (40%)
	26	4 (9%)
	未記入	0 (0%)
	計	43 (100%)

Q99：あなたの現在の就業状況についてお答えください。

就業 状況	1 常時雇用の社員・職員	38 (88%)
	2 パート・アルバイト・臨時の社員・職員	2 (5%)
	3 自営業主・家族従業者	0 (0%)
	4 無職	2 (5%)
	5 学生	1 (2%)
	6 その他	0 (0%)
	未記入	0 (0%)
	計	43 (100%)

第4項 現代教養コースの卒業生

I. あなたの福島大学への在学経験と教育への意識について伺います。

Q1/Q2：福島大学(学類)への入学年／卒業年を西暦でお答えください。

入学	2013	4(21%)	卒業	2017	5(26%)
	2014	5(26%)		2018	3(16%)
	2015	5(26%)		2019	11(58%)
	2017	5(26%)		未記入	0(0%)
	未記入	0(0%)		計	19(100%)
	計	19(100%)			

Q3：学類卒業後の在学経験で該当する項目を選択してください。

なし	16(84%)
福島大学の大学院博士前期課程・修士課程	2(11%)
他大学の大学院博士前期課程・修士課程	1(5%)
その他	0(0%)
未記入	0(0%)
計	19(100%)

Q4-Q12：大学在籍時の福島大学の授業について、以下のような授業はどの程度ありましたか。

	多かった	少しあった	あまりなかった	全くなかった	未記入	計
Q4 出席を重視	10(53%)	8(42%)	1(5%)	0(0%)	0(0%)	19(100%)
Q5 小テスト・課題が頻繁	4(21%)	9(47%)	6(32%)	0(0%)	0(0%)	19(100%)
Q6 厳しい成績評価	0(0%)	8(42%)	11(58%)	0(0%)	0(0%)	19(100%)
Q7 学生「参加型」の授業	2(11%)	13(68%)	4(21%)	0(0%)	0(0%)	19(100%)
Q8 課題成果の発表・報告	0(0%)	14(74%)	3(16%)	2(11%)	0(0%)	19(100%)
Q9 チームでの課題取り組み	0(0%)	13(68%)	6(32%)	0(0%)	0(0%)	19(100%)
Q10 外国語に接する	0(0%)	10(53%)	7(37%)	2(11%)	0(0%)	19(100%)
Q11 社会の現実に関接する	5(26%)	8(42%)	5(26%)	1(5%)	0(0%)	19(100%)
Q12 理解度や興味への配慮	4(21%)	11(58%)	2(11%)	2(11%)	0(0%)	19(100%)

Q13-Q21：授業を今振り返って、それらは必要だと思いますか。

	とても必要	ある程度必要	あまり必要ない	必要ない	未記入	計
Q13 出席を重視	8(42%)	11(58%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	19(100%)
Q14 小テスト・課題が頻繁	3(16%)	11(58%)	4(21%)	1(5%)	0(0%)	19(100%)
Q15 厳しい成績評価	4(21%)	10(53%)	3(16%)	2(11%)	0(0%)	19(100%)
Q16 学生「参加型」の授業	10(53%)	8(42%)	1(5%)	0(0%)	0(0%)	19(100%)
Q17 課題成果の発表・報告	7(37%)	11(58%)	1(5%)	0(0%)	0(0%)	19(100%)
Q18 チームでの課題取り組み	3(16%)	11(58%)	5(26%)	0(0%)	0(0%)	19(100%)
Q19 外国語に接する	16(84%)	3(16%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	19(100%)
Q20 社会の現実に関接する	16(84%)	3(16%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	19(100%)
Q21 理解度や興味への配慮	10(53%)	9(47%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	19(100%)

Q22-Q44：以下の福島大学の教育内容は、現在従事している職務・作業を遂行する上でどの程度関連していますか。

		関連している	やや関連している	あまり関連していない	関連していない	未履修	未記入	計
制度全般	Q22 GPA 制度	2 (11%)	3 (16%)	8 (42%)	6 (32%)		0 (0%)	19 (100%)
	Q23 CAP 制度	1 (5%)	2 (11%)	9 (47%)	7 (37%)		0 (0%)	19 (100%)
	Q24 クラス制度	1 (5%)	3 (16%)	6 (32%)	8 (42%)		1 (5%)	19 (100%)
	Q25 アドバイザー制度	1 (5%)	0 (0%)	10 (53%)	7 (37%)		1 (5%)	19 (100%)
	Q26 自己デザイン領域	2 (11%)	5 (26%)	7 (37%)	5 (26%)		0 (0%)	19 (100%)
	Q27 特修プログラム（英語、情報、ふくしま未来学）	0 (0%)	3 (16%)	7 (37%)	8 (42%)		1 (5%)	19 (100%)
自己デザイン領域／共通領域	Q28 総合科目	3 (16%)	7 (37%)	5 (26%)	2 (11%)	2 (11%)	0 (0%)	19 (100%)
	Q29 広域選択科目	3 (16%)	7 (37%)	7 (37%)	2 (11%)	0 (0%)	0 (0%)	19 (100%)
	Q30 外国語科目	4 (21%)	2 (11%)	8 (42%)	4 (21%)	1 (5%)	0 (0%)	19 (100%)
	Q31 情報教育科目	4 (21%)	5 (26%)	7 (37%)	2 (11%)	1 (5%)	0 (0%)	19 (100%)
	Q32 健康・運動科目	1 (5%)	7 (37%)	5 (26%)	5 (26%)	1 (5%)	0 (0%)	19 (100%)
	Q33 教養演習	2 (11%)	10 (53%)	2 (11%)	4 (21%)	1 (5%)	0 (0%)	19 (100%)
	Q34 キャリア形成論	5 (26%)	7 (37%)	4 (21%)	3 (16%)	0 (0%)	0 (0%)	19 (100%)
	Q35 キャリアモデル学習	3 (16%)	8 (42%)	5 (26%)	3 (16%)	0 (0%)	0 (0%)	19 (100%)
	Q36 インターンシップ（単位認定）	0 (0%)	2 (11%)	4 (21%)	1 (5%)	12 (63%)	0 (0%)	19 (100%)
専門領域	Q37 自己学習プログラム	1 (5%)	7 (37%)	1 (5%)	2 (11%)	8 (42%)	0 (0%)	19 (100%)
	Q38 学群共通科目	2 (11%)	8 (42%)	6 (32%)	1 (5%)	2 (11%)	0 (0%)	19 (100%)
	Q39 学類共通科目	3 (16%)	9 (47%)	4 (21%)	1 (5%)	2 (11%)	0 (0%)	19 (100%)
	Q40 学類基礎科目	3 (16%)	8 (42%)	5 (26%)	1 (5%)	2 (11%)	0 (0%)	19 (100%)
	Q41 学類専門科目	4 (21%)	8 (42%)	4 (21%)	1 (5%)	2 (11%)	0 (0%)	19 (100%)
	Q42 各種実践・実習科目	2 (11%)	7 (37%)	6 (32%)	1 (5%)	3 (16%)	0 (0%)	19 (100%)
Q44 自由選択領域	Q43 卒業演習・研究	7 (37%)	5 (26%)	3 (16%)	4 (21%)	0 (0%)	0 (0%)	19 (100%)
	Q44 自由選択領域	5 (26%)	9 (47%)	3 (16%)	2 (11%)	0 (0%)	0 (0%)	19 (100%)

Ⅱ. あなたの現在のお仕事について伺います。

現在お仕事をされていない方は、最後に就かれていたお仕事についてご回答ください。

Q45：就職した年を西暦でお答えください。

就職	1969	1 (5%)
	1976	1 (5%)
	2014	1 (5%)
	2015	1 (5%)
	2017	5 (26%)
	2018	2 (11%)
	2019	3 (16%)
	未記入	5 (26%)
	計	19 (100%)

Q46/Q47：現在のお仕事の業種/職種について当てはまるものを選択してください。

業種	1 農林水産業	0 (0%)
	2 鉱業	0 (0%)
	3 建設業	0 (0%)
	4 製造業	1 (5%)
	5 電気・ガス・熱供給・水道業	0 (0%)
	6 情報通信業	0 (0%)
	7 運輸業	2 (11%)
	8 卸売・小売業	1 (5%)
	9 金融・保険業	0 (0%)
	10 不動産業	1 (5%)
	11 飲食店、宿泊業	0 (0%)
	12 医療、福祉	2 (11%)
	13 教育、学習支援業	2 (11%)
	14 複合サービス事業	0 (0%)
	15 他に分類されないサービス業	2 (11%)
	16 他に分類されない公務	5 (26%)
	17 その他	1 (5%)
	未記入	2 (11%)
	計	19 (100%)

職種	1 一般事務	6 (32%)
	2 営業・販売職	4 (21%)
	3 サービス職	1 (5%)
	4 技術職	1 (5%)
	5 専門職	2 (11%)
	6 その他	2 (11%)
	未記入	3 (16%)
	計	19 (100%)

※その他内訳

不動産貸付業	1
営業事務	1

※その他内訳

町会議員	1
------	---

Q48：勤務先の規模(常用雇用者数)について当てはまるものを選択してください。

規模	1 29 名以下	6 (32%)
	2 30-99 名	0 (0%)
	3 100-499 名	2 (11%)
	4 500-999 名	3 (16%)
	5 1,000-4,999 名	1 (5%)
	6 5,000-9,999 名	3 (16%)
	7 10,000 名以上	2 (11%)
	未記入	2 (11%)
	計	19 (100%)

Q49-Q53：あなたが現在の職場に採用された際に評価された点として、以下の項目はどの程度重要だったと思いますか。

	とても重要	ある程度重要	あまり重要ではない	重要ではない	未記入	計
Q49 卒業した大学	3 (16%)	7 (37%)	4 (21%)	3 (16%)	2 (11%)	19 (100%)
Q50 卒業時の専門分野	3 (16%)	6 (32%)	4 (21%)	4 (21%)	2 (11%)	19 (100%)
Q51 成績	3 (16%)	2 (11%)	8 (42%)	4 (21%)	2 (11%)	19 (100%)
Q52 サークル等での実績	1 (5%)	2 (11%)	7 (37%)	7 (37%)	2 (11%)	19 (100%)
Q53 人的なネットワーク	2 (11%)	5 (26%)	5 (26%)	5 (26%)	2 (11%)	19 (100%)

Q54-Q56：次の社会人基礎力について、現在の職場において働く上で重要であると考えられる能力、自分の優れた能力、自分に不足している能力についてお伺いします。

該当する項目全てを選択してください(複数選択可)。

	働く上で重要な能力	自分の優れた能力	自分にとって不足している能力
1 物事に進んで取組む力(主体性)	16 (89%)	11 (61%)	5 (31%)
2 他人に働きかけ巻き込む力(働きかけ力)	14 (78%)	8 (44%)	7 (44%)
3 目的を設定し確実に行動する力(実行力)	15 (83%)	10 (56%)	3 (19%)
4 現状を分析し課題を明らかにする力(課題発見力)	15 (83%)	8 (44%)	7 (44%)
5 課題解決の過程を明らかにし準備する力(計画力)	12 (67%)	5 (28%)	7 (44%)
6 新しい価値を生み出す力(創造力)	10 (56%)	4 (22%)	9 (56%)
7 自分の意見を分かりやすく伝える力(発信力)	15 (83%)	7 (39%)	10 (63%)
8 相手の意見を丁寧に聴く力(傾聴力)	15 (83%)	8 (44%)	4 (25%)
9 意見の違いや立場の違いを理解する力(柔軟性)	16 (89%)	10 (56%)	3 (19%)
10 自分と周囲のとの関係性を理解する力(状況把握力)	13 (72%)	10 (56%)	5 (31%)
11 社会のルールや人との約束を守る力(規律性)	15 (83%)	13 (72%)	2 (13%)
12 ストレスに対応する力(ストレスコントロール力)	17 (94%)	11 (61%)	8 (50%)
未記入	1 (5%)	1 (5%)	3 (16%)

注：ここでのパーセントは全体（19）を分母とした場合の割合。

Q57-Q66：現在のお仕事において、下記の大学時代の経験はどの程度重要だと思いますか。

	とても重要	ある程度重要	あまり重要ではない	重要ではない	未記入	計
Q57 大学進学時に獲得した基礎学力	5 (26%)	8 (42%)	2 (11%)	2 (11%)	2 (11%)	19 (100%)
Q58 学問を修得することによる考え方の訓練	10 (53%)	5 (26%)	1 (5%)	1 (5%)	2 (11%)	19 (100%)
Q59 専門分野の修得による考え方の訓練	8 (42%)	6 (32%)	1 (5%)	2 (11%)	2 (11%)	19 (100%)
Q60 未知のことに目をひらかせられる経験	9 (47%)	5 (26%)	2 (11%)	1 (5%)	2 (11%)	19 (100%)
Q61 先端の学問に触れることによる知的好奇心	12 (63%)	4 (21%)	1 (5%)	1 (5%)	1 (5%)	19 (100%)
Q62 卒業論文・卒業研究等の経験	9 (47%)	3 (16%)	3 (16%)	3 (16%)	1 (5%)	19 (100%)
Q63 アルバイトの経験	11 (58%)	2 (11%)	3 (16%)	2 (11%)	1 (5%)	19 (100%)
Q64 研究室・ゼミでの経験	8 (42%)	6 (32%)	3 (16%)	1 (5%)	1 (5%)	19 (100%)
Q65 教員との交流	4 (21%)	10 (53%)	2 (11%)	2 (11%)	1 (5%)	19 (100%)
Q66 友人・先輩との交流	9 (47%)	6 (32%)	2 (11%)	1 (5%)	1 (5%)	19 (100%)

Q67-Q87：あなたは以下の自分自身の能力をどのように評価しますか。

	とても ある	やや ある	あまり ない	まった くない	未記 入	計
Q67 幅広い教養	3 (16%)	9 (47%)	7 (37%)	0 (0%)	0 (0%)	19 (100%)
Q68 多角的・総合的な思考	5 (26%)	9 (47%)	5 (26%)	0 (0%)	0 (0%)	19 (100%)
Q69 学問的思考の基礎	1 (5%)	8 (42%)	10 (53%)	0 (0%)	0 (0%)	19 (100%)
Q70 科学的・数量的に物事を見る力	1 (5%)	6 (32%)	11 (58%)	1 (5%)	0 (0%)	19 (100%)
Q71 外国語の能力	1 (5%)	2 (11%)	12 (63%)	4 (21%)	0 (0%)	19 (100%)
Q72 異文化の理解	4 (21%)	10 (53%)	5 (26%)	0 (0%)	0 (0%)	19 (100%)
Q73 健康や運動に関する科学的認識	1 (5%)	11 (58%)	6 (32%)	1 (5%)	0 (0%)	19 (100%)
Q74 インターネットで情報を適切に集める力	7 (37%)	8 (42%)	4 (21%)	0 (0%)	0 (0%)	19 (100%)
Q75 自ら学びをデザインする主体性	4 (21%)	9 (47%)	6 (32%)	0 (0%)	0 (0%)	19 (100%)
Q76 自ら学修する習慣	7 (37%)	8 (42%)	4 (21%)	0 (0%)	0 (0%)	19 (100%)
Q77 コミュニケーション力	3 (16%)	10 (53%)	6 (32%)	0 (0%)	0 (0%)	19 (100%)
Q78 自ら人間関係をつくる力	4 (21%)	7 (37%)	8 (42%)	0 (0%)	0 (0%)	19 (100%)
Q79 自らを律して行動できる力	6 (32%)	10 (53%)	3 (16%)	0 (0%)	0 (0%)	19 (100%)
Q80 必要な場合のリーダーシップの発揮	9 (47%)	3 (16%)	6 (32%)	1 (5%)	0 (0%)	19 (100%)
Q81 プレゼンテーション力	1 (5%)	7 (37%)	9 (47%)	2 (11%)	0 (0%)	19 (100%)
Q82 課題探究能力	2 (11%)	7 (37%)	10 (53%)	0 (0%)	0 (0%)	19 (100%)
Q83 キャリアデザイン力	1 (5%)	6 (32%)	11 (58%)	1 (5%)	0 (0%)	19 (100%)
Q84 複数の活動を調整する能力	7 (37%)	7 (37%)	4 (21%)	1 (5%)	0 (0%)	19 (100%)
Q85 大学で学んだ専門知識	2 (11%)	11 (58%)	6 (32%)	0 (0%)	0 (0%)	19 (100%)
Q86 グローバルな課題への関心	2 (11%)	9 (47%)	6 (32%)	2 (11%)	0 (0%)	19 (100%)
Q87 地域的な課題への関心	6 (32%)	8 (42%)	5 (26%)	0 (0%)	0 (0%)	19 (100%)

Q88-Q89：現在の職場、職務はあなたが就職活動時から希望していたものですか。また、現在の生活や状況について就職活動時から予想していましたか。

	全く その通り	やや その通り	やや 違う	全く 違う	未記入	計
Q88 現在の職場・職務を希望していたか	6 (32%)	3 (16%)	4 (21%)	4 (21%)	2 (11%)	19 (100%)
Q89 現在の生活や状況を予想していたか	2 (11%)	9 (47%)	1 (5%)	5 (26%)	2 (11%)	19 (100%)

Ⅲ. 学類・各専攻の教育についてお伺いします

Q90-Q93：あなたは以下の項目(学類のディプロマポリシー)について、所属していた学類で学んだことを通じてどの程度身につけることができましたか。

【現代教養コースの卒業生全員】	身に ついた	ある程度 身につ いた	あまり 身に ついて いない	身に ついて いない	未記入	計
Q90 職業に関わる専門的知識・技能	2 (11%)	10 (53%)	6 (32%)	1 (5%)	0 (0%)	19 (100%)
Q91 現代社会を理解し、生活課題、地域社会が直面する課題を解決する社会人としての教養	5 (26%)	12 (63%)	2 (11%)	0 (0%)	0 (0%)	19 (100%)
Q92 人間性を探求する生きがいとしての教養	8 (42%)	9 (47%)	2 (11%)	0 (0%)	0 (0%)	19 (100%)
Q93 生活や職業という実体験をもとにして主体的に学習を深める態度	5 (26%)	10 (53%)	4 (21%)	0 (0%)	0 (0%)	19 (100%)

Q94：所属していた専攻

専攻	文化教養モデル	4 (21%)
	法政策モデル	4 (21%)
	コミュニティ共生モデル	6 (32%)
	ビジネス探究モデル	5 (26%)
	計	19 (100%)

Q95-Q102：あなたは以下の項目（学類のディプロマポリシー）について、所属していた学類で学んだことを通じてどの程度身につけることができましたか。

【各専攻の卒業生別】		身についた	ある程度身についた	あまり身につけていない	身につけていない	未記入	計
文化教養モデル	Q95「教育と家庭」「地域・文化・言語・国際理解・数理科学」「健康と運動」「芸術」などに関する幅広い専門的知識・技術、及び、その総合的な探究	0 (0%)	3 (75%)	1 (25%)	0 (0%)	0 (0%)	4 (100%)
	Q96 文化の多様性を尊重した上で、文化と現実社会の関係を把握し、その知識や技術を集団や地域社会のなかで伝達・活用する力	0 (0%)	3 (75%)	1 (25%)	0 (0%)	0 (0%)	4 (100%)
法政策モデル	Q97「教養的法学」の知識を通じて、必要な法令・判例・文献の調べ方や報告の仕方などを身に付けるだけでなく、裁判員制度を含む司法改革や公共部門の仕事等に適応できる基本的な「法的な思考」	1 (25%)	3 (75%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	4 (100%)
	Q98 地域社会における複雑かつ多様な社会現象に対処するための具体的な政策を立案できるだけの法学を中心とした「知識と基礎的能力」	1 (25%)	2 (50%)	1 (25%)	0 (0%)	0 (0%)	4 (100%)
コミュニティ共生モデル	Q99 行政学、政治学、社会学等の知識を通じて、公共部門や地域コミュニティ活動において活躍するための基本的な学問的素養	2 (33%)	3 (50%)	1 (17%)	0 (0%)	0 (0%)	6 (100%)
	Q100 地域社会における複雑かつ多様な社会問題を把握し、その解決に役立つ「知識と基礎的能力」	2 (33%)	3 (50%)	1 (17%)	0 (0%)	0 (0%)	6 (100%)
ビジネス探究モデル	Q101 幅広い教養と経済学・経営学分野の基礎的・専門的知識に基づいて現実を分析し論理的に思考する力	2 (40%)	3 (60%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)
	Q102 経済学・経営学分野の基礎的・専門的知識を現実の経済社会に適切に応用し、問題を発見・解決する能力及び実践力	2 (40%)	2 (40%)	1 (20%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)

注：【各専攻の卒業生別】のパーセンテージはQ94の各専攻卒業生数を分母とした場合の割合。（文化教養モデル：4，法政策モデル：4，コミュニティ共生モデル：6，ビジネス探究モデル：5）

IV. あなた自身について伺います。

Q103：あなたの性別をお答えください。

性別	男性	9 (47%)
	女性	7 (37%)
	未記入	3 (16%)
	計	19 (100%)

Q104：あなたの現在の年齢（満年齢）をお答えください。

年齢	24	3 (16%)
	25	3 (16%)
	26	1 (5%)
	27	2 (11%)
	29	1 (5%)
	36	1 (5%)
	40	1 (5%)
	59	1 (5%)
	61	1 (5%)
	67	1 (5%)
	71	1 (5%)
	未記入	3 (16%)
	計	19 (100%)

Q105：あなたの現在の就業状況についてお答えください。

就業 状況	1 常時雇用の社員・職員	8 (42%)
	2 パート・アルバイト・臨時の社員・職員	4 (21%)
	3 自営業主・家族従業者	1 (5%)
	4 無職	1 (5%)
	5 学生	2 (11%)
	6 その他	1 (5%)
	未記入	2 (11%)
	計	19 (100%)

※その他内訳
町会議員

第5項 共生システム理工学類の卒業生

I. あなたの福島大学への在学経験と教育への意識について伺います。

Q1/Q2：福島大学(学類)への入学年／卒業年を西暦でお答えください。

入学	2012	4(7%)	卒業	2016	2(4%)
	2013	15(26%)		2017	17(30%)
	2014	22(39%)		2018	21(37%)
	2015	12(21%)		2019	16(28%)
	2016	1(2%)		未記入	1(2%)
	2017	2(4%)		計	57(100%)
	未記入	1(2%)			
	計	57(100%)			

Q3：学類卒業後の在学経験で該当する項目を選択してください。

なし	40(70%)
福島大学の大学院博士前期課程・修士課程	10(18%)
他大学の大学院博士前期課程・修士課程	7(12%)
その他	0(0%)
未記入	0(0%)
計	57(100%)

Q4-Q12：大学在籍時の福島大学の授業について、以下のような授業はどの程度ありましたか。

	多かった	少しあった	あまりなかった	全くなかった	未記入	計
Q4 出席を重視	30(53%)	23(40%)	4(7%)	0(0%)	0(0%)	57(100%)
Q5 小テスト・課題が頻繁	11(19%)	32(56%)	14(25%)	0(0%)	0(0%)	57(100%)
Q6 厳しい成績評価	4(7%)	22(39%)	31(54%)	0(0%)	0(0%)	57(100%)
Q7 学生「参加型」の授業	5(9%)	19(33%)	31(54%)	2(4%)	0(0%)	57(100%)
Q8 課題成果の発表・報告	4(7%)	20(35%)	29(51%)	4(7%)	0(0%)	57(100%)
Q9 チームでの課題取り組み	4(7%)	26(46%)	25(44%)	2(4%)	0(0%)	57(100%)
Q10 外国語に接する	4(7%)	25(44%)	21(37%)	7(12%)	0(0%)	57(100%)
Q11 社会の現実へ接する	2(4%)	17(30%)	27(47%)	10(18%)	1(2%)	57(100%)
Q12 理解度や興味への配慮	5(9%)	31(54%)	17(30%)	3(5%)	1(2%)	57(100%)

Q13-Q21：授業を今振り返って、それらは必要だと思いますか。

	とても必要	ある程度必要	あまり必要ない	必要ない	未記入	計
Q13 出席を重視	7(12%)	32(56%)	10(18%)	8(14%)	0(0%)	57(100%)
Q14 小テスト・課題が頻繁	9(16%)	35(61%)	10(18%)	3(5%)	0(0%)	57(100%)
Q15 厳しい成績評価	5(9%)	31(54%)	18(32%)	3(5%)	0(0%)	57(100%)
Q16 学生「参加型」の授業	24(42%)	22(39%)	9(16%)	1(2%)	1(2%)	57(100%)
Q17 課題成果の発表・報告	27(47%)	23(40%)	6(11%)	1(2%)	0(0%)	57(100%)
Q18 チームでの課題取り組み	19(33%)	29(51%)	7(12%)	1(2%)	1(2%)	57(100%)
Q19 外国語に接する	21(37%)	29(51%)	7(12%)	0(0%)	0(0%)	57(100%)
Q20 社会の現実へ接する	24(42%)	25(44%)	6(11%)	1(2%)	1(2%)	57(100%)
Q21 理解度や興味への配慮	24(42%)	30(53%)	3(5%)	0(0%)	0(0%)	57(100%)

Q22-Q44：以下の福島大学の教育内容は、現在従事している職務・作業を遂行する上でどの程度関連していますか。

		関連している	やや関連している	あまり関連していない	関連していない	未履修	未記入	計
制度全般	Q22 GPA 制度	4 (7%)	9 (16%)	20 (35%)	23 (40%)		1 (2%)	57 (100%)
	Q23 CAP 制度	1 (2%)	7 (12%)	16 (28%)	32 (56%)		1 (2%)	57 (100%)
	Q24 クラス制度	1 (2%)	7 (12%)	16 (28%)	32 (56%)		1 (2%)	57 (100%)
	Q25 アドバイザー制度	2 (4%)	11 (19%)	13 (23%)	29 (51%)		2 (4%)	57 (100%)
	Q26 自己デザイン領域	5 (9%)	11 (19%)	24 (42%)	16 (28%)		1 (2%)	57 (100%)
	Q27 特修プログラム (英語、情報、ふくしま未来学)	4 (7%)	13 (23%)	15 (26%)	24 (42%)		1 (2%)	57 (100%)
自己デザイン領域／共通領域	Q28 総合科目	3 (5%)	21 (37%)	16 (28%)	14 (25%)	2 (4%)	1 (2%)	57 (100%)
	Q29 広域選択科目	5 (9%)	22 (39%)	17 (30%)	12 (21%)	0 (0%)	1 (2%)	57 (100%)
	Q30 外国語科目	7 (12%)	17 (30%)	10 (18%)	19 (33%)	4 (7%)	0 (0%)	57 (100%)
	Q31 情報教育科目	13 (23%)	24 (42%)	6 (11%)	12 (21%)	0 (0%)	2 (4%)	57 (100%)
	Q32 健康・運動科目	2 (4%)	9 (16%)	16 (28%)	28 (49%)	2 (4%)	0 (0%)	57 (100%)
	Q33 教養演習	2 (4%)	18 (32%)	13 (23%)	20 (35%)	3 (5%)	1 (2%)	57 (100%)
	Q34 キャリア形成論	4 (7%)	16 (28%)	17 (30%)	18 (32%)	2 (4%)	0 (0%)	57 (100%)
	Q35 キャリアモデル学習	5 (9%)	12 (21%)	20 (35%)	15 (26%)	5 (9%)	0 (0%)	57 (100%)
	Q36 インターンシップ (単位認定)	2 (4%)	7 (12%)	5 (9%)	4 (7%)	39 (68%)	0 (0%)	57 (100%)
専門領域	Q37 自己学習プログラム	3 (5%)	10 (18%)	9 (16%)	10 (18%)	24 (42%)	1 (2%)	57 (100%)
	Q38 学群共通科目	7 (12%)	24 (42%)	12 (21%)	12 (21%)	1 (2%)	1 (2%)	57 (100%)
	Q39 学類共通科目	5 (9%)	26 (46%)	13 (23%)	11 (19%)	1 (2%)	1 (2%)	57 (100%)
	Q40 学類基礎科目	7 (12%)	24 (42%)	13 (23%)	11 (19%)	1 (2%)	1 (2%)	57 (100%)
	Q41 学類専門科目	13 (23%)	22 (39%)	9 (16%)	11 (19%)	0 (0%)	2 (4%)	57 (100%)
	Q42 各種実践・実習科目	7 (12%)	19 (33%)	17 (30%)	12 (21%)	0 (0%)	2 (4%)	57 (100%)
Q43 卒業演習・研究		16 (28%)	17 (30%)	14 (25%)	8 (14%)	0 (0%)	2 (4%)	57 (100%)
Q44 自由選択領域		4 (7%)	16 (28%)	19 (33%)	16 (28%)	0 (0%)	2 (4%)	57 (100%)

Ⅱ. あなたの現在のお仕事について伺います。

現在お仕事をされていない方は、最後に就かれていたお仕事についてご回答ください。

Q45：就職した年を西暦でお答えください。

就職	2013	1 (2%)
	2015	1 (2%)
	2017	13 (23%)
	2018	14 (25%)
	2019	14 (25%)
	2020	3 (5%)
	未記入	11 (19%)
	計	57 (100%)

Q46/Q47：現在のお仕事の業種/職種について当てはまるものを選択してください。

業種	1 農林水産業	0 (0%)
	2 鉱業	0 (0%)
	3 建設業	2 (4%)
	4 製造業	10 (18%)
	5 電気・ガス・熱供給・水道業	1 (2%)
	6 情報通信業	8 (14%)
	7 運輸業	4 (7%)
	8 卸売・小売業	4 (7%)
	9 金融・保険業	1 (2%)
	10 不動産業	0 (0%)
	11 飲食店、宿泊業	0 (0%)
	12 医療、福祉	0 (0%)
	13 教育、学習支援業	2 (4%)
	14 複合サービス事業	3 (5%)
	15 他に分類されないサービス業	2 (4%)
	16 他に分類されない公務	8 (14%)
	17 その他	2 (4%)
	未記入	10 (18%)
	計	57 (100%)

職種	1 一般事務	8 (14%)
	2 営業・販売職	6 (11%)
	3 サービス職	5 (9%)
	4 技術職	23 (40%)
	5 専門職	1 (2%)
	6 その他	3 (5%)
	未記入	11 (19%)
	計	57 (100%)

※その他内訳

大学院	1
教諭	1
教員	1

※その他内訳

大学院	1
公務員	1

Q48：勤務先の規模(常用雇用者数)について当てはまるものを選択してください。

規模	1 29 名以下	7 (12%)
	2 30-99 名	4 (7%)
	3 100-499 名	11 (19%)
	4 500-999 名	6 (11%)
	5 1,000-4,999 名	7 (12%)
	6 5,000-9,999 名	4 (7%)
	7 10,000 名以上	8 (14%)
	未記入	10 (18%)
	計	57 (100%)

Q49-Q53：あなたが現在の職場に採用された際に評価された点として、以下の項目はどの程度重要だったと思いますか。

	とても重要	ある程度重要	あまり重要ではない	重要ではない	未記入	計
Q49 卒業した大学	5 (9%)	19 (33%)	15 (26%)	8 (14%)	10 (18%)	57 (100%)
Q50 卒業時の専門分野	7 (12%)	15 (26%)	16 (28%)	9 (16%)	10 (18%)	57 (100%)
Q51 成績	3 (5%)	11 (19%)	26 (46%)	7 (12%)	10 (18%)	57 (100%)
Q52 サークル等での実績	3 (5%)	9 (16%)	17 (30%)	18 (32%)	10 (18%)	57 (100%)
Q53 人的なネットワーク	8 (14%)	10 (18%)	22 (39%)	7 (12%)	10 (18%)	57 (100%)

Q54-Q56：次の社会人基礎力について、現在の職場において働く上で重要であると考えられる能力、自分の優れた能力、自分に不足している能力についてお伺いします。

該当する項目全てを選択してください(複数選択可)。

	働く上で重要な能力	自分の優れた能力	自分にとって不足している能力
1 物事に進んで取組む力(主体性)	40 (82%)	20 (43%)	16 (36%)
2 他人に働きかけ巻き込む力(働きかけ力)	23 (47%)	7 (15%)	22 (50%)
3 目的を設定し確実に行動する力(実行力)	36 (73%)	16 (35%)	14 (32%)
4 現状を分析し課題を明らかにする力(課題発見力)	32 (65%)	14 (30%)	13 (30%)
5 課題解決の過程を明らかにし準備する力(計画力)	31 (63%)	9 (20%)	15 (34%)
6 新しい価値を生み出す力(創造力)	22 (45%)	5 (11%)	23 (52%)
7 自分の意見を分かりやすく伝える力(発信力)	33 (67%)	11 (24%)	23 (52%)
8 相手の意見を丁寧に聴く力(傾聴力)	28 (57%)	21 (46%)	9 (20%)
9 意見の違いや立場の違いを理解する力(柔軟性)	27 (55%)	18 (39%)	7 (16%)
10 自分と周囲のとの関係性を理解する力(状況把握力)	28 (57%)	15 (33%)	11 (25%)
11 社会のルールや人との約束を守る力(規律性)	26 (53%)	23 (50%)	5 (11%)
12 ストレスに対応する力(ストレスコントロール力)	33 (67%)	17 (37%)	18 (41%)
未記入	8 (14%)	11 (19%)	13 (23%)

注：ここでのパーセントは全体（57）を分母とした場合の割合。

Q57-Q66：現在のお仕事において、下記の大学時代の経験はどの程度重要だと思いますか。

	とても重要	ある程度重要	あまり重要ではない	重要ではない	未記入	計
Q57 大学進学時に獲得した基礎学力	14 (25%)	22 (39%)	9 (16%)	4 (7%)	8 (14%)	57 (100%)
Q58 学問を修得することによる考え方の訓練	20 (35%)	18 (32%)	7 (12%)	3 (5%)	9 (16%)	57 (100%)
Q59 専門分野の修得による考え方の訓練	15 (26%)	19 (33%)	11 (19%)	4 (7%)	8 (14%)	57 (100%)
Q60 未知のことに目をひらかせられる経験	18 (32%)	20 (35%)	8 (14%)	3 (5%)	8 (14%)	57 (100%)
Q61 先端の学問に触れることによる知的好奇心	17 (30%)	23 (40%)	6 (11%)	3 (5%)	8 (14%)	57 (100%)
Q62 卒業論文・卒業研究等の経験	20 (35%)	15 (26%)	11 (19%)	3 (5%)	8 (14%)	57 (100%)
Q63 アルバイトの経験	15 (26%)	22 (39%)	10 (18%)	2 (4%)	8 (14%)	57 (100%)
Q64 研究室・ゼミでの経験	19 (33%)	18 (32%)	10 (18%)	2 (4%)	8 (14%)	57 (100%)
Q65 教員との交流	13 (23%)	19 (33%)	12 (21%)	4 (7%)	9 (16%)	57 (100%)
Q66 友人・先輩との交流	21 (37%)	22 (39%)	5 (9%)	1 (2%)	8 (14%)	57 (100%)

Q67-Q87：あなたは以下の自分自身の能力をどのように評価しますか。

	とても ある	やや ある	あまり ない	まった くない	未記 入	計
Q67 幅広い教養	6 (11%)	22 (39%)	26 (46%)	1 (2%)	2 (4%)	57 (100%)
Q68 多角的・総合的な思考	7 (12%)	27 (47%)	18 (32%)	3 (5%)	2 (4%)	57 (100%)
Q69 学問的思考の基礎	5 (9%)	33 (58%)	16 (28%)	1 (2%)	2 (4%)	57 (100%)
Q70 科学的・数量的に物事を見る力	6 (11%)	33 (58%)	15 (26%)	1 (2%)	2 (4%)	57 (100%)
Q71 外国語の能力	2 (4%)	12 (21%)	30 (53%)	11 (19%)	2 (4%)	57 (100%)
Q72 異文化の理解	7 (12%)	21 (37%)	22 (39%)	5 (9%)	2 (4%)	57 (100%)
Q73 健康や運動に関する科学的認識	3 (5%)	18 (32%)	29 (51%)	5 (9%)	2 (4%)	57 (100%)
Q74 インターネットで情報を適切に集める力	10 (18%)	37 (65%)	7 (12%)	1 (2%)	2 (4%)	57 (100%)
Q75 自ら学びをデザインする主体性	8 (14%)	23 (40%)	19 (33%)	5 (9%)	2 (4%)	57 (100%)
Q76 自ら学修する習慣	10 (18%)	23 (40%)	19 (33%)	3 (5%)	2 (4%)	57 (100%)
Q77 コミュニケーション力	9 (16%)	26 (46%)	16 (28%)	4 (7%)	2 (4%)	57 (100%)
Q78 自ら人間関係をつくる力	9 (16%)	19 (33%)	22 (39%)	5 (9%)	2 (4%)	57 (100%)
Q79 自らを律して行動できる力	8 (14%)	26 (46%)	19 (33%)	2 (4%)	2 (4%)	57 (100%)
Q80 必要な場合のリーダーシップの発揮	5 (9%)	26 (46%)	18 (32%)	6 (11%)	2 (4%)	57 (100%)
Q81 プレゼンテーション力	6 (11%)	20 (35%)	23 (40%)	6 (11%)	2 (4%)	57 (100%)
Q82 課題探究能力	5 (9%)	26 (46%)	20 (35%)	4 (7%)	2 (4%)	57 (100%)
Q83 キャリアデザイン力	5 (9%)	15 (26%)	27 (47%)	7 (12%)	3 (5%)	57 (100%)
Q84 複数の活動を調整する能力	3 (5%)	22 (39%)	23 (40%)	6 (11%)	3 (5%)	57 (100%)
Q85 大学で学んだ専門知識	5 (9%)	26 (46%)	19 (33%)	5 (9%)	2 (4%)	57 (100%)
Q86 グローバルな課題への関心	6 (11%)	20 (35%)	25 (44%)	3 (5%)	3 (5%)	57 (100%)
Q87 地域的な課題への関心	7 (12%)	25 (44%)	16 (28%)	6 (11%)	3 (5%)	57 (100%)

Q88-Q89：現在の職場、職務はあなたが就職活動時から希望していたものですか。また、現在の生活や状況について就職活動時から予想していましたか。

	全く その通 り	やや その通 り	やや 違う	全く 違う	未記入	計
Q88 現在の職場・職務を希望していたか	16 (28%)	19 (33%)	6 (11%)	9 (16%)	7 (12%)	57 (100%)
Q89 現在の生活や状況を予想していたか	8 (14%)	16 (28%)	16 (28%)	11 (19%)	6 (11%)	57 (100%)

Ⅲ. 学類・各専攻の教育についてお伺いします

Q90-Q93：あなたは以下の項目(学類のディプロマポリシー)について、所属していた学類で学んだことを通じてどの程度身につけることができましたか。

【共生システム理工学類の卒業生全員】	身 につ いた	ある程度 身につ いた	あまり 身につ いてい ない	身 につ いてい ない	未記入	計
Q90 21世紀の諸問題に挑戦し、解決する力	2 (4%)	18 (32%)	25 (44%)	9 (16%)	3 (5%)	57 (100%)
Q91 グローバルな視点から、物事を探求する	6 (11%)	22 (39%)	19 (33%)	7 (12%)	3 (5%)	57 (100%)
Q92 問題解決のための実践力	7 (12%)	32 (56%)	12 (21%)	3 (5%)	3 (5%)	57 (100%)
Q93 生システムサイエンスに関する幅広い専門知識と実践能力	5 (9%)	24 (42%)	18 (32%)	7 (12%)	3 (5%)	57 (100%)

Q94：所属していた専攻

専攻	人間支援システム専攻	27 (47%)
	産業システム工学専攻	12 (21%)
	環境システムマネジメント専攻	17 (30%)
	未記入	1 (2%)
	計	57 (100%)

Q95-Q97：あなたは以下の項目(学類のディプロマポリシー)について、所属していた学類で学んだことを通じてどの程度身につけることができましたか。

【各専攻の卒業生別】		身についた	ある程度身についた	あまり身につけていない	身につけていない	未記入	計
人間支援システム専攻	Q95「ロボティクスや福祉、医療等を含むヒト理解・人間支援又はそれらの基礎となる分野、特に、心理学や生理学などの生体システム科学、情報工学や機械・電気・電子工学などを基礎とする人間支援の技術に関して、研究・開発ができる力	5(19%)	10(37%)	9(33%)	3(11%)	0(0%)	27(100%)
産業システム工学専攻	Q96「化学工学、材料工学、エネルギー開発などを基礎とする環境負荷の少ないものづくり技術や、経営工学、数理科学、産業政策、環境経済およびそれらを基礎とする省資源・循環型生産システムの構築や産業支援分野に関して、研究・開発ができる力	1(8%)	6(50%)	4(33%)	1(8%)	0(0%)	12(100%)
環境システムマネジメント専攻	Q97 環境の科学や、水資源などを中心とした自然資源の確保・保全、環境分析化学、浄化工学、生態学や地域計画、流域管理計画などを基礎とする環境システムに関して、研究・開発ができる力	1(6%)	9(53%)	6(35%)	1(6%)	0(0%)	17(100%)

注：【各専攻の卒業生別】のパーセンテージはQ94の各専攻卒業生数を分母とした場合の割合。(人間支援システム専攻：27、産業システム工学専攻：12、環境システムマネジメント専攻：17)

IV. あなた自身について伺います。

Q98：あなたの性別をお答えください。

性別	男性	41 (72%)
	女性	13 (23%)
	未記入	3 (5%)
	計	57 (100%)

Q99：あなたの現在の年齢（満年齢）をお答えください。

年齢	22	6 (11%)
	23	11 (19%)
	24	22 (39%)
	25	12 (21%)
	26	5 (9%)
	未記入	1 (2%)
	計	57 (100%)

Q100：あなたの現在の就業状況についてお答えください。

就業 状況	1 常時雇用の社員・職員	40 (70%)
	2 パート・アルバイト・臨時の社員・職員	3 (5%)
	3 自営業主・家族従業者	0 (0%)
	4 無職	0 (0%)
	5 学生	12 (21%)
	6 その他	1 (2%)
	未記入	1 (2%)
	計	57 (100%)

※その他内訳

休業

第2章 福島大学の教育に関する修了生アンケート

第1節 概要と分析

本章は、研究科修了生を対象とした「福島大学の教育に関する修了生アンケート」の集計結果をまとめたものである。第1節では、全研究科を合わせての集計結果について紹介する。具体的には、属性（性別・入学年・在学時の所属・修了後の在学経験・現在の就業状況）、授業内容について、福島大学大学院の教育について、就業後における大学院時代の経験の重要性、各種能力の修得状況、各研究科についての学びについてについて概括する。なお第2節では各研究科それぞれの回答をまとめた。研究科別の回答については、本章第2節をご参照いただきたい。

◎回答者の属性

「福島大学の教育に関する修了生アンケート」回答者の属性は次の通りである。まず性別は男性 34 名（62%）、女性 20 名（36%）、未記入 1 名（2%）であった（表 2-1）。入学年については、2015 年 29 名（53%）、2016 年 12 名（22%）、2017 年 9 名（16%）、その他 5 名（9%）であった（表 2-2）。卒業年は、2017 年 20 名（36%）、2018 年 18 名（33%）、2019 年 12 名（22%）、その他 5 名（9%）であった（表 2-2）。在学時の所属は、人間発達文化研究科 24 名（44%）、地域政策科学研究科 5 名（9%）、経済学研究科 10 名（18%）、共生システム理工学研究科 16 名（29%）であった（表 2-3）。

また現在令和 2 年度の大学院生現員は、男性 62%、女性 36%である（表 2-1）。所属は、人間発達文化研究科 29%、地域政策科学研究科 11%、経済学研究科 17%、共生システム理工学研究科 42%である（表 2-3）。現員の構成を比較すると、本調査の回答者の割合は、女性、人間発達文化研究科の割合が高い一方で、共生システム理工学研究科が低い。そのため、以下は全研究科を合計しての調査結果を示すものであるが、解釈にあたっては、このような性別や所属の偏りを有するデータであることに注意を要する。

卒業後の在学経験は、「なし」47 名（85%）、「福島大学の大学院博士後期課程」1 名（2%）、「他大学の大学院博士後期課程」3 名（5%）、「その他」4 名（7%）であった（表 2-4）。また現在の就業状況は、「常時雇用の社員・職員」41 名（75%）、「パート・アルバイト・臨時の社員・職員」2 名（4%）、「自営業主・家族従業者」4 名（7%）、「無職」3 名（5%）、「学生」1 名（2%）、「その他」3 名（5%）、「未記入」1 名（2%）であった（表 2-5）。したがって、今回の集計結果は、常時雇用の身分にある修了生の意見を強く反映したものと考えられる。

回答者の就職した年を尋ねた結果、2017 年 13 名（24%）、2018 年 10 名（18%）、2019 年 7 名（13%）、その他 21 名（38%）、未記入 4 名（7%）であった（表 2-6）。仕事先の業種については、割合が大きい順に、「教育・学習支援業」15 名（27%）、「製造業」10 名（18%）、「他に分類されない公務」7 名（13%）、「その他」5 名（9%）、「他に分類されないサービス業」3 名（5%）、「医療、福祉」3 名（5%）、「建設業」2 名（4%）、「農林水産業」2 名（4%）、「金融・保険業」1 名（2%）、「卸売・小売業」1 名（2%）、「運輸業」1 名（2%）、「情報通信業」1 名（2%）、「未記入」4 名（7%）であった（表 2-7）。職種は、「一般事務」5 名（9%）、「営業・販売職」3 名（5%）、「サービス職」3 名（5%）、「技術職」9 名（16%）、「専門職」24 名（44%）、「その他」5 名（9%）、「未記入」6 名（11%）であった（表 2-8）。

勤務先規模（常用雇用者数）は、「29 名以下」12 名（22%）、「30-99 名」12 名（22%）、「100-499 名」14 名（25%）、「500-999 名」0 名（0%）、「1,000-4,999 名」6 名（11%）、「5,000-9,999 名」3 名（5%）、「10,000 名以上」4 名（7%）、「未記入」4 名（7%）であった（表 2-9）。

表 2-1 性別

性別	回答者	現員
男性	34 (62%)	157 (67%)
女性	20 (36%)	78 (33%)
未記入	1 (2%)	0 (0%)
計	55 (100%)	235 (100%)

※上表では現員数は環境放射能学専攻（平成 31 年 4 月学生受入）を除いた割合を示している。

表 2-2 入学年と卒業年（西暦）

入学	2012	3 (5%)	卒業	2014	1 (2%)
	2013	1 (2%)		2016	4 (7%)
	2014	1 (2%)		2017	20 (36%)
	2015	29 (53%)		2018	18 (33%)
	2016	12 (22%)		2019	12 (22%)
	2017	9 (16%)		未記入	0 (0%)
	未記入	0 (0%)		計	55 (100%)
	計	55 (100%)			

表 2-3 在学時の所属

所属	回答者	現員
人間発達文化研究科	24 (44%)	69 (29%)
地域政策科学研究科	5 (9%)	27 (11%)
経済学研究科	10 (18%)	40 (17%)
共生システム理工学研究科	16 (29%)	99 (42%)
未記入	0 (0%)	0 (0%)
計	55 (100%)	235 (100%)

※上表では現員数は環境放射能学専攻（平成 31 年 4 月学生受入）を除いた割合を示している。

表 2-4 卒業後の在学経験

在学経験	なし	47 (85%)
	福島大学の大学院博士前期課程・修士課程	1 (2%)
	他大学の大学院博士前期課程・修士課程	3 (5%)
	その他	4 (7%)
	未記入	0 (0%)
	計	55 (100%)

表 2-5 現在の就業状況

就業 状況	1 常時雇用の社員・職員	41 (75%)
	2 パート・アルバイト・臨時の社員・職員	2 (4%)
	3 自営業主・家族従業者	4 (7%)
	4 無職	3 (5%)
	5 学生	1 (2%)
	6 その他	3 (5%)
	未記入	1 (2%)
	計	55 (100%)

表 2-6 就職した年

業種	1982	2 (4%)	2003	1 (2%)	2014	2 (4%)
	1983	1 (2%)	2005	1 (2%)	2016	2 (4%)
	1986	1 (2%)	2007	1 (2%)	2017	13 (24%)
	1988	1 (2%)	2008	2 (4%)	2018	10 (18%)
	1990	1 (2%)	2011	1 (2%)	2019	7 (13%)
	1991	1 (2%)	2012	2 (4%)	未記入	4 (%)
	2002	1 (2%)	2013	1 (2%)	計	55 (%)

表 2-7 仕事先の業種

業種	1 農林水産業	2 (4%)	11 飲食店、宿泊業	0 (0%)
	2 鉱業	0 (0%)	12 医療、福祉	3 (5%)
	3 建設業	2 (4%)	13 教育、学習支援業	15 (27%)
	4 製造業	10 (18%)	14 複合サービス事業	0 (0%)
	5 電気・ガス・熱供給・水道業	0 (0%)	15 他に分類されないサービス業	3 (5%)
	6 情報通信業	1 (2%)	16 他に分類されない公務	7 (13%)
	7 運輸業	1 (2%)	17 その他	5 (9%)
	8 卸売・小売業	1 (2%)	未記入	4 (7%)
	9 金融・保険業	1 (2%)	計	55 (100%)
	10 不動産業	0 (0%)		

表 2-8 仕事の職種

職種	1 一般事務	5 (9%)
	2 営業・販売職	3 (5%)
	3 サービス職	3 (5%)
	4 技術職	9 (16%)
	5 専門職	24 (44%)
	6 その他	5 (9%)
	未記入	6 (11%)
	計	55 (100%)

表 2-9 勤務先の規模(常用雇用者数)

規模	1 29 名以下	12 (22%)
	2 30-99 名	12 (22%)
	3 100-499 名	0 (0%)
	4 500-999 名	14 (25%)
	5 1,000-4,999 名	6 (11%)
	6 5,000-9,999 名	3 (5%)
	7 10,000 名以上	4 (7%)
	未記入	4 (7%)
	計	55 (100%)

◎福島大学大学院の授業内容に対する評価

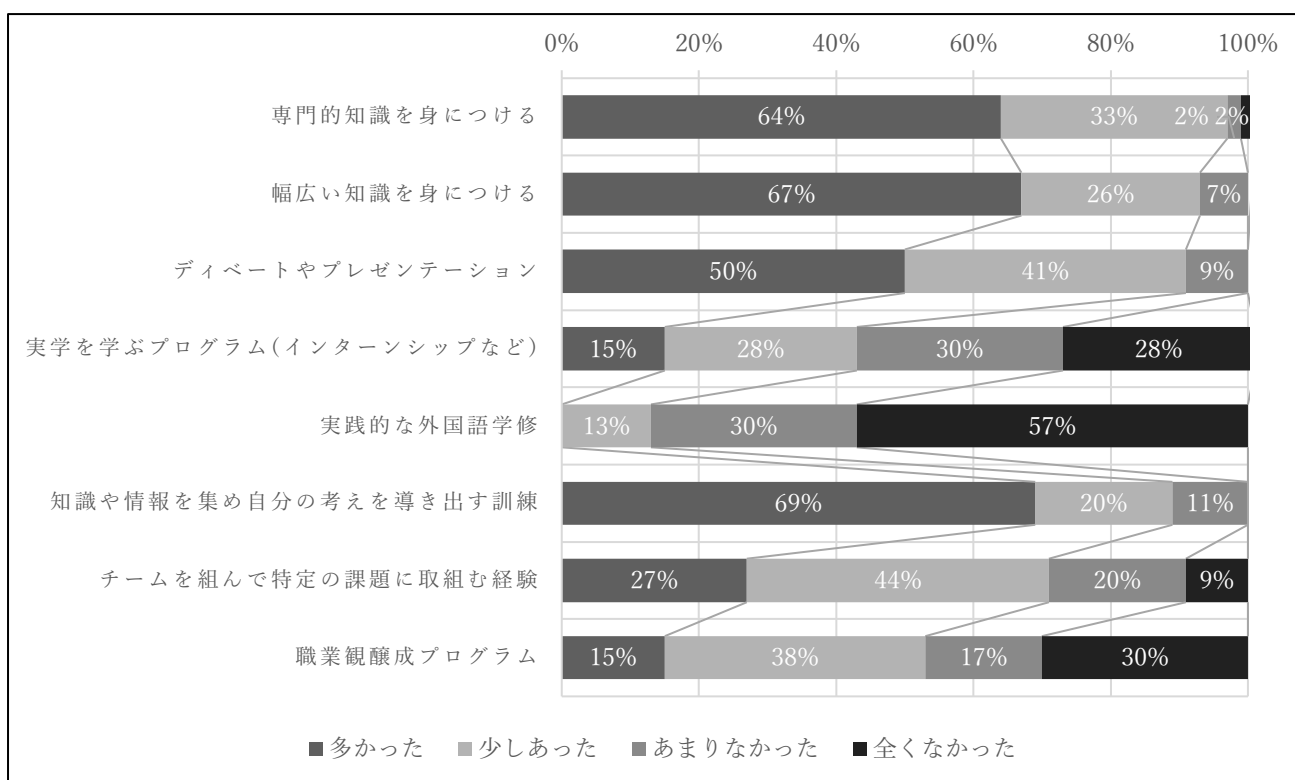
修了生調査では、大学院時代の授業について、どれほど含まれていたか（頻度）、どれほど必要であるか（必要性）を尋ねている。質問項目には「専門的知識を身につける」、「幅広い知識を身につける」、「ディベートやプレゼンテーション」、「実学を学ぶプログラム（インターンシップなど）」、「実践的な外国語学修」、「知識や情報を集め自分の考えを導き出す訓練」、「チームを組んで特定の課題に取り組む経験」、「職業観醸成プログラム」といった8項目がある。

まず授業内容の経験頻度では、「多かった」「少しあった」を合わせた合計割合が高い順（未記入除く）に、「専門的知識を身につける」97%、「幅広い知識を身につける」93%、「ディベートやプレゼンテーション」91%、「知識や情報を集め自分の考えを導き出す訓練」89%、「チームを組んで特定の課題に取り組む経験」71%、「職業観醸成プログラム」53%、「実学を学ぶプログラム（インターンシップなど）」43%、「実践的な外国語学修」13%であった（図 2-1）。

次に授業内容の必要性では、「とても必要」「ある程度必要」を合わせた合計割合が高い順（未記入除く）に、「知識や情報を集め自分の考えを導き出す訓練」100%、「専門的知識を身につける」98%、「ディベートやプレゼンテーション」98%、「幅広い知識を身につける」93%、「チームを組んで特定の課題に取り組む経験」93%、「実学を学ぶプログラム（インターンシップなど）」84%、「職業観醸成プログラム」77%、「実践的な外国語学修」70%であった。

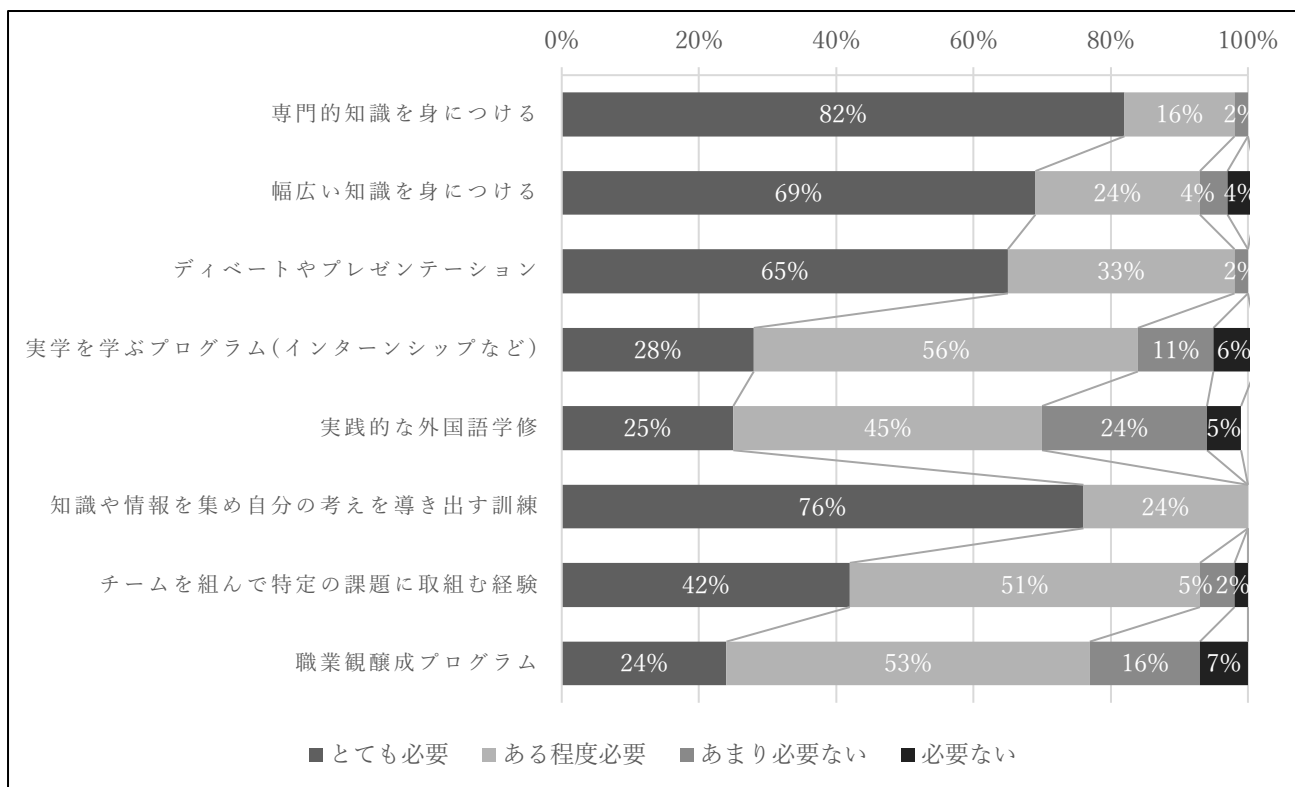
この中で「専門的知識を身につける」「幅広い知識を身につける」「ディベートやプレゼンテーション」「知識や情報を集め自分の考えを導き出す訓練」といった授業は、経験頻度が高く、必要性も高いと認識されていることがわかる。また経験頻度は項目によって程度が異なるものの、必要性については、いずれの項目も7割以上が「とても必要」「ある程度必要」と考えている。とくに「実践的な外国語学修」等の経験頻度と必要性のギャップが大きい項目については、大学院プログラム改善のためにも、今後、関連する授業内容の充実を考慮すべきであろう。

図 2-1. 大学院時代の授業経験（頻度）



※上図では「未記入」を除いた割合を示している。

図 2-2. 大学院時代の授業経験（必要性）

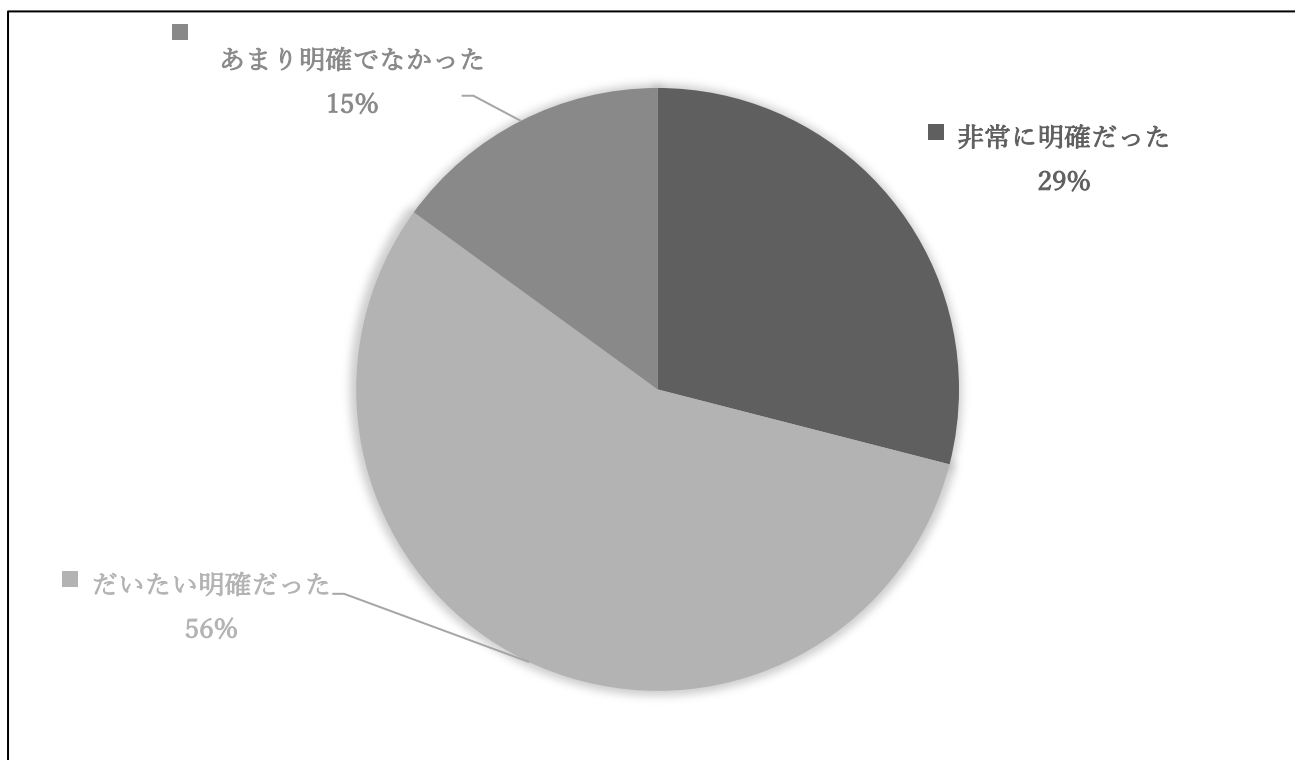


※上図では「未記入」を除いた割合を示している。

◎福島大学大学院の教育について

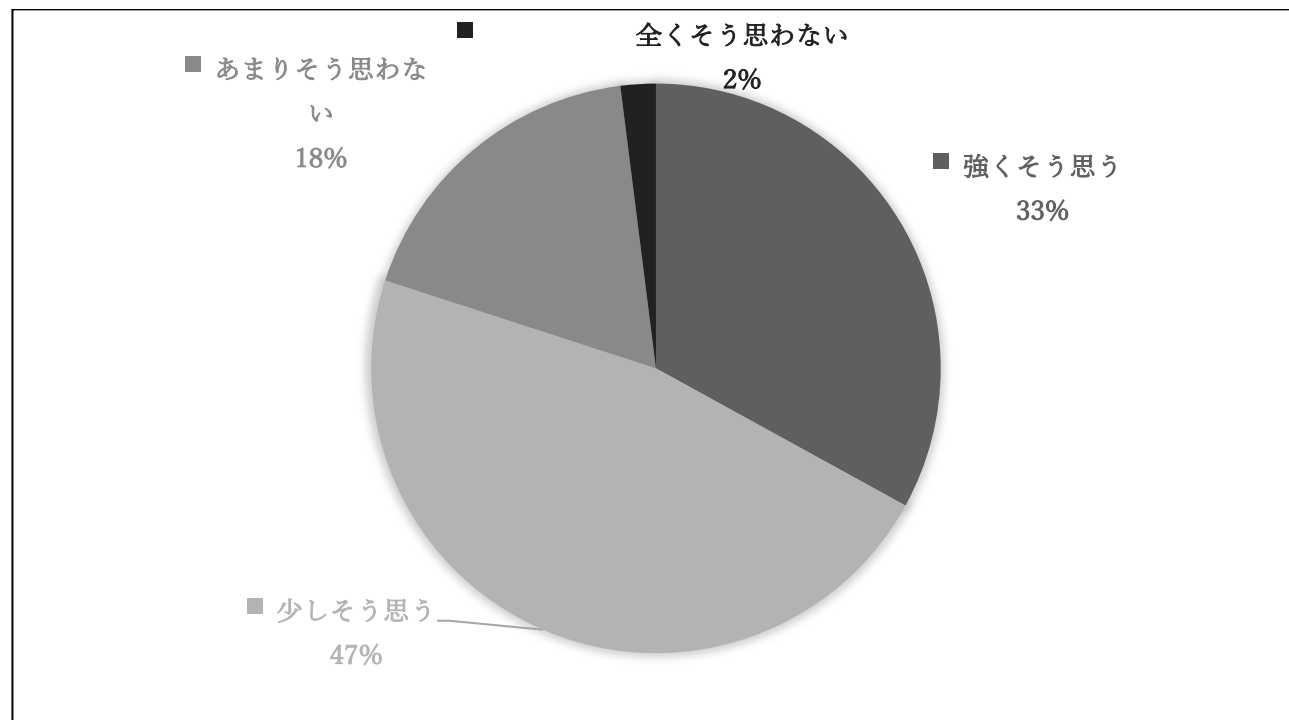
修了生調査では、福島大学大学院の教育の評価について、図 2-3～図 2-13 に示す 11 項目で尋ねている。大学院の授業科目について目標が明確であったかどうかについては、「非常に明確だった」「だいたい明確だった」の合計割合が 85%であった（図 2-3，未記入除く）。カリキュラムが体系的であったかどうかについては、「強くそう思う」「少しそう思う」の合計で 80%であった（図 2-4，未記入除く）。講義系の科目と演習・実習などの科目の比率については、「ちょうどよい」73%であった（図 2-5，未記入除く）。履修アドバイスやガイダンスについて、「十分に行われたし、必要だと思う」46%であるが、「十分に行われなかったが、必要だと思う」も 37%であった（図 2-6，未記入除く）。研究指導は十分に行われたかどうかについては、「強くそう思う」「少しそう思う」の合計で 93%であった（図 2-7，未記入除く）。シラバスを活用したかどうかについては、「大いに活用した」「少し活用した」の合計割合が 78%であった（図 2-8，未記入除く）。自主的に学修を進めるための環境が十分整っていたかどうかに対しては、「強くそう思う」「少しそう思う」の合計で 83%であった（図 2-9，未記入除く）。自主学修のための教員の配慮が十分であったかについては、「強くそう思う」「少しそう思う」の合計割合が 97%であった（図 2-10，未記入除く）。成績評価の方法や手順が明確であったかどうかについては、「強くそう思う」「少しそう思う」の合計で 81%であった（図 2-11，未記入除く）。成績評価は公正だったかどうかについては、「強くそう思う」「少しそう思う」の合計割合が 96%であった（図 2-12，未記入除く）。最後に、修得した学力や能力への満足度については、「非常に満足している」「だいたい満足している」の合計割合が 95%であった（図 2-13，未記入除く）。上記の項目では、いずれもおおむね高評価の結果（8 割以上）が出ている。

図 2-3. 全体的に見て、自分の受けた大学院の授業科目において、達成すべき目標や身につけるべき力は明確だったと思いますか。



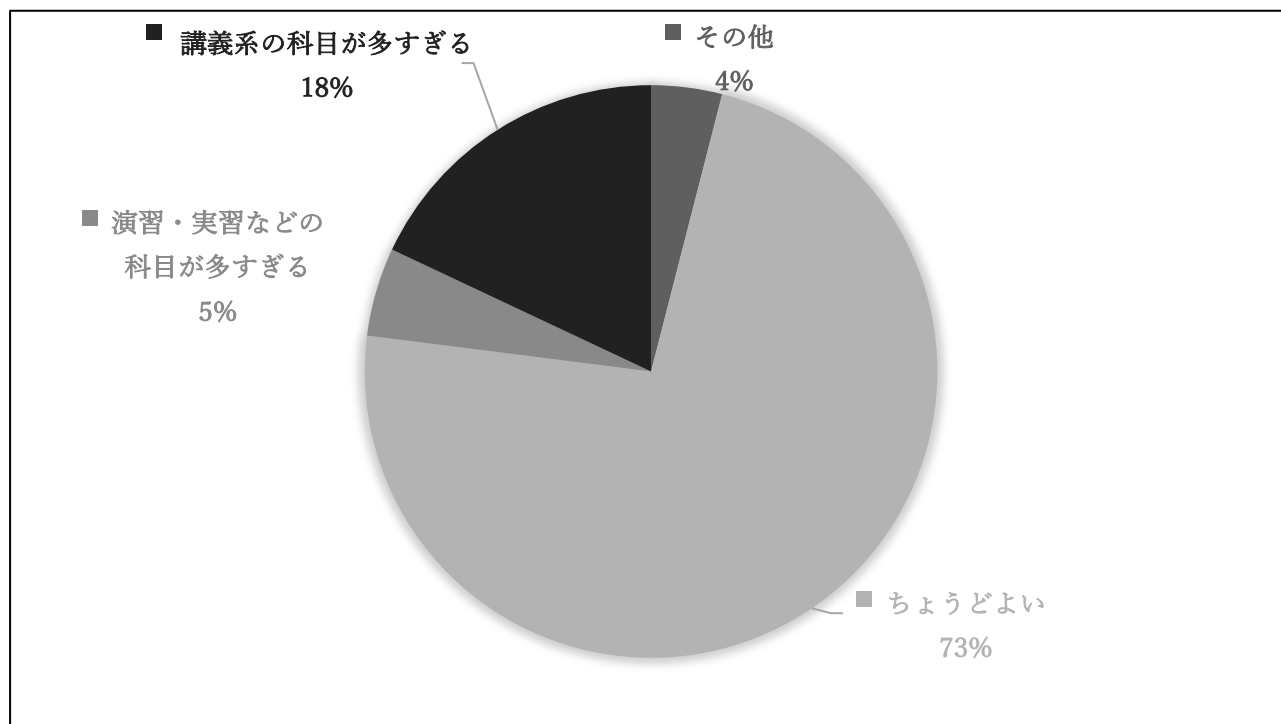
※上図では「未記入」を除いた割合を示している。

図 2-4. 大学院の教育課程(カリキュラム)は、自分の目指す学問分野や職業分野の能力を獲得するうえで、体系的に編成されていたと思いますか。



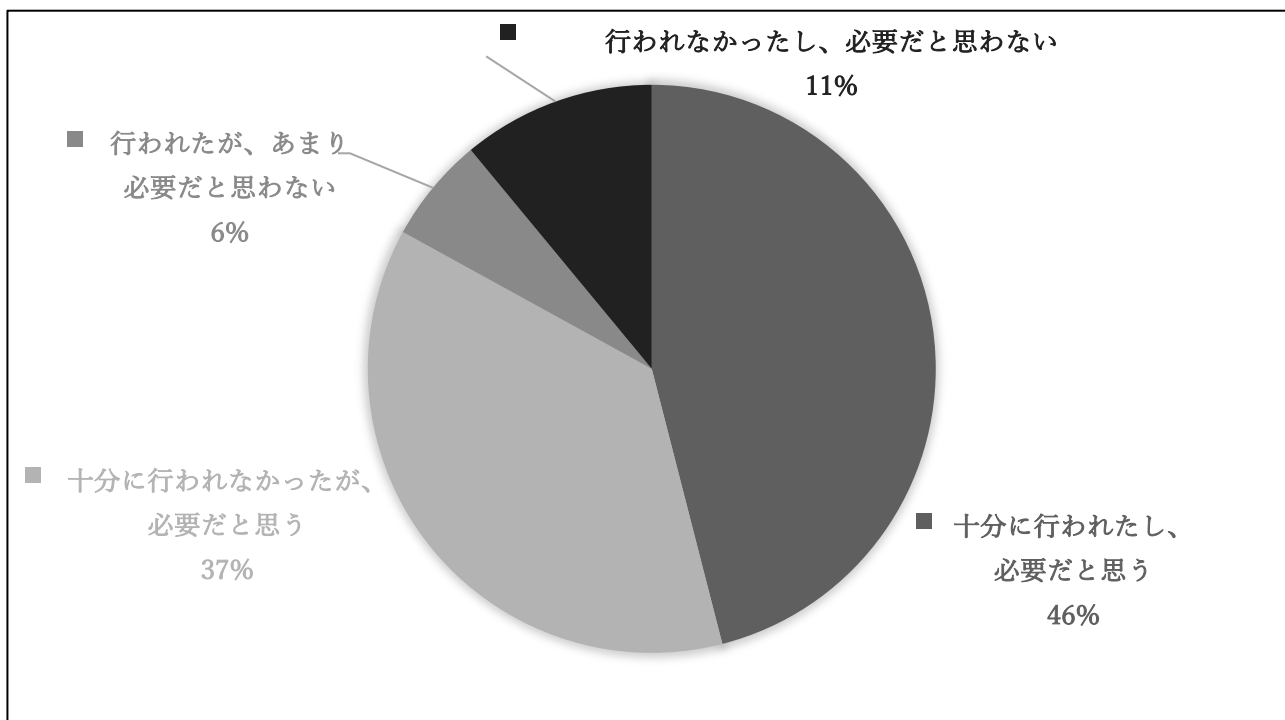
※上図では「未記入」を除いた割合を示している。

図 2-5. 講義系の科目(知識や理論の獲得を目指すもの)と演習・実習などの科目(実用的・実践的な力の獲得を目指すもの)の比率についてどのように感じましたか。



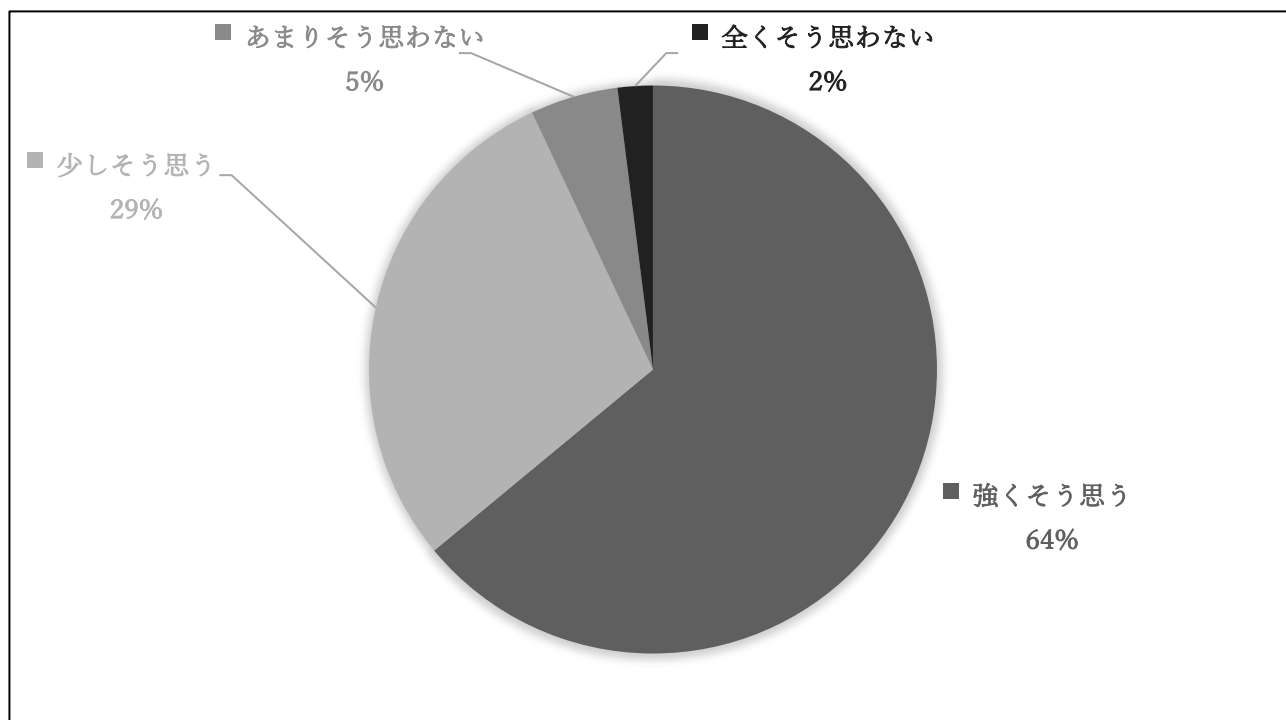
※上図では「未記入」を除いた割合を示している。

図 2-6. 大学院の科目を履修するうえで、履修アドバイスやガイダンスについてどのように感じましたか。



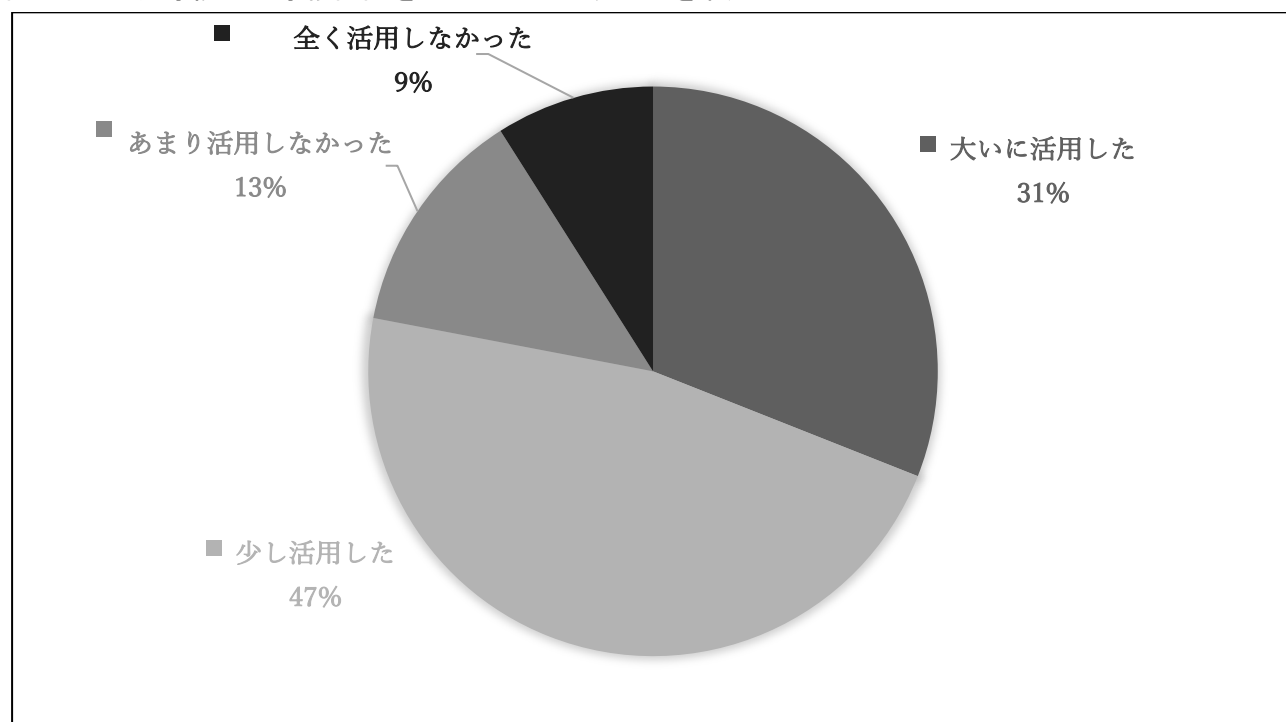
※上図では「未記入」を除いた割合を示している。

図 2-7. 大学院での研究を計画的に進めていくうえで、研究指導は十分に行われたと思いますか。



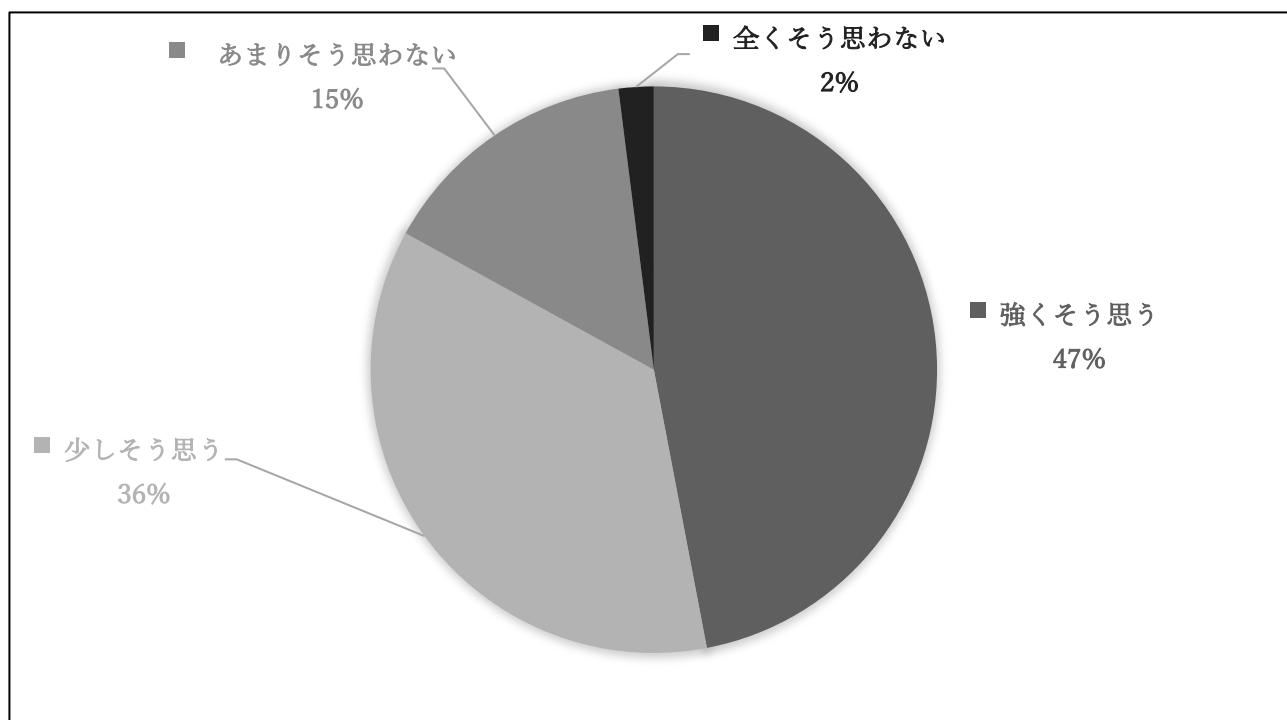
※上図では「未記入」を除いた割合を示している。

図 2-8. 大学院での学修計画を立てるのにシラバスを活用しましたか



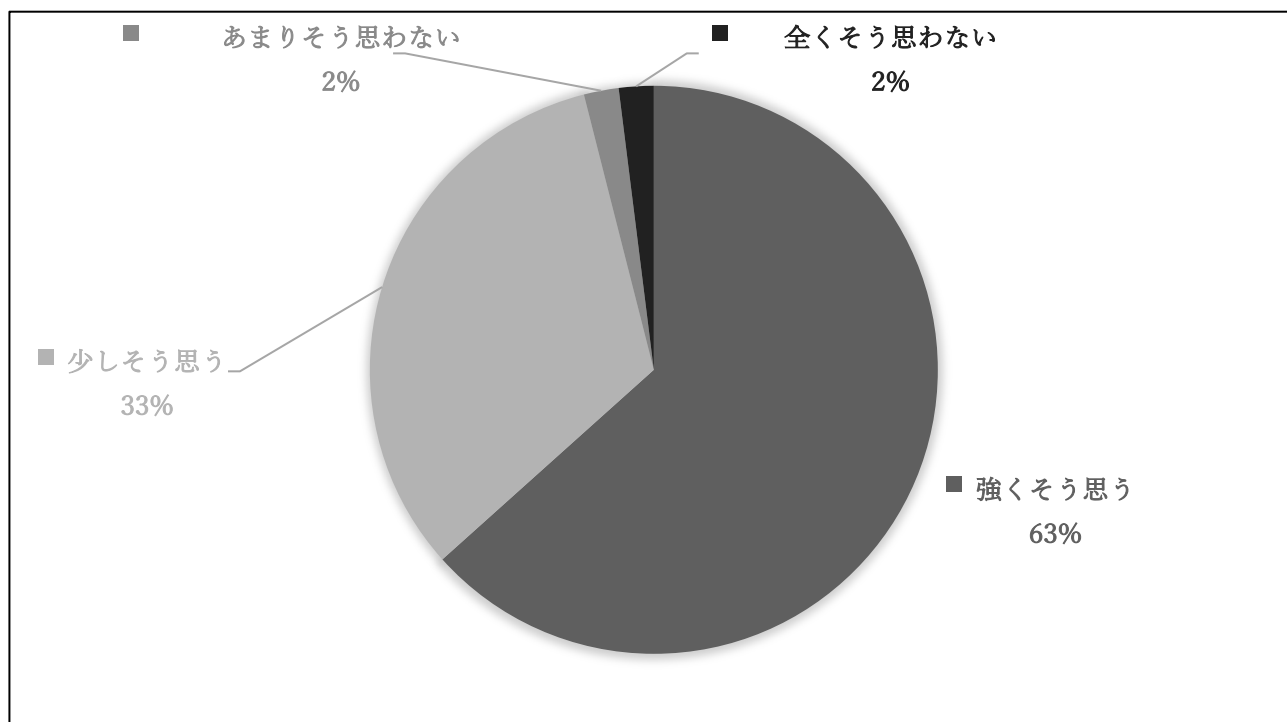
※上図では「未記入」を除いた割合を示している。

図 2-9. 図書館や研究室、実験器具の使用など、自分たちが自主的に学修を進めるための環境が十分整っていたと思いますか。



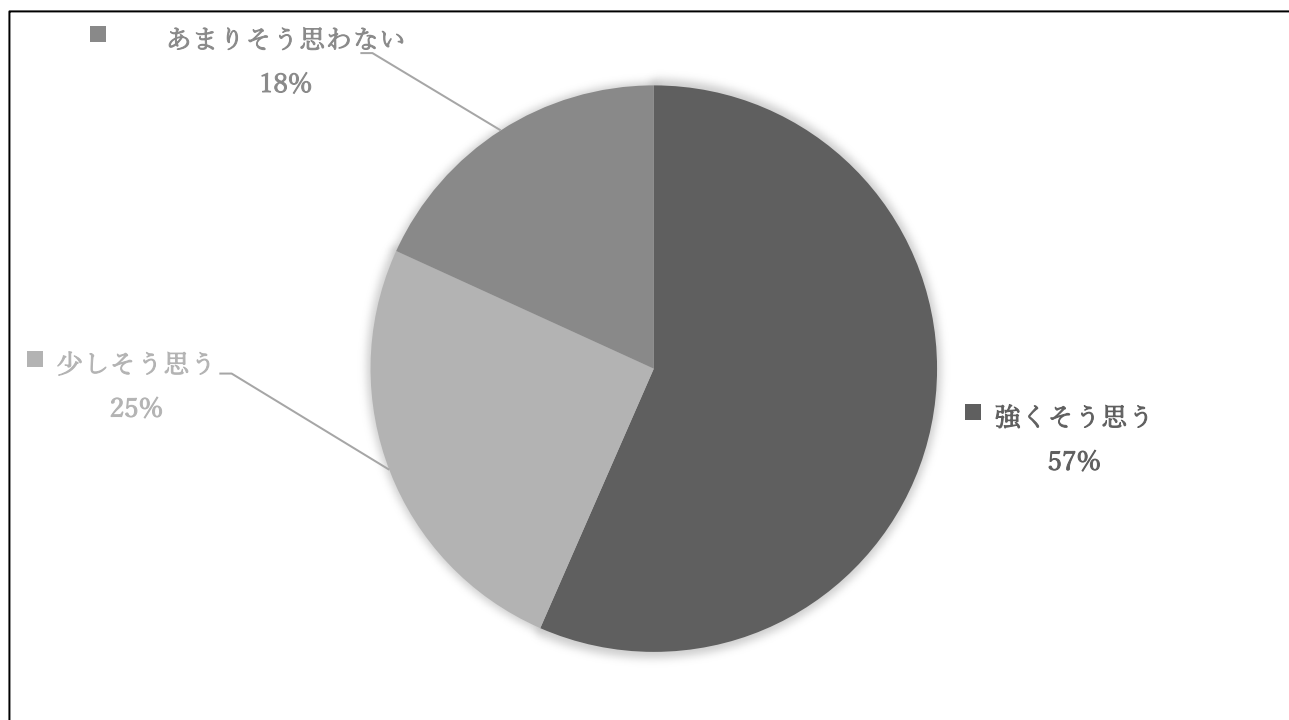
※上図では「未記入」を除いた割合を示している。

図 2-10. 学修指導や研究指導など、自分たちが自主的に学修を進めるために、教員は十分な配慮をしていたと思いますか。



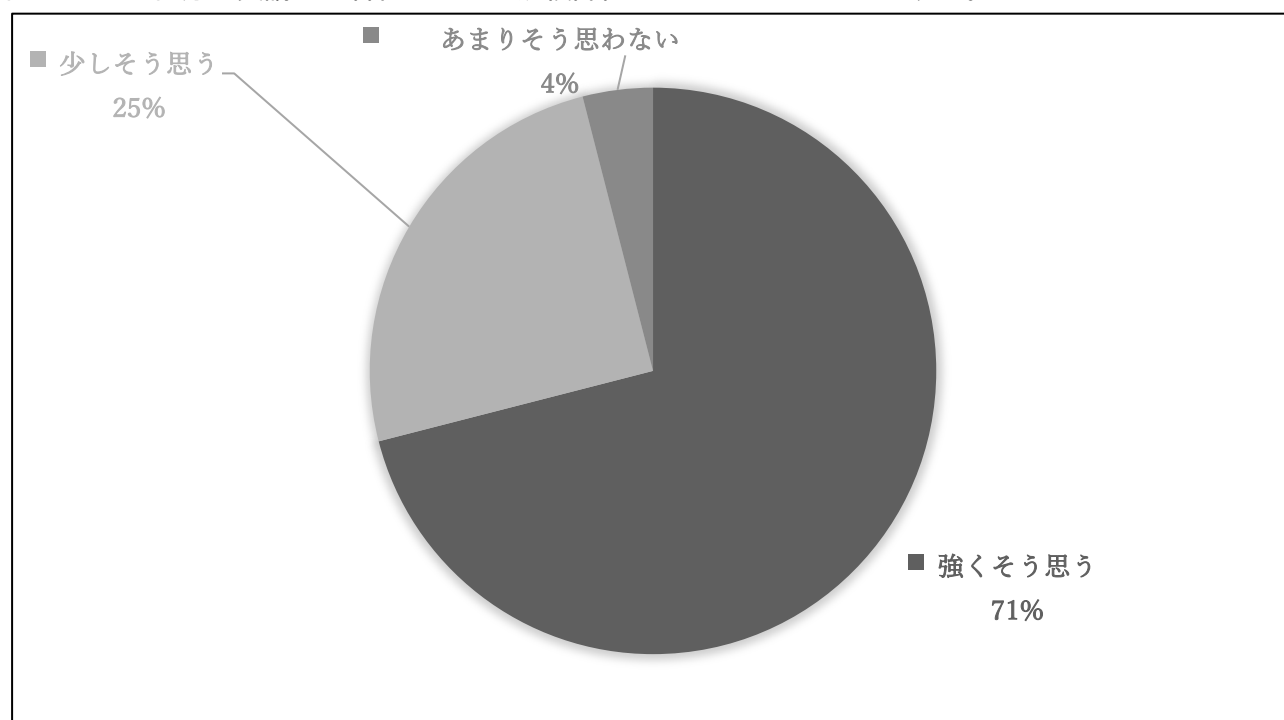
※上図では「未記入」を除いた割合を示している。

図 2-11. 自分の受講した科目において成績評価の方法や手順ははっきりと示されていたと思いますか。



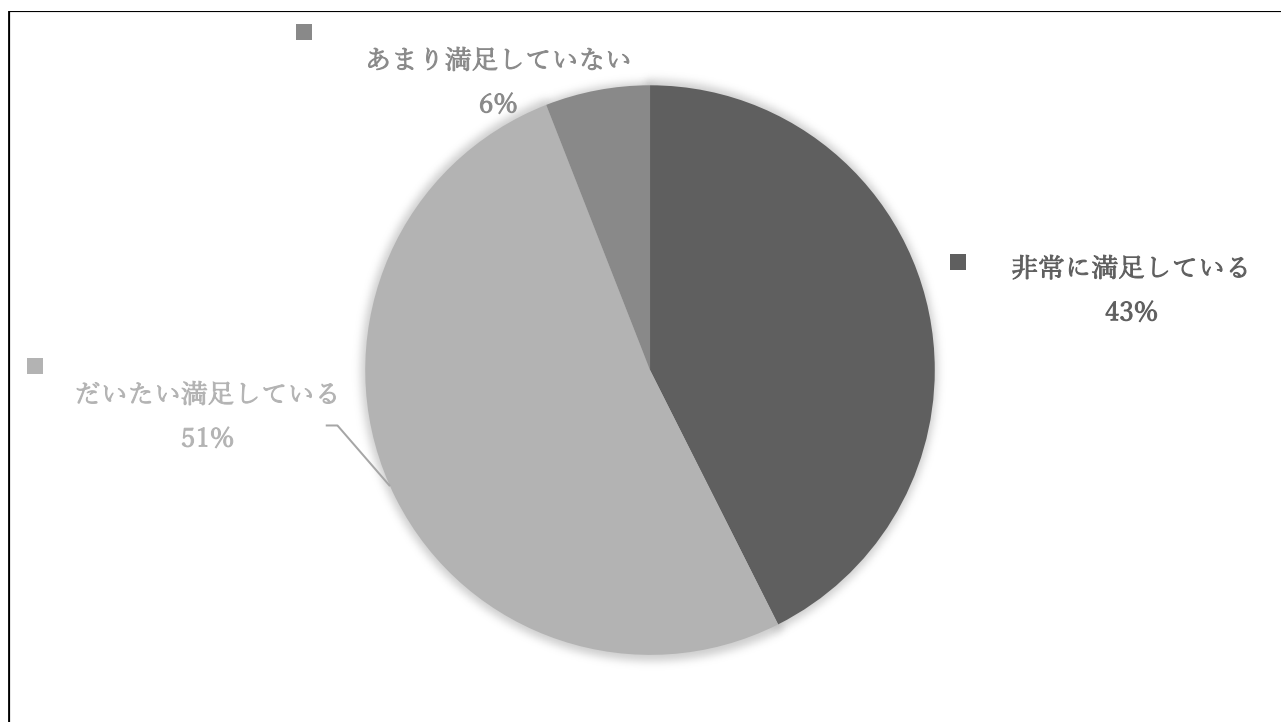
※上図では「未記入」を除いた割合を示している。

図 2-12. 自分の受講した科目において成績評価は公正だったと思いますか。



※上図では「未記入」を除いた割合を示している。

図 2-13. 福島大学大学院での学修や研究を通じて自分自身が身につけた学力や能力についてどのように感じていますか。



※上図では「未記入」を除いた割合を示している。

◎就業後における大学院時代の経験の重要性

修了生調査では、図 2-14 に示す「修了した大学」「大学院修了時の専門分野」「成績（研究成果含む）」「サークル等での実績」「人的なネットワーク」が、どの程度、採用時に評価されたかを尋ねている。選択肢は、「とても重要」「ある程度重要」「あまり重要ではない」「重要ではない」の 4 択である。「とても重要」「ある程度重要」の合計割合が高い順にみると、「大学院修了時の専門分野」60%、「人的なネットワーク」58%、「成績（研究成果含む）」49%、「修了した大学」46%、「サークル等での実績」18%である。

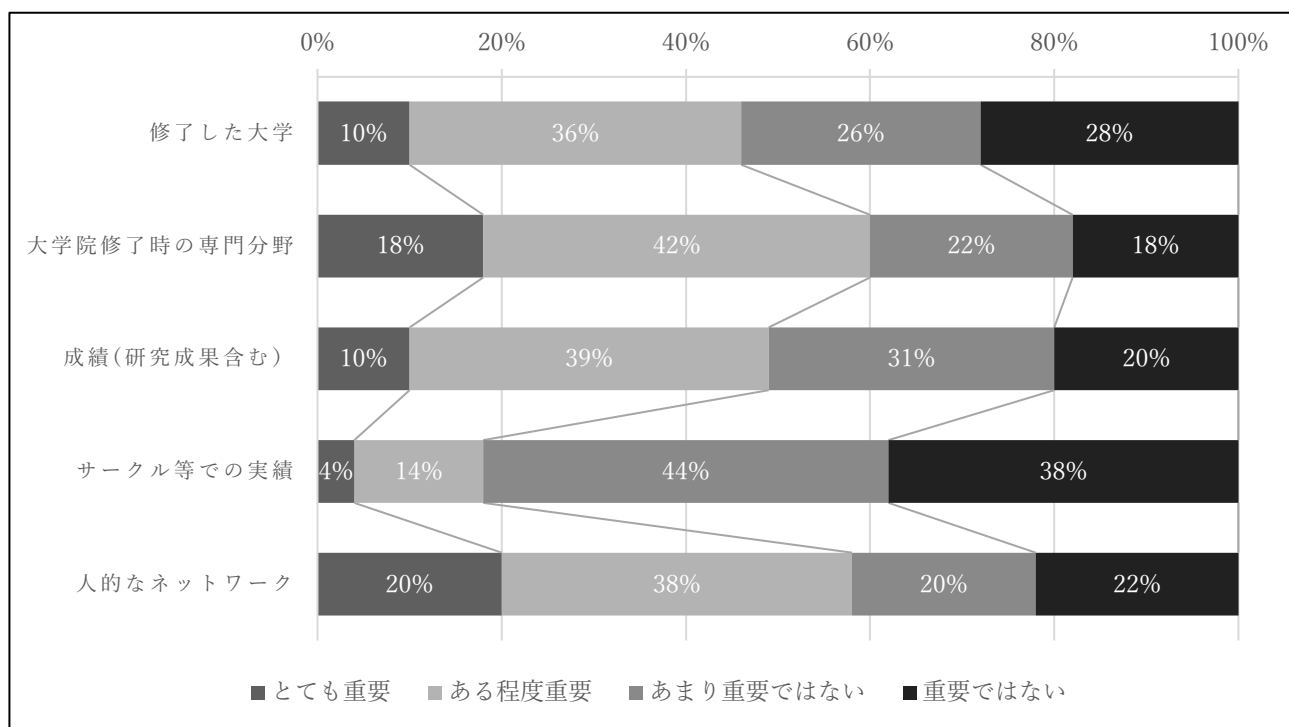
また修了生調査では、図 2-15 に示す大学院時代の経験（10 項目）が、どの程度、現在の仕事で重要かについて尋ねている。選択肢は、前問と同様に、「とても重要」「ある程度重要」「あまり重要ではない」「重要ではない」の 4 選択である。「とても重要」「ある程度重要」の合計割合が高い順に、「専門分野の修得による考え方の訓練」95%、「未知のことに目をひらかせられる経験」94%、「先端の学問に触れることによる知的好奇心」94%、「学問を修得することによる考え方の訓練」93%、「教員との交流」91%、「友人・先輩との交流」91%、「研究室・ゼミでの経験」89%、「修士論文・修士研究等の経験」87%、「大学院進学時に獲得した基礎学力」85%、「アルバイトの経験」68%である。

◎各種能力の修得状況

図 2-16 は、社会人基礎力についての集計結果を示すものである。修了生調査では、現在の職場において働く上で重要であると考えられる能力、自分の優れた能力、自分にとって不足している能力について、複数選択で尋ねている。以下は、それぞれ選択肢の割合（分母は回答者総数）が高い順に 3 項目を見ていこう。まず働く上で重要であると考えられる能力については、「主体性」89%、「実行力」83%、および「傾聴力」が 81%であった。次に福島大生なし自分の優れた能力は、「傾聴力」59%、「課題発見力」55%、「主体性」53%である。一方、福島大生なし自分にとって不足している能力は「働きかけ力」47%、「創造力」および「発信力」が同率で 39%である。福島大学の修了生は、自分たちの主体性や実行力や傾聴力を比較的に高く評価する。一方、働きかけ力や創造力や発信力には不足を感じているとの結果は、卒業生調査と同様である。

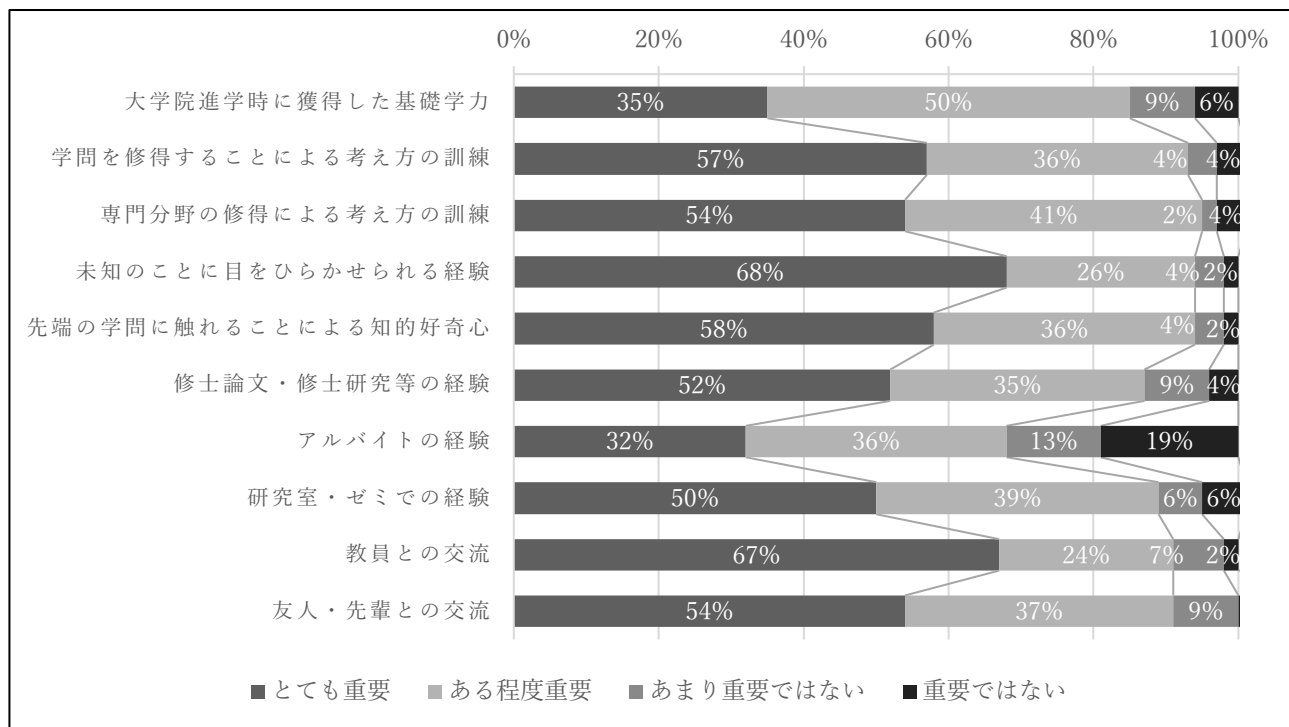
また社会人基礎力のほか、図 2-17 に示す能力についての設問（4 択）も、修了生調査に含まれている。「とてもある」「ややある」の合計割合が高い上位 3 項目は、「自ら学修する習慣」89%、「インターネットで情報を適切に集める力」87%、「大学で学んだ専門知識」85%であった。一方、「とてもある」「ややある」の合計割合が高い下位 3 項目は、「外国語の能力」30%、「キャリアデザイン力」47%、「健康や運動に関する科学的認識」53%であった。福島大学の修了生は、自分たちの情報収集力や自ら学修する習慣や大学で学んだ専門知識を比較的に高く評価する一方で、外国語能力やキャリアデザイン力や健康や運動に関する科学的認識を比較的に低く評価している。そのうち、自分たちの情報収集力の修得力が高い点は、修了生および卒業生調査に共通した特徴である。また、外国語やキャリアデザイン力の修得力が低い点も、卒業生調査の結果と共通する。

図 2-14 採用された際に評価された点



※上図では「未記入」を除いた割合を示している。

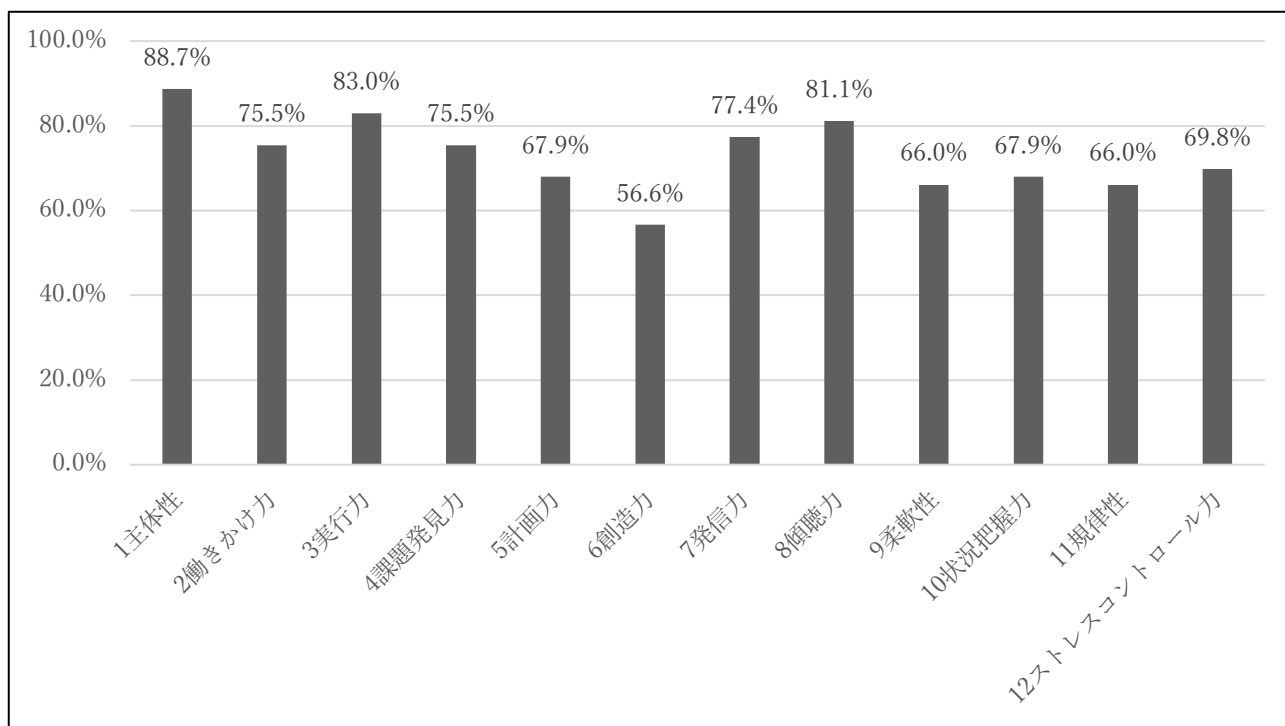
図 2-15 大学院時代の経験の重要性



※上図では「未記入」を除いた割合を示している。

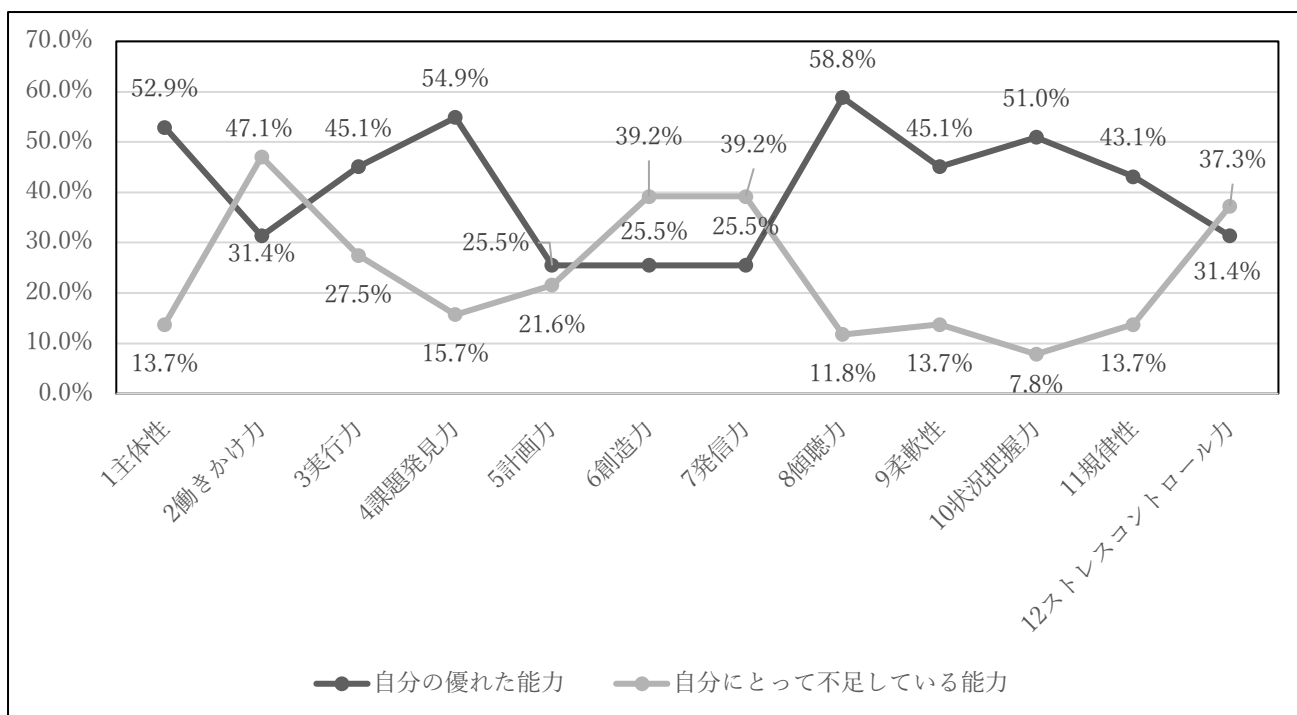
図 2-16 社会人基礎力について

働く上で重要であると考えられる能力



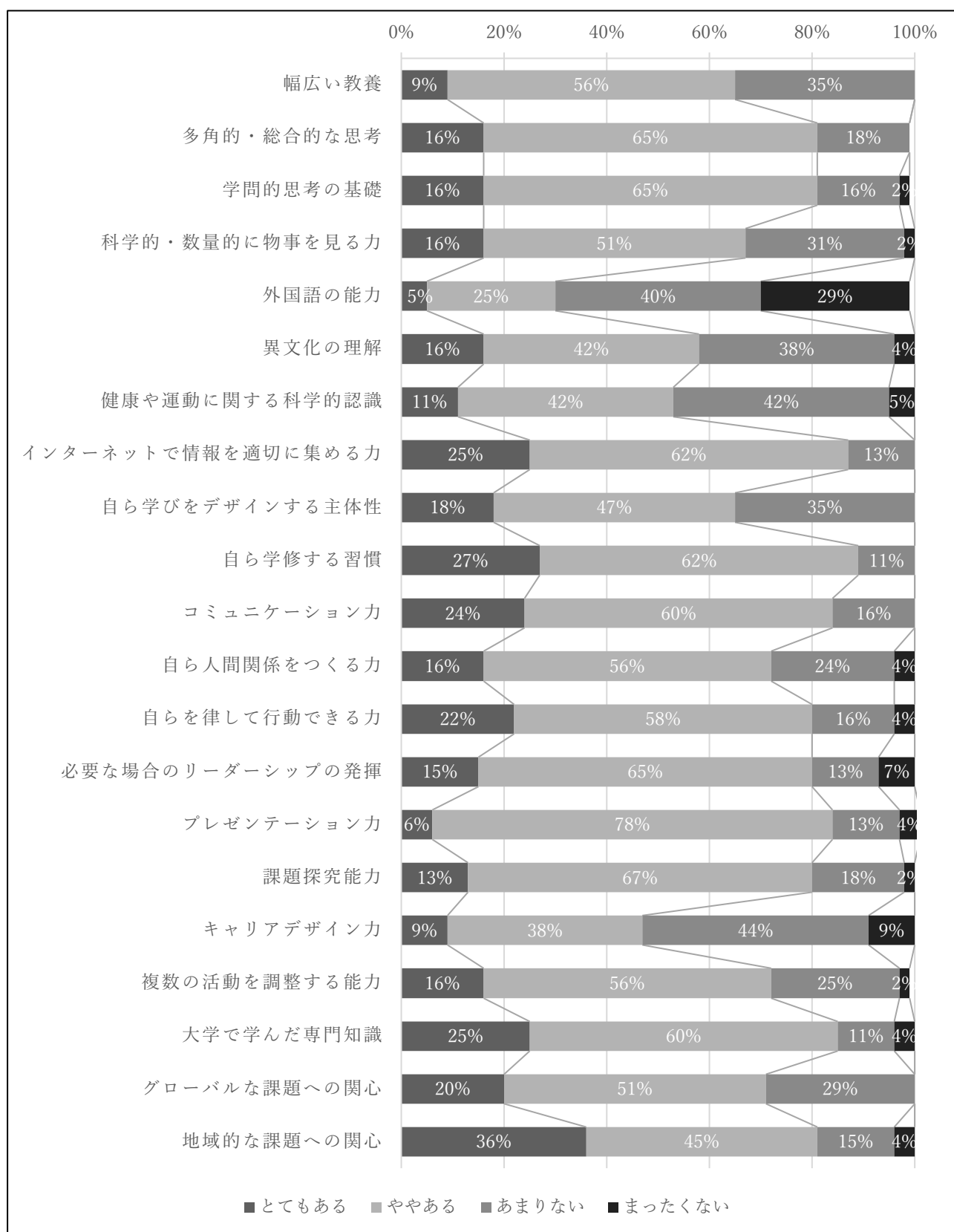
※上図の分母は回答者総数（55名）である。

自分の優れた能力、自分にとって不足している能力



※上図の分母は回答者総数（55名）である。

図 2-17 自分自身の能力の評価



※上図では「未記入」を除いた割合を示している。

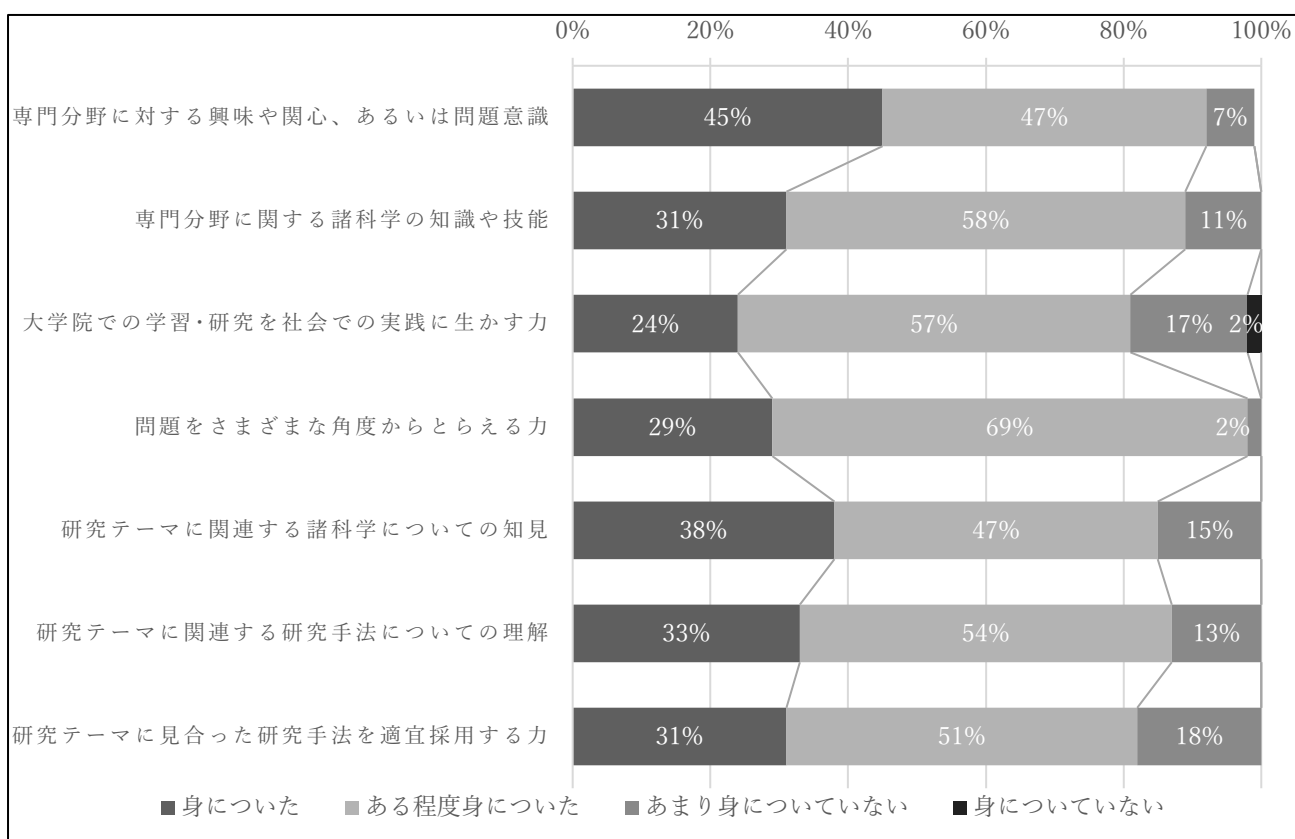
◎各研究科での学びについて

修了生調査では、福島大学大学院での学修・研究を通じた能力の修得について、全研究科の共通設問と、各研究科別の設問で、それぞれ尋ねている。各研究科別の設問については、在学時の所属に応じた設問である。また全研究科の共通設問と各研究科別の設問のいずれでも、各種の能力がどの程度身についたかについて、「身についた」「ある程度身についた」「あまり身につけていない」「身につけていない」の4択で尋ねるものである。

ここでは、全研究科の共通設問の回答結果についてまとめる（図 2-18）。「身についた」「ある程度身についた」の合計割合が最も高い順にみていくと、「問題をさまざまな角度からとらえる力」98%、「専門分野に対する興味や関心、あるいは問題意識」92%、「専門分野に関する諸科学の知識や技能」89%、「研究テーマに関連する研究手法についての理解」87%、「研究テーマに関連する諸科学についての知見」85%、「研究テーマに見合った研究手法を適宜採用する力」82%、「大学院での学習・研究を社会での実践に生かす力」81%であった。いずれの能力でも、高い修得状況（8割超え）を示している。

また各研究科別の設問の集計結果については、詳細を本章第 2 節に掲載している。詳細の回答については、本章第 2 節をご参照いただきたい。

図 2-18 大学院での学習・研究を通して下記の項目内容がどの程度身についたと思いますか。



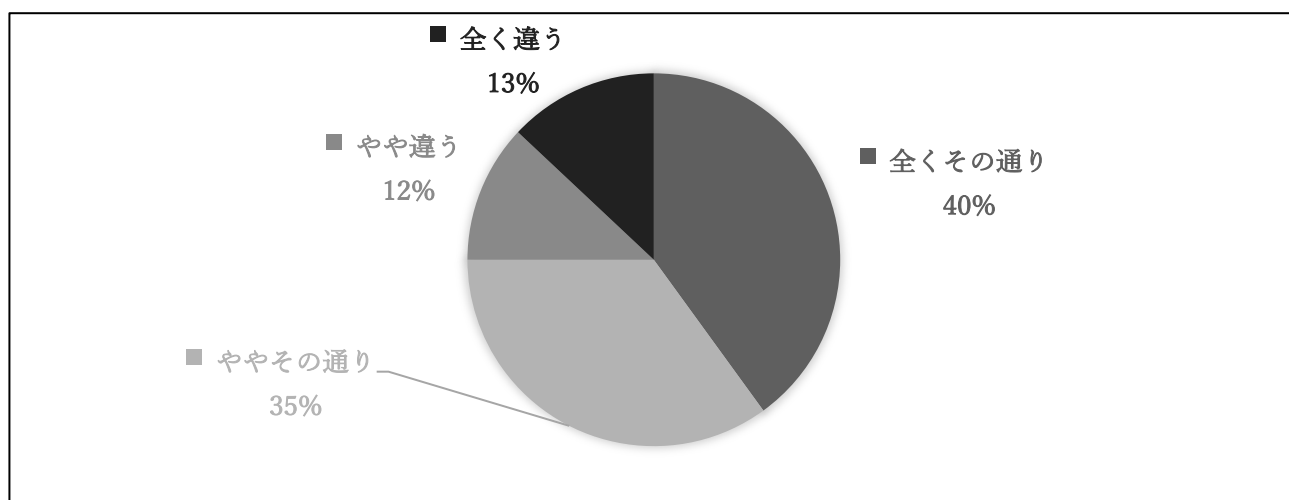
※上図では「未記入」を除いた割合を示している。

◎希望通りの職場・生活

修了生調査では、希望の通りの職場・職務か、予想通りの生活や状況かについて尋ねている。

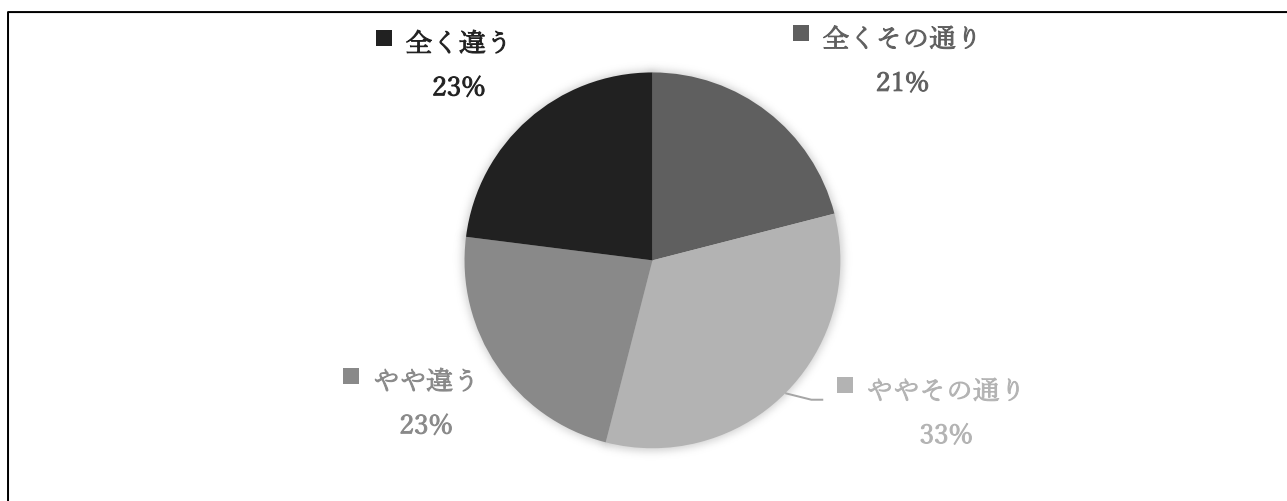
図 2-19 は、「現在の職場、職務はあなたが就職活動時から希望していたものですか」の集計結果を示すものである。希望通りの職場・職務について、「全くその通り」「ややその通りに」の合計割合が 75%であった。また、図 2-20 では、「現在の生活や状況について就職活動時から予想していましたか」の集計結果を示す。予想通りの生活や状況について、「全くその通り」「ややその通りに」の合計で 54%であった。卒業生調査と同様に、回答者は希望通りの職場、予想通りの生活を過ごしているのが過半数である。

図 2-19 現在の職場、職務はあなたが就職活動時から希望していたものですか。



※上図では「未記入」を除いた割合を示している。

図 2-20 現在の生活や状況について就職活動時から予想していましたか。



※上図では「未記入」を除いた割合を示している。

第2節 単純集計

第1項 人間発達文化研究科の修了生

I. あなたの福島大学大学院の在学経験と、教育への意識について伺います。

Q1/Q2：福島大学大学院への入学年と修了年（西暦）をお答えください。

入学	2013	1 (4%)	卒業	2016	2 (8%)
	2014	1 (4%)		2017	8 (33%)
	2015	9 (38%)		2018	8 (33%)
	2016	8 (33%)		2019	6 (25%)
	2017	5 (21%)		未記入	0 (0%)
	未記入	0 (0%)		計	24 (100%)
	計	24 (100%)			

Q3：福島大学大学院修了時の所属研究科（専攻）について、該当する項目を選択してください。

人間発達文化研究科（教職教育専攻）	9 (38%)
人間発達文化研究科（地域文化創造専攻）	7 (29%)
人間発達文化研究科（学校臨床心理専攻）	5 (21%)
人間発達文化研究科（教職実践専攻【教職大学院】）	3 (13%)
未記入	0 (0%)
計	24 (100%)

Q4：福島大学大学院修了後の在学経験で該当する項目を選択してください。

なし	22 (92%)
福島大学の大学院博士後期課程	0 (0%)
他大学の大学院博士後期課程	1 (4%)
その他	1 (4%)
未記入	0 (0%)
計	24 (100%)

※その他内訳

他大学の通信課程

1

Q5-Q12：大学在籍時の福島大学院の授業について、以下のような授業はどの程度ありましたか。

	多かった	少しあった	あまりなかった	全くなかった	未記入	計
Q5 専門的知識を身につける	17 (71%)	7 (29%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	24 (100%)
Q6 幅広い知識を身につける	17 (71%)	6 (25%)	1 (4%)	0 (0%)	0 (0%)	24 (100%)
Q7 ディベートやプレゼンテーション	17 (71%)	5 (21%)	2 (8%)	0 (0%)	0 (0%)	24 (100%)
Q8 実学を学ぶプログラム（インターンシップなど）	7 (29%)	8 (33%)	4 (17%)	5 (21%)	0 (0%)	24 (100%)
Q9 実践的な外国語学修	0 (0%)	2 (8%)	7 (29%)	15 (63%)	0 (0%)	24 (100%)
Q10 知識や情報を集め自分の考えを導き出す訓練	20 (83%)	3 (13%)	1 (4%)	0 (0%)	0 (0%)	24 (100%)
Q11 チームを組んで特定の課題に取り組む経験	8 (33%)	12 (50%)	3 (13%)	1 (4%)	0 (0%)	24 (100%)
Q12 職業観醸成プログラム	5 (21%)	13 (54%)	1 (4%)	5 (21%)	0 (0%)	24 (100%)

Q13-Q20：授業を今振り返って、それらは必要だと思いますか。

	とても必要	ある程度必要	あまり必要ない	必要ない	未記入	計
Q13 専門的知識を身につける	22 (92%)	2 (8%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	24 (100%)
Q14 幅広い知識を身につける	20 (83%)	3 (13%)	1 (4%)	0 (0%)	0 (0%)	24 (100%)
Q15 ディベートやプレゼンテーション	18 (75%)	6 (25%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	24 (100%)
Q16 実学を学ぶプログラム（インターンシップなど）	8 (33%)	14 (58%)	2 (8%)	0 (0%)	0 (0%)	24 (100%)
Q17 実践的な外国語学修	4 (17%)	11 (46%)	7 (29%)	2 (8%)	0 (0%)	24 (100%)
Q18 知識や情報を集め自分の考えを導き出す訓練	21 (88%)	3 (13%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	24 (100%)
Q19 チームを組んで特定の課題に取り組む経験	10 (42%)	14 (58%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	24 (100%)
Q20 職業観醸成プログラム	6 (25%)	17 (71%)	1 (4%)	0 (0%)	0 (0%)	24 (100%)

Ⅱ. 福島大学大学院での教育について伺います。

Q21：全体的に見て、自分の受けた大学院の授業科目において、達成すべき目標や身につけるべき力は明確だったと思いますか。

非常に明確だった	7 (29%)
だいたい明確だった	16 (67%)
あまり明確でなかった	1 (4%)
全く明確でない	0 (0%)
未記入	0 (0%)
計	24 (100%)

Q22：大学院の教育課程(カリキュラム)は、自分の目指す学問分野や職業分野の能力を獲得するうえで、体系的に編成されていたと思いますか。

強くそう思う	9 (38%)
少しそう思う	12 (50%)
あまりそう思わない	3 (13%)
全くそう思わない	0 (0%)
未記入	0 (0%)
計	24 (100%)

Q23：講義系の科目(知識や理論の獲得を目指すもの)と演習・実習などの科目(実用的・実践的な力の獲得を目指すもの)の比率についてどのように感じましたか。

講義系の科目が多すぎる	1 (4%)
演習・実習などの科目が多すぎる	1 (4%)
ちょうどよい	21 (88%)
その他	1 (4%)
未記入	0 (0%)
計	24 (100%)

※その他内訳
 なんとも言い難いが、ちょうどいいわけでも、多すぎるわけでもない。
 1

Q24：大学院の科目を履修するうえで、履修アドバイスやガイダンスについてどのように感じましたか。

十分に行われたし、必要だと思う	10 (42%)
十分に行われなかったが、必要だと思う	10 (42%)
行われたが、あまり必要だと思わない	2 (8%)
行われなかったし、必要だと思わない	1 (4%)
未記入	1 (4%)
計	24 (100%)

Q25：大学院での研究を計画的に進めていくうえで、研究指導は十分に行われたと思いますか。

強くそう思う	15 (63%)
少しそう思う	7 (29%)
あまりそう思わない	2 (8%)
全くそう思わない	0 (0%)
未記入	0 (0%)
計	24 (100%)

Q26：大学院での学修計画を立てるのにシラバスを活用しましたか。

大いに活用した	9 (38%)
少し活用した	11 (46%)
あまり活用しなかった	4 (17%)
全く活用しなかった	0 (0%)
未記入	0 (0%)
計	24 (100%)

Q27：図書館や研究室、実験器具の使用など、自分たちが自主的に学修を進めるための環境が十分整っていたと思いますか。

強くそう思う	14 (58%)
少しそう思う	9 (38%)
あまりそう思わない	1 (4%)
全くそう思わない	0 (0%)
未記入	0 (0%)
計	24 (100%)

Q28：学修指導や研究指導など、自分たちが自主的に学修を進めるために、教員は十分な配慮をしていたと思いますか。

強くそう思う	15 (63%)
少しそう思う	8 (33%)
あまりそう思わない	1 (4%)
全くそう思わない	0 (0%)
未記入	0 (0%)
計	24 (100%)

Q29：自分の受講した科目において成績評価の方法や手順ははっきりと示されていたと思いますか。

強くそう思う	15 (63%)
少しそう思う	5 (21%)
あまりそう思わない	4 (17%)
全くそう思わない	0 (0%)
未記入	0 (0%)
計	24 (100%)

Q30：自分の受講した科目において成績評価は公正だったと思いますか。

強くそう思う	19 (79%)
少しそう思う	5 (21%)
あまりそう思わない	0 (0%)
全くそう思わない	0 (0%)
未記入	0 (0%)
計	24 (100%)

Q31：福島大学大学院での学修や研究を通じて自分自身が身につけた学力や能力についてどのように感じていますか。

非常に満足している	10 (42%)
だいたい満足している	14 (58%)
あまり満足していない	0 (0%)
全く満足していない	0 (0%)
未記入	0 (0%)
計	24 (100%)

Ⅲ. あなたの現在のお仕事について伺います。

現在お仕事をされていない方は、最後に就かれていたお仕事についてご回答ください。

Q32：就職した年を西暦でお答えください。

就職	1982	1 (4%)	2007	1 (4%)	2017	6 (25%)
	1988	1 (4%)	2008	1 (4%)	2018	3 (13%)
	2002	1 (4%)	2013	1 (4%)	2019	2 (8%)
	2003	1 (4%)	2014	2 (8%)	未記入	2 (8%)
	2005	1 (4%)	2016	1 (4%)	計	24 (100%)

Q33/Q34：現在のお仕事の業種/職種について当てはまるものを選択してください。

業種	1 農林水産業	0 (0%)
	2 鉱業	0 (0%)
	3 建設業	0 (0%)
	4 製造業	0 (0%)
	5 電気・ガス・熱供給・水道業	0 (0%)
	6 情報通信業	0 (0%)
	7 運輸業	0 (0%)
	8 卸売・小売業	0 (0%)
	9 金融・保険業	1 (4%)
	10 不動産業	0 (0%)
	11 飲食店、宿泊業	0 (0%)
	12 医療、福祉	3 (13%)
	13 教育、学習支援業	13 (54%)
	14 複合サービス事業	0 (0%)
	15 他に分類されないサービス業	1 (4%)
	16 他に分類されない公務	0 (0%)
	17 その他	3 (13%)
	未記入	3 (13%)
	計	24 (100%)

職種	1 一般事務	0 (0%)
	2 営業・販売職	1 (4%)
	3 サービス職	3 (13%)
	4 技術職	0 (0%)
	5 専門職	14 (58%)
	6 その他	1 (4%)
	未記入	5 (21%)
	計	24 (100%)

※その他内訳

教育

1

※その他内訳

共演ピアニスト

1

なし

1

アーティスト

1

Q35：勤務先の規模(常用雇用者数)について当てはまるものを選択してください。

規模	1 29 名以下	8 (33%)
	2 30-99 名	9 (38%)
	3 100-499 名	4 (17%)
	4 500-999 名	0 (0%)
	5 1,000-4,999 名	0 (0%)
	6 5,000-9,999 名	0 (0%)
	7 10,000 名以上	0 (0%)
	未記入	3 (13%)
	計	24 (100%)

Q36-Q40：あなたが現在の職場に採用された際に評価された点として、以下の項目はどの程度重要だったと思いますか。

	とても重要	ある程度重要	あまり重要ではない	重要ではない	未記入	計
Q36 修了した大学	2 (8%)	7 (29%)	7 (29%)	5 (21%)	3 (13%)	24 (100%)
Q37 大学院修了時の専門分野	4 (17%)	9 (38%)	5 (21%)	3 (13%)	3 (13%)	24 (100%)
Q38 成績 (研究成果含む)	3 (13%)	6 (25%)	7 (29%)	4 (17%)	4 (17%)	24 (100%)
Q39 サークル等での実績	2 (8%)	2 (8%)	7 (29%)	10 (42%)	3 (13%)	24 (100%)
Q40 人的なネットワーク	4 (17%)	9 (38%)	4 (17%)	4 (17%)	3 (13%)	24 (100%)

Q41-Q43：次の社会人基礎力について、現在の職場において働く上で重要であると考えられる能力、自分の優れた能力、自分に不足している能力についてお伺いします。

該当する項目全てを選択してください(複数選択可)。

	Q41 働く上で重要な能力	Q42 自分の優れた能力	Q43 自分にとって不足している能力
1 物事に進んで取組む力(主体性)	20 (83%)	11 (46%)	3 (13%)
2 他人に働きかけ巻き込む力(働きかけ力)	16 (67%)	7 (29%)	11 (46%)
3 目的を設定し確実に行動する力(実行力)	19 (79%)	8 (33%)	8 (33%)
4 現状を分析し課題を明らかにする力(課題発見力)	18 (75%)	13 (54%)	3 (13%)
5 課題解決の過程を明らかにし準備する力(計画力)	14 (58%)	4 (17%)	3 (13%)
6 新しい価値を生み出す力(創造力)	12 (50%)	6 (25%)	6 (25%)
7 自分の意見を分かりやすく伝える力(発信力)	20 (83%)	7 (29%)	5 (21%)
8 相手の意見を丁寧に聴く力(傾聴力)	21 (88%)	15 (63%)	2 (8%)
9 意見の違いや立場の違いを理解する力(柔軟性)	16 (67%)	10 (42%)	3 (13%)
10 自分と周囲のとの関係性を理解する力(状況把握力)	14 (58%)	11 (46%)	1 (4%)
11 社会のルールや人との約束を守る力(規律性)	16 (67%)	9 (38%)	2 (8%)
12 ストレスに対応する力(ストレスコントロール力)	17 (71%)	6 (25%)	10 (42%)
未記入	1 (4%)	1 (4%)	1 (4%)

注：ここでのパーセントは全体 (24) を分母とした場合の割合。

Q44-Q53：現在のお仕事において、下記の大学院時代の経験はどの程度重要だと思いますか。

	とても 重要	ある程 度重要	あまり 重要で はない	重要で はない	未記入	計
Q44 大学院進学時に獲得した基礎学力	8(33%)	11(46%)	3(13%)	1(4%)	1(4%)	24(100%)
Q45 学問を修得することによる考え方の訓練	14(58%)	8(33%)	0(0%)	1(4%)	1(4%)	24(100%)
Q46 専門分野の修得による考え方の訓練	16(67%)	6(25%)	0(0%)	1(4%)	1(4%)	24(100%)
Q47 未知のことに目をひらかせられる経験	16(67%)	6(25%)	1(4%)	0(0%)	1(4%)	24(100%)
Q48 先端の学問に触れることによる知的好奇心	14(58%)	8(33%)	1(4%)	0(0%)	1(4%)	24(100%)
Q49 修士論文・修士研究等の経験	12(50%)	9(38%)	1(4%)	1(4%)	1(4%)	24(100%)
Q50 アルバイトの経験	7(29%)	8(33%)	3(13%)	5(21%)	1(4%)	24(100%)
Q51 研究室・ゼミでの経験	12(50%)	8(33%)	1(4%)	2(8%)	1(4%)	24(100%)
Q52 教員との交流	17(71%)	4(17%)	2(8%)	0(0%)	1(4%)	24(100%)
Q53 友人・先輩との交流	12(50%)	8(33%)	3(13%)	0(0%)	1(4%)	24(100%)

Q54-Q74：あなたは以下の自分自身の能力をどのように評価しますか。

	とても ある	やや ある	あまり ない	まった くない	未記 入	計
Q54 幅広い教養	1(4%)	15(63%)	8(33%)	0(0%)	0(0%)	24(100%)
Q55 多角的・総合的な思考	4(17%)	16(67%)	4(17%)	0(0%)	0(0%)	24(100%)
Q56 学問的思考の基礎	1(4%)	20(83%)	3(13%)	0(0%)	0(0%)	24(100%)
Q57 科学的・数量的に物事を見る力	3(13%)	10(42%)	10(42%)	1(4%)	0(0%)	24(100%)
Q58 外国語の能力	1(4%)	8(33%)	9(38%)	6(25%)	0(0%)	24(100%)
Q59 異文化の理解	4(17%)	11(46%)	9(38%)	0(0%)	0(0%)	24(100%)
Q60 健康や運動に関する科学的認識	2(8%)	11(46%)	10(42%)	1(4%)	0(0%)	24(100%)
Q61 インターネットで情報を適切に集める力	3(13%)	19(79%)	2(8%)	0(0%)	0(0%)	24(100%)
Q62 自ら学びをデザインする主体性	5(21%)	15(63%)	4(17%)	0(0%)	0(0%)	24(100%)
Q63 自ら学修する習慣	9(38%)	13(54%)	2(8%)	0(0%)	0(0%)	24(100%)
Q64 コミュニケーション力	6(25%)	15(63%)	3(13%)	0(0%)	0(0%)	24(100%)
Q65 自ら人間関係をつくる力	4(17%)	16(67%)	4(17%)	0(0%)	0(0%)	24(100%)
Q66 自らを律して行動できる力	3(13%)	18(75%)	2(8%)	1(4%)	0(0%)	24(100%)
Q67 必要な場合のリーダーシップの発揮	6(25%)	16(67%)	0(0%)	2(8%)	0(0%)	24(100%)
Q68 プレゼンテーション力	1(4%)	20(83%)	2(8%)	1(4%)	0(0%)	24(100%)
Q69 課題探究能力	2(8%)	18(75%)	3(13%)	1(4%)	0(0%)	24(100%)
Q70 キャリアデザイン力	1(4%)	14(58%)	8(33%)	1(4%)	0(0%)	24(100%)
Q71 複数の活動を調整する能力	6(25%)	14(58%)	4(17%)	0(0%)	0(0%)	24(100%)
Q72 大学で学んだ専門知識	7(29%)	16(67%)	0(0%)	1(4%)	0(0%)	24(100%)
Q73 グローバルな課題への関心	5(21%)	11(46%)	8(33%)	0(0%)	0(0%)	24(100%)
Q74 地域的な課題への関心	9(38%)	12(50%)	2(8%)	1(4%)	0(0%)	24(100%)

Q75-Q76：現在の職場、職務はあなたが就職活動時から希望していたものですか。また、現在の生活や状況について就職活動時から予想していましたか。

	全く その通り	やや その通り	やや 違う	全く 違う	未記 入	計
Q75 現在の職場・職務を希望していたか	11(46%)	10(42%)	1(4%)	0(0%)	2(8%)	24(100%)
Q76 現在の生活や状況を予想していたか	6(25%)	9(38%)	6(25%)	1(4%)	2(8%)	24(100%)

Ⅳ. 1：全ての研究科の修了生にお聞きします。

Q77-Q83：福島大学大学院での学習・研究を通して下記の項目内容がどの程度身についたと思いますか。

【全ての研究科の修了全員】	身についた	ある程度身についた	あまり身についていない	身についていない	未記入	計
Q77 専門分野に対する興味や関心、あるいは問題意識	13 (54%)	10 (42%)	1 (4%)	0 (0%)	0 (0%)	24 (100%)
Q78 専門分野に関する諸科学の知識や技能	8 (33%)	15 (63%)	1 (4%)	0 (0%)	0 (0%)	24 (100%)
Q79 大学院での学習・研究を社会での実践に生かす力	6 (25%)	16 (67%)	1 (4%)	0 (0%)	1 (4%)	24 (100%)
Q80 問題をさまざまな角度からとらえる力	7 (29%)	16 (67%)	1 (4%)	0 (0%)	0 (0%)	24 (100%)
Q81 研究テーマに関連する諸科学についての知見	10 (42%)	11 (46%)	3 (13%)	0 (0%)	0 (0%)	24 (100%)
Q82 研究テーマに関連する研究手法についての理解	7 (29%)	13 (54%)	4 (17%)	0 (0%)	0 (0%)	24 (100%)
Q83 研究テーマに見合った研究手法を適宜採用する力	7 (29%)	12 (50%)	5 (21%)	0 (0%)	0 (0%)	24 (100%)

Q84：所属していた研究科

専攻	人間発達文化研究科(修士課程)	21 (88%)
	人間発達文化研究科(教職大学院)	3 (13%)
	未記入	0 (0%)
	計	24 (100%)

IV. 2: 各研究科の設問にお答えください。

Q85-Q91: あなたは以下の項目(研究科のディプロマポリシー)について、所属していた研究科で学んだことを通じてどの程度身につけることができましたか。

【人間発達文化研究科の修了生】		身についた	ある程度身についた	あまり身につけていない	身につけていない	未記入	計
修士課程	Q85 人間や地域や文化に対する問題意識と、高度専門職業人にふさわしい知識と技能	5 (24%)	13 (62%)	3 (14%)	0 (0%)	0 (0%)	21 (100%)
	Q86 課題を解決するために必要な組織や人材を活かしながら、修得した知識や技能を学校や地域で積極的に生かそうとする態度や技能	7 (33%)	10 (48%)	4 (19%)	0 (0%)	0 (0%)	21 (100%)
	Q87 人間や社会の発達における文化の役割を理解し、次世代を育成する実践力	6 (29%)	12 (57%)	3 (14%)	0 (0%)	0 (0%)	21 (100%)
教職大学院	Q88 社会とつながるチーム学校の一員としてのマネジメント経験を積みながら、自らの教育実践を省察する力	0 (0%)	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	3 (100%)
	Q89 自然、社会、文化としての教育内容を創造しつつ、授業する力	0 (0%)	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	3 (100%)
	Q90 すべての子どもの人間的資質や学習の成長に目を向けつつ、教育理論を吸収しつつ、アクティブ・ラーニングを実施し、実践を理論化しようとする力	0 (0%)	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	3 (100%)
	Q91 日本と世界の教育改革に目を向け、福島教育課題から実践を発想・構想しつつ、地域と学校を結びながら子どもの学習を保障する教職への役割を自覚する強い責任感	1 (33%)	2 (67%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	3 (100%)

注: 本表のパーセンテージは Q84 の各研究科卒業生数を分母とした場合の割合。(修士課程: 21, 教職大学院: 3)

※Q92-104 は、他研究科向けの質問項目である。

V. あなた自身について伺います。

Q105：あなたの性別をお答えください。

性別	男性	8 (33%)
	女性	16 (67%)
	未記入	0 (0%)
	計	24 (100%)

Q106：あなたの現在の年齢（満年齢）をお答えください。

年齢	24	1 (4%)
	26	3 (13%)
	27	8 (33%)
	28	1 (4%)
	32	1 (4%)
	38	2 (8%)
	39	1 (4%)
	40	2 (8%)
	41	1 (4%)
	51	1 (4%)
	58	1 (4%)
	59	1 (4%)
	63	1 (4%)
	未記入	0 (0%)
	計	24 (100%)

Q107：あなたの現在の就業状況についてお答えください。

就業 状況	1 常時雇用の社員・職員	19 (79%)
	2 パート・アルバイト・臨時の社員・職員	1 (4%)
	3 自営業主・家族従業者	1 (4%)
	4 無職	1 (4%)
	5 学生	1 (4%)
	6 その他	1 (1%)
	未記入	0 (0%)
	計	24 (100%)

※その他内訳
共演ピアニスト

第2項 地域政策科学研究科の修了生

I. あなたの福島大学大学院の在学経験と、教育への意識について伺います。

Q1/Q2：福島大学大学院への入学年と修了年（西暦）をお答えください。

入学	2012	1 (20%)	卒業	2017	3 (60%)
	2015	3 (60%)		2018	1 (20%)
	2017	1 (20%)		2019	1 (20%)
	未記入	0 (0%)		未記入	0 (0%)
	計	5 (100%)		計	5 (100%)

Q3：福島大学大学院修了時の所属研究科（専攻）について、該当する項目を選択してください。

地域政策科学研究科（地域政策科学専攻）	5 (100%)
未記入	0 (0%)
計	5 (100%)

Q4：福島大学大学院修了後の在学経験で該当する項目を選択してください。

なし	4 (80%)
福島大学の大学院博士後期課程	0 (0%)
他大学の大学院博士後期課程	1 (20%)
その他	0 (0%)
未記入	0 (0%)
計	5 (100%)

Q5-Q12：大学在籍時の福島大学院の授業について、以下のような授業はどの程度ありましたか。

	多かった	少しあった	あまりなかった	全くなかった	未記入	計
Q5 専門的知識を身につける	4 (80%)	1 (20%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)
Q6 幅広い知識を身につける	3 (60%)	1 (20%)	1 (20%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)
Q7 ディベートやプレゼンテーション	2 (40%)	2 (40%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (20%)	5 (100%)
Q8 実学を学ぶプログラム（インターンシップなど）	1 (20%)	0 (0%)	1 (20%)	2 (40%)	1 (20%)	5 (100%)
Q9 実践的な外国語学修	0 (0%)	1 (20%)	1 (20%)	2 (40%)	1 (20%)	5 (100%)
Q10 知識や情報を集め自分の考えを導き出す訓練	5 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)
Q11 チームを組んで特定の課題に取り組む経験	1 (20%)	1 (20%)	1 (20%)	2 (40%)	0 (0%)	5 (100%)
Q12 職業観醸成プログラム	4 (80%)	1 (20%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)

Q13-Q20：授業を今振り返って、それらは必要だと思いますか。

	とても必要	ある程度必要	あまり必要ない	必要ない	未記入	計
Q13 専門的知識を身につける	5 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)
Q14 幅広い知識を身につける	4 (80%)	1 (20%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)
Q15 ディベートやプレゼンテーション	5 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)
Q16 実学を学ぶプログラム（インターンシップなど）	3 (60%)	1 (20%)	0 (0%)	1 (20%)	0 (0%)	5 (100%)
Q17 実践的な外国語学修	3 (60%)	1 (20%)	1 (20%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)
Q18 知識や情報を集め自分の考えを導き出す訓練	5 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)
Q19 チームを組んで特定の課題に取り組む経験	3 (60%)	2 (40%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)
Q20 職業観醸成プログラム	3 (60%)	0 (0%)	2 (40%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)

Ⅱ. 福島大学大学院での教育について伺います。

Q21：全体的に見て、自分の受けた大学院の授業科目において、達成すべき目標や身につけるべき力は明確だったと思いますか。

非常に明確だった	2 (40%)
だいたい明確だった	3 (60%)
あまり明確でなかった	0 (0%)
全く明確でない	0 (0%)
未記入	0 (0%)
計	5 (100%)

Q22：大学院の教育課程(カリキュラム)は、自分の目指す学問分野や職業分野の能力を獲得するうえで、体系的に編成されていたと思いますか。

強くそう思う	3 (60%)
少しそう思う	1 (20%)
あまりそう思わない	1 (20%)
全くそう思わない	0 (0%)
未記入	0 (0%)
計	5 (100%)

Q23：講義系の科目(知識や理論の獲得を目指すもの)と演習・実習などの科目(実用的・実践的な力の獲得を目指すもの)の比率についてどのように感じましたか。

講義系の科目が多すぎる	0 (0%)
演習・実習などの科目が多すぎる	0 (0%)
ちょうどよい	5 (100%)
その他	0 (0%)
未記入	0 (0%)
計	5 (100%)

Q24：大学院の科目を履修するうえで、履修アドバイスやガイダンスについてどのように感じましたか。

十分に行われたし、必要だと思う	2 (40%)
十分に行われなかったが、必要だと思う	2 (40%)
行われたが、あまり必要だと思わない	0 (0%)
行われなかったし、必要だと思わない	1 (20%)
未記入	0 (0%)
計	5 (100%)

Q25：大学院での研究を計画的に進めていくうえで、研究指導は十分に行われたと思いますか。

強くそう思う	3 (60%)
少しそう思う	2 (40%)
あまりそう思わない	0 (0%)
全くそう思わない	0 (0%)
未記入	0 (0%)
計	5 (100%)

Q26：大学院での学修計画を立てるのにシラバスを活用しましたか。

大いに活用した	2 (40%)
少し活用した	3 (60%)
あまり活用しなかった	0 (0%)
全く活用しなかった	0 (0%)
未記入	0 (0%)
計	5 (100%)

Q27：図書館や研究室、実験器具の使用など、自分たちが自主的に学修を進めるための環境が十分整っていたと思いますか。

強くそう思う	0 (0%)
少しそう思う	4 (80%)
あまりそう思わない	1 (20%)
全くそう思わない	0 (0%)
未記入	0 (0%)
計	5 (100%)

Q28：学修指導や研究指導など、自分たちが自主的に学修を進めるために、教員は十分な配慮をしていたと思いますか。

強くそう思う	4 (80%)
少しそう思う	1 (20%)
あまりそう思わない	0 (0%)
全くそう思わない	0 (0%)
未記入	0 (0%)
計	5 (100%)

Q29：自分の受講した科目において成績評価の方法や手順ははっきりと示されていたと思いますか。

強くそう思う	3 (60%)
少しそう思う	1 (20%)
あまりそう思わない	1 (20%)
全くそう思わない	0 (0%)
未記入	0 (0%)
計	5 (100%)

Q30：自分の受講した科目において成績評価は公正だったと思いますか。

強くそう思う	3 (60%)
少しそう思う	2 (40%)
あまりそう思わない	0 (0%)
全くそう思わない	0 (0%)
未記入	0 (0%)
計	5 (100%)

Q31：福島大学大学院での学修や研究を通じて自分自身が身につけた学力や能力についてどのように感じていますか。

非常に満足している	1 (20%)
だいたい満足している	4 (80%)
あまり満足していない	0 (0%)
全く満足していない	0 (0%)
未記入	0 (0%)
計	5 (100%)

Ⅲ. あなた現在の仕事について伺います。

現在お仕事をされていない方は、最後に就かれていたお仕事についてご回答ください。

Q32：就職した年を西暦でお答えください。

就職	2011	1 (20%)
	2012	2 (40%)
	2018	1 (20%)
	2019	1 (20%)
	未記入	0 (0%)
	計	5 (100%)

Q33/Q34：現在の仕事の業種/職種について当てはまるものを選択してください。

業種	1 農林水産業	0 (0%)
	2 鉱業	0 (0%)
	3 建設業	0 (0%)
	4 製造業	0 (0%)
	5 電気・ガス・熱供給・水道業	0 (0%)
	6 情報通信業	0 (0%)
	7 運輸業	0 (0%)
	8 卸売・小売業	0 (0%)
	9 金融・保険業	0 (0%)
	10 不動産業	0 (0%)
	11 飲食店、宿泊業	0 (0%)
	12 医療、福祉	0 (0%)
	13 教育、学習支援業	0 (0%)
	14 複合サービス事業	0 (0%)
	15 他に分類されないサービス業	0 (0%)
	16 他に分類されない公務	5 (100%)
	17 その他	0 (0%)
	未記入	0 (0%)
	計	5 (100%)

職種	1 一般事務	3 (60%)
	2 営業・販売職	0 (0%)
	3 サービス職	0 (0%)
	4 技術職	0 (0%)
	5 専門職	1 (20%)
	6 その他	1 (20%)
	未記入	0 (0%)
	計	5 (100%)

※その他内訳
議員

1

Q35：勤務先の規模(常用雇用者数)について当てはまるものを選択してください。

規模	1 29 名以下	1 (20%)
	2 30-99 名	0 (0%)
	3 100-499 名	2 (40%)
	4 500-999 名	0 (0%)
	5 1,000-4,999 名	1 (20%)
	6 5,000-9,999 名	1 (20%)
	7 10,000 名以上	0 (0%)
	未記入	0 (0%)
	計	5 (100%)

Q36-Q40：あなたが現在の職場に採用された際に評価された点として、以下の項目はどの程度重要だったと思いますか。

	とても重要	ある程度重要	あまり重要ではない	重要ではない	未記入	計
Q36 修了した大学	1 (20%)	2 (40%)	0 (0%)	1 (20%)	1 (20%)	5 (100%)
Q37 大学院修了時の専門分野	0 (0%)	3 (60%)	0 (0%)	1 (20%)	1 (20%)	5 (100%)
Q38 成績（研究成果含む）	0 (0%)	2 (40%)	1 (20%)	1 (20%)	1 (20%)	5 (100%)
Q39 サークル等での実績	0 (0%)	1 (20%)	1 (20%)	2 (40%)	1 (20%)	5 (100%)
Q40 人的なネットワーク	1 (20%)	1 (20%)	1 (20%)	1 (20%)	1 (20%)	5 (100%)

Q41-Q43：次の社会人基礎力について、現在の職場において働く上で重要であると考えられる能力、自分の優れた能力、自分に不足している能力についてお伺いします。

該当する項目全てを選択してください（複数選択可）。

	Q41 働く上で重要な能力	Q42 自分の優れた能力	Q43 自分に不足している能力
1 物事に進んで取組む力(主体性)	5 (100%)	3 (60%)	0 (0%)
2 他人に働きかけ巻き込む力(働きかけ力)	4 (80%)	1 (20%)	2 (40%)
3 目的を設定し確実に行動する力(実行力)	5 (100%)	2 (40%)	1 (20%)
4 現状を分析し課題を明らかにする力(課題発見力)	4 (80%)	4 (80%)	0 (0%)
5 課題解決の過程を明らかにし準備する力(計画力)	5 (100%)	2 (40%)	1 (20%)
6 新しい価値を生み出す力(創造力)	4 (80%)	2 (40%)	1 (20%)
7 自分の意見を分かりやすく伝える力(発信力)	4 (80%)	1 (20%)	2 (40%)
8 相手の意見を丁寧に聴く力(傾聴力)	5 (100%)	4 (80%)	0 (0%)
9 意見の違いや立場の違いを理解する力(柔軟性)	4 (80%)	4 (80%)	0 (0%)
10 自分と周囲のとの関係性を理解する力(状況把握力)	4 (80%)	3 (60%)	0 (0%)
11 社会のルールや人との約束を守る力(規律性)	4 (80%)	3 (60%)	1 (20%)
12 ストレスに対応する力(ストレスコントロール力)	5 (100%)	1 (20%)	3 (60%)
未記入	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

注：ここでのパーセントは全体（5）を分母とした場合の割合。

Q44-Q53：現在のお仕事において、下記の大学院時代の経験はどの程度重要だと思いますか。

	とても重要	ある程度重要	あまり重要ではない	重要ではない	未記入	計
Q44 大学院進学時に獲得した基礎学力	2 (40%)	3 (60%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)
Q45 学問を修得することによる考え方の訓練	4 (80%)	1 (20%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)
Q46 専門分野の修得による考え方の訓練	4 (80%)	1 (20%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)
Q47 未知のことに目をひらかせられる経験	5 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)
Q48 先端の学問に触れることによる知的好奇心	4 (80%)	1 (20%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)
Q49 修士論文・修士研究等の経験	4 (80%)	1 (20%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)
Q50 アルバイトの経験	3 (60%)	1 (20%)	1 (20%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)
Q51 研究室・ゼミでの経験	3 (60%)	2 (40%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)
Q52 教員との交流	3 (60%)	2 (40%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)
Q53 友人・先輩との交流	1 (20%)	4 (80%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)

Q54-Q74：あなたは以下の自分自身の能力をどのように評価しますか。

	とても ある	やや ある	あまり ない	まった くない	未記 入	計
Q54 幅広い教養	0 (0%)	4 (80%)	1 (20%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)
Q55 多角的・総合的な思考	0 (0%)	5 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)
Q56 学問的思考の基礎	0 (0%)	5 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)
Q57 科学的・数量的に物事を見る力	0 (0%)	4 (80%)	1 (20%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)
Q58 外国語の能力	1 (20%)	2 (40%)	1 (20%)	1 (20%)	0 (0%)	5 (100%)
Q59 異文化の理解	3 (60%)	1 (20%)	1 (20%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)
Q60 健康や運動に関する科学的認識	0 (0%)	3 (60%)	1 (20%)	1 (20%)	0 (0%)	5 (100%)
Q61 インターネットで情報を適切に集める力	2 (40%)	3 (60%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)
Q62 自ら学びをデザインする主体性	0 (0%)	4 (80%)	1 (20%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)
Q63 自ら学修する習慣	2 (40%)	3 (60%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)
Q64 コミュニケーション力	1 (20%)	4 (80%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)
Q65 自ら人間関係をつくる力	1 (20%)	3 (60%)	1 (20%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)
Q66 自らを律して行動できる力	1 (20%)	3 (60%)	1 (20%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)
Q67 必要な場合のリーダーシップの発揮	0 (0%)	5 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)
Q68 プレゼンテーション力	0 (0%)	3 (60%)	2 (40%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)
Q69 課題探究能力	0 (0%)	4 (80%)	1 (20%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)
Q70 キャリアデザイン力	0 (0%)	2 (40%)	2 (40%)	1 (20%)	0 (0%)	5 (100%)
Q71 複数の活動を調整する能力	0 (0%)	3 (60%)	2 (40%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)
Q72 大学で学んだ専門知識	0 (0%)	4 (80%)	1 (20%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)
Q73 グローバルな課題への関心	1 (20%)	3 (60%)	1 (20%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)
Q74 地域的な課題への関心	3 (60%)	1 (20%)	1 (20%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)

Q75-Q76：現在の職場、職務はあなたが就職活動時から希望していたものですか。また、現在の生活や状況について就職活動時から予想していましたか。

	全く その通り	やや その通り	やや 違う	全く 違う	未記 入	計
Q75 現在の職場・職務を希望していたか	0 (0%)	1 (20%)	2 (40%)	2 (40%)	0 (0%)	5 (100%)
Q76 現在の生活や状況を予想していたか	0 (0%)	0 (0%)	3 (60%)	2 (40%)	0 (0%)	5 (100%)

Ⅳ. 1：全ての研究科の修了生にお聞きします。

Q77-Q83：福島大学大学院での学習・研究を通して下記の項目内容がどの程度身についたと思いますか。

【全ての研究科の修了全員】	身に ついた	ある程度 身についた	あまり 身についていない	身に ついていない	未記入	計
Q77 専門分野に対する興味や関心、あるいは問題意識	2 (40%)	3 (60%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)
Q78 専門分野に関する諸科学の知識や技能	0 (0%)	4 (80%)	1 (20%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)
Q79 大学院での学習・研究を社会での実践に生かす力	0 (0%)	3 (60%)	2 (40%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)
Q80 問題をさまざまな角度からとらえる力	1 (20%)	4 (80%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)
Q81 研究テーマに関連する諸科学についての知見	2 (40%)	3 (60%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)
Q82 研究テーマに関連する研究手法についての理解	3 (60%)	2 (40%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)
Q83 研究テーマに見合った研究手法を適宜採用する力	1 (20%)	3 (60%)	1 (20%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)

Q84：所属していた研究科

専攻	地域政策科学研究科(修士課程)	5(100%)
	未記入	0(0%)
	計	5(100%)

※Q85-91 は、他研究科向けの質問項目である。

IV. 2:各研究科の設問にお答えください。

Q92-Q94：あなたは以下の項目(研究科のディプロマポリシー)について、所属していた研究科で学んだことを通じてどの程度身につけることができましたか。

【地域政策科学研究科の修了生】		身についた	ある程度身についた	あまり身につけていない	身につけていない	未記入	計
修士課程	Q92 地域社会における諸問題に対して、学際的(法学、政治・行政学、社会学、文化諸科学)および政策科学的に考究する視点	2(40%)	3(60%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	5(100%)
	Q93 学際的かつ政策科学の知識基盤の上に、地域の多様な政策課題に対応した、理論的・応用的かつ実践的な研究能力	2(40%)	3(60%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	5(100%)
	Q94 時代の進展と地域社会の要請に応える高度な専門性	2(40%)	2(40%)	1(20%)	0(0%)	0(0%)	5(100%)

注：本表のパーセンテージは Q84 の各研究科卒業者数を分母とした場合の割合。(修士課程：5)

※Q95-104 は、他研究科向けの質問項目である。

V. あなた自身について伺います。

Q105：あなたの性別をお答えください。

性別	男性	4 (80%)
	女性	1 (20%)
	未記入	0 (0%)
	計	5 (100%)

Q106：あなたの現在の年齢（満年齢）をお答えください。

年齢	27	1 (20%)
	30	1 (20%)
	34	1 (20%)
	40	2 (40%)
	未記入	0 (0%)
	計	5 (100%)

Q107：あなたの現在の就業状況についてお答えください。

就業 状況	1 常時雇用の社員・職員	3 (60%)
	2 パート・アルバイト・臨時の社員・職員	0 (0%)
	3 自営業主・家族従業者	0 (0%)
	4 無職	1 (20%)
	5 学生	0 (0%)
	6 その他	1 (20%)
	未記入	0 (0%)
	計	4 (100%)

※その他内訳

自営(会社代表)ならびに町議会議員

1

第3項 経済学研究科の修了生

I. あなたの福島大学大学院の在学経験と、教育への意識について伺います。

Q1/Q2：福島大学大学院への入学年と修了年（西暦）をお答えください。

入学	2012	1 (9%)	卒業	2016	1 (10%)
	2015	9 (90%)		2017	3 (30%)
	未記入	0 (0%)		2018	4 (40%)
	計	10 (100%)		2019	2 (20%)
				未記入	0 (0%)
				計	10 (100%)

Q3：福島大学大学院修了時の所属研究科（専攻）について、該当する項目を選択してください。

経済学研究科（経営学専攻）	7 (70%)
経済学研究科（経済学専攻）	3 (30%)
未記入	0 (0%)
計	10 (100%)

Q4：福島大学大学院修了後の在学経験で該当する項目を選択してください。

なし	6 (60%)
福島大学の大学院博士後期課程	0 (0%)
他大学の大学院博士後期課程	1 (10%)
その他	3 (30%)
未記入	0 (0%)
計	10 (100%)

※その他内訳

他大学の大学院博士課程前期課程	1
大学院	1
福島大学大学院修士再履修	1

Q5-Q12：大学在籍時の福島大学院の授業について、以下のような授業はどの程度ありましたか。

	多かった	少しあった	あまりなかった	全くなかった	未記入	計
Q5 専門的知識を身につける	7 (70%)	3 (30%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	10 (100%)
Q6 幅広い知識を身につける	7 (70%)	3 (30%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	10 (100%)
Q7 ディベートやプレゼンテーション	2 (20%)	7 (70%)	1 (10%)	0 (0%)	0 (0%)	10 (100%)
Q8 実学を学ぶプログラム（インターンシップなど）	0 (0%)	5 (50%)	3 (30%)	2 (20%)	0 (0%)	10 (100%)
Q9 実践的な外国語学修	0 (0%)	0 (0%)	3 (30%)	7 (70%)	0 (0%)	10 (100%)
Q10 知識や情報を集め自分の考えを導き出す訓練	7 (70%)	2 (20%)	1 (10%)	0 (0%)	0 (0%)	10 (100%)
Q11 チームを組んで特定の課題に取り組む経験	4 (40%)	5 (50%)	1 (10%)	0 (0%)	0 (0%)	10 (100%)
Q12 職業観醸成プログラム	7 (70%)	3 (30%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	10 (100%)

Q13-Q20：授業を今振り返って、それらは必要だと思いますか。

	とても必要	ある程度必要	あまり必要ない	必要ない	未記入	計
Q13 専門的知識を身につける	7 (70%)	3 (30%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	10 (100%)
Q14 幅広い知識を身につける	6 (60%)	3 (30%)	1 (10%)	0 (0%)	0 (0%)	10 (100%)
Q15 ディベートやプレゼンテーション	6 (60%)	4 (40%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	10 (100%)
Q16 実学を学ぶプログラム（インターンシップなど）	2 (20%)	5 (50%)	2 (20%)	0 (0%)	1 (10%)	10 (100%)
Q17 実践的な外国語学修	1 (10%)	5 (50%)	3 (30%)	1 (10%)	0 (0%)	10 (100%)
Q18 知識や情報を集め自分の考えを導き出す訓練	7 (70%)	3 (30%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	10 (100%)
Q19 チームを組んで特定の課題に取り組む経験	4 (40%)	6 (60%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	10 (100%)
Q20 職業観醸成プログラム	3 (30%)	4 (40%)	3 (30%)	0 (0%)	0 (0%)	10 (100%)

Ⅱ. 福島大学大学院での教育について伺います。

Q21：全体的に見て、自分の受けた大学院の授業科目において、達成すべき目標や身につけるべき力は明確だったと思いますか。

非常に明確だった	6 (60%)
だいたい明確だった	3 (30%)
あまり明確でなかった	1 (10%)
全く明確でない	0 (0%)
未記入	0 (0%)
計	10 (100%)

Q22：大学院の教育課程(カリキュラム)は、自分の目指す学問分野や職業分野の能力を獲得するうえで、体系的に編成されていたと思いますか。

強くそう思う	4 (40%)
少しそう思う	5 (50%)
あまりそう思わない	1 (10%)
全くそう思わない	0 (0%)
未記入	0 (0%)
計	10 (100%)

Q23：講義系の科目(知識や理論の獲得を目指すもの)と演習・実習などの科目(実用的・実践的な力の獲得を目指すもの)の比率についてどのように感じましたか。

講義系の科目が多すぎる	4 (40%)
演習・実習などの科目が多すぎる	0 (0%)
ちょうどよい	6 (60%)
その他	0 (0%)
未記入	0 (0%)
計	10 (100%)

Q24：大学院の科目を履修するうえで、履修アドバイスやガイダンスについてどのように感じましたか。

十分に行われたし、必要だと思う	8 (80%)
十分に行われなかったが、必要だと思う	1 (10%)
行われたが、あまり必要だと思わない	1 (10%)
行われなかったし、必要だと思わない	0 (0%)
未記入	0 (0%)
計	10 (100%)

Q25：大学院での研究を計画的に進めていくうえで、研究指導は十分に行われたと思いますか。

強くそう思う	7 (70%)
少しそう思う	3 (30%)
あまりそう思わない	0 (0%)
全くそう思わない	0 (0%)
未記入	0 (0%)
計	10 (100%)

Q26：大学院での学修計画を立てるのにシラバスを活用しましたか。

大いに活用した	4 (40%)
少し活用した	5 (50%)
あまり活用しなかった	0 (0%)
全く活用しなかった	1 (10%)
未記入	0 (0%)
計	10 (100%)

Q27：図書館や研究室、実験器具の使用など、自分たちが自主的に学修を進めるための環境が十分整っていたと思いますか。

強くそう思う	5 (50%)
少しそう思う	1 (10%)
あまりそう思わない	3 (30%)
全くそう思わない	1 (10%)
未記入	0 (0%)
計	10 (100%)

Q28：学修指導や研究指導など、自分たちが自主的に学修を進めるために、教員は十分な配慮をしていたと思いますか。

強くそう思う	8 (80%)
少しそう思う	2 (20%)
あまりそう思わない	0 (0%)
全くそう思わない	0 (0%)
未記入	0 (0%)
計	10 (100%)

Q29：自分の受講した科目において成績評価の方法や手順ははっきりと示されていたと思いますか。

強くそう思う	7 (70%)
少しそう思う	3 (30%)
あまりそう思わない	0 (0%)
全くそう思わない	0 (0%)
未記入	0 (0%)
計	10 (100%)

Q30：自分の受講した科目において成績評価は公正だったと思いますか。

強くそう思う	8 (80%)
少しそう思う	2 (20%)
あまりそう思わない	0 (0%)
全くそう思わない	0 (0%)
未記入	0 (0%)
計	10 (100%)

Q31：福島大学大学院での学修や研究を通じて自分自身が身につけた学力や能力についてどのように感じていますか。

非常に満足している	6 (60%)
だいたい満足している	4 (40%)
あまり満足していない	0 (0%)
全く満足していない	0 (0%)
未記入	0 (0%)
計	10 (100%)

Ⅲ. あなたの現在のお仕事について伺います。

現在お仕事をされていない方は、最後に就かれていたお仕事についてご回答ください。

Q32：就職した年を西暦でお答えください。

就職	1982	1 (10%)	1991	1 (10%)	未記入	1 (10%)
	1983	1 (10%)	2008	1 (10%)	計	10 (100%)
	1986	1 (10%)	2017	2 (20%)		
	1990	1 (10%)	2018	1 (10%)		

Q33/Q34：現在のお仕事の業種/職種について当てはまるものを選択してください。

業種	1 農林水産業	2 (20%)
	2 鉱業	0 (0%)
	3 建設業	1 (10%)
	4 製造業	2 (20%)
	5 電気・ガス・熱供給・水道業	0 (0%)
	6 情報通信業	0 (0%)
	7 運輸業	0 (0%)
	8 卸売・小売業	1 (10%)
	9 金融・保険業	0 (0%)
	10 不動産業	0 (0%)
	11 飲食店、宿泊業	0 (0%)
	12 医療、福祉	0 (0%)
	13 教育、学習支援業	0 (0%)
	14 複合サービス事業	0 (0%)
	15 他に分類されないサービス業	2 (20%)
	16 他に分類されない公務	1 (10%)
	17 その他	1 (10%)
	未記入	0 (0%)
	計	10 (100%)

職種	1 一般事務	2 (20%)
	2 営業・販売職	1 (10%)
	3 サービス職	0 (0%)
	4 技術職	1 (10%)
	5 専門職	3 (30%)
	6 その他	3 (30%)
	未記入	0 (0%)
	計	10 (100%)

※その他内訳

副市長	1
市民運動	1
会社経営	1

※その他内訳

市民運動 1

Q35：勤務先の規模(常用雇用者数)について当てはまるものを選択してください。

規模	1 29 名以下	3 (30%)
	2 30-99 名	2 (20%)
	3 100-499 名	1 (10%)
	4 500-999 名	0 (0%)
	5 1,000-4,999 名	2 (20%)
	6 5,000-9,999 名	2 (20%)
	7 10,000 名以上	0 (0%)
	未記入	0 (0%)
	計	10 (100%)

Q36-Q40：あなたが現在の職場に採用された際に評価された点として、以下の項目はどの程度重要だったと思いますか。

	とても重要	ある程度重要	あまり重要ではない	重要ではない	未記入	計
Q36 修了した大学	1 (10%)	4 (40%)	4 (40%)	0 (0%)	1 (10%)	10 (100%)
Q37 大学院修了時の専門分野	2 (20%)	2 (20%)	4 (40%)	1 (10%)	1 (10%)	10 (100%)
Q38 成績（研究成果含む）	1 (10%)	5 (50%)	3 (30%)	0 (0%)	1 (10%)	10 (100%)
Q39 サークル等での実績	0 (0%)	2 (20%)	5 (50%)	2 (20%)	1 (10%)	10 (100%)
Q40 人的なネットワーク	3 (30%)	5 (50%)	1 (10%)	0 (0%)	1 (10%)	10 (100%)

Q41-Q43：次の社会人基礎力について、現在の職場において働く上で重要であると考えられる能力、自分の優れた能力、自分に不足している能力についてお伺いします。

該当する項目全てを選択してください(複数選択可)。

	Q41 働く上で重要な能力	Q42 自分の優れた能力	Q43 自分に不足している能力
1 物事に進んで取組む力(主体性)	8 (80%)	6 (60%)	1 (10%)
2 他人に働きかけ巻き込む力(働きかけ力)	8 (80%)	3 (30%)	4 (40%)
3 目的を設定し確実に行動する力(実行力)	7 (70%)	3 (30%)	2 (20%)
4 現状を分析し課題を明らかにする力(課題発見力)	5 (50%)	4 (40%)	2 (20%)
5 課題解決の過程を明らかにし準備する力(計画力)	5 (50%)	3 (30%)	1 (10%)
6 新しい価値を生み出す力(創造力)	5 (50%)	2 (20%)	3 (30%)
7 自分の意見を分かりやすく伝える力(発信力)	4 (40%)	0 (0%)	6 (60%)
8 相手の意見を丁寧に聴く力(傾聴力)	6 (60%)	4 (40%)	1 (10%)
9 意見の違いや立場の違いを理解する力(柔軟性)	5 (50%)	2 (20%)	2 (20%)
10 自分と周囲のとの関係性を理解する力(状況把握力)	5 (50%)	5 (50%)	0 (0%)
11 社会のルールや人との約束を守る力(規律性)	4 (40%)	3 (30%)	0 (0%)
12 ストレスに対応する力(ストレスコントロール力)	4 (40%)	2 (20%)	3 (30%)
未記入	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

注：ここでのパーセントは全体（10）を分母とした場合の割合。

Q44-Q53：現在のお仕事において、下記の大学院時代の経験はどの程度重要だと思いますか。

	とても重要	ある程度重要	あまり重要ではない	重要ではない	未記入	計
Q44 大学院進学時に獲得した基礎学力	5 (50%)	5 (50%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	10 (100%)
Q45 学問を修得することによる考え方の訓練	6 (60%)	3 (30%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (10%)	10 (100%)
Q46 専門分野の修得による考え方の訓練	6 (60%)	4 (40%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	10 (100%)
Q47 未知のことに目をひらかせられる経験	6 (60%)	3 (30%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (10%)	10 (100%)
Q48 先端の学問に触れることによる知的好奇心	6 (60%)	3 (30%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (10%)	10 (100%)
Q49 修士論文・修士研究等の経験	5 (50%)	4 (40%)	1 (10%)	0 (0%)	0 (0%)	10 (100%)
Q50 アルバイトの経験	3 (30%)	4 (40%)	1 (10%)	1 (10%)	1 (10%)	10 (100%)
Q51 研究室・ゼミでの経験	5 (50%)	5 (50%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	10 (100%)
Q52 教員との交流	7 (70%)	3 (30%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	10 (100%)
Q53 友人・先輩との交流	6 (60%)	4 (40%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	10 (100%)

Q54-Q74：あなたは以下の自分自身の能力をどのように評価しますか。

	とてもある	ややある	あまりない	まったくない	未記入	計
Q54 幅広い教養	2 (20%)	5 (50%)	3 (30%)	0 (0%)	0 (0%)	10 (100%)
Q55 多角的・総合的な思考	3 (30%)	5 (50%)	2 (20%)	0 (0%)	0 (0%)	10 (100%)
Q56 学問的思考の基礎	3 (30%)	4 (40%)	3 (30%)	0 (0%)	0 (0%)	10 (100%)
Q57 科学的・数量的に物事を見る力	2 (20%)	5 (50%)	3 (30%)	0 (0%)	0 (0%)	10 (100%)
Q58 外国語の能力	1 (10%)	2 (20%)	3 (30%)	4 (40%)	0 (0%)	10 (100%)
Q59 異文化の理解	2 (20%)	5 (50%)	3 (30%)	0 (0%)	0 (0%)	10 (100%)
Q60 健康や運動に関する科学的認識	2 (20%)	3 (30%)	5 (50%)	0 (0%)	0 (0%)	10 (100%)
Q61 インターネットで情報を適切に集める力	2 (20%)	6 (60%)	2 (20%)	0 (0%)	0 (0%)	10 (100%)
Q62 自ら学びをデザインする主体性	3 (30%)	4 (40%)	3 (30%)	0 (0%)	0 (0%)	10 (100%)
Q63 自ら学修する習慣	2 (20%)	7 (70%)	1 (10%)	0 (0%)	0 (0%)	10 (100%)
Q64 コミュニケーション力	3 (30%)	5 (50%)	2 (20%)	0 (0%)	0 (0%)	10 (100%)
Q65 自ら人間関係をつくる力	3 (30%)	4 (40%)	3 (30%)	0 (0%)	0 (0%)	10 (100%)
Q66 自らを律して行動できる力	4 (40%)	5 (50%)	1 (10%)	0 (0%)	0 (0%)	10 (100%)
Q67 必要な場合のリーダーシップの発揮	0 (0%)	7 (70%)	1 (10%)	1 (10%)	1 (10%)	10 (100%)
Q68 プレゼンテーション力	1 (10%)	5 (50%)	2 (20%)	1 (10%)	1 (10%)	10 (100%)
Q69 課題探究能力	3 (30%)	3 (30%)	4 (40%)	0 (0%)	0 (0%)	10 (100%)
Q70 キャリアデザイン力	2 (20%)	1 (10%)	7 (70%)	0 (0%)	0 (0%)	10 (100%)
Q71 複数の活動を調整する能力	3 (30%)	4 (40%)	3 (30%)	0 (0%)	0 (0%)	10 (100%)
Q72 大学で学んだ専門知識	4 (40%)	3 (30%)	3 (30%)	0 (0%)	0 (0%)	10 (100%)
Q73 グローバルな課題への関心	2 (20%)	6 (60%)	2 (20%)	0 (0%)	0 (0%)	10 (100%)
Q74 地域的な課題への関心	5 (50%)	3 (30%)	2 (20%)	0 (0%)	0 (0%)	10 (100%)

Q75-Q76：現在の職場、職務はあなたが就職活動時から希望していたものですか。また、現在の生活や状況について就職活動時から予想していましたか。

	全くその通り	ややその通り	やや違う	全く違う	未記入	計
Q75 現在の職場・職務を希望していたか	5 (50%)	2 (20%)	2 (20%)	0 (0%)	1 (10%)	10 (100%)
Q76 現在の生活や状況を予想していたか	2 (20%)	4 (40%)	2 (20%)	1 (10%)	1 (10%)	10 (100%)

Ⅳ. 1：全ての研究科の修了生にお聞きします。

Q77-Q83：福島大学大学院での学習・研究を通して下記の項目内容がどの程度身についたと思いますか。

【全ての研究科の修了全員】	身についた	ある程度身についた	あまり身についていない	身についていない	未記入	計
Q77 専門分野に対する興味や関心、あるいは問題意識	3 (30%)	6 (60%)	1 (10%)	0 (0%)	0 (0%)	10 (100%)
Q78 専門分野に関する諸科学の知識や技能	4 (40%)	5 (50%)	1 (10%)	0 (0%)	0 (0%)	10 (100%)
Q79 大学院での学習・研究を社会での実践に生かす力	3 (30%)	6 (60%)	1 (10%)	0 (0%)	0 (0%)	10 (100%)
Q80 問題をさまざまな角度からとらえる力	4 (40%)	6 (60%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	10 (100%)
Q81 研究テーマに関連する諸科学についての知見	4 (40%)	4 (40%)	2 (20%)	0 (0%)	0 (0%)	10 (100%)
Q82 研究テーマに関連する研究手法についての理解	1 (10%)	6 (60%)	2 (20%)	0 (0%)	1 (10%)	10 (100%)
Q83 研究テーマに見合った研究手法を適宜採用する力	4 (40%)	4 (40%)	2 (20%)	0 (0%)	0 (0%)	10 (100%)

Q84：所属していた研究科

専攻	経済学研究科（修士課程）	10 (100%)
	未記入	0 (0%)
	計	10 (100%)

※Q85-94 は、他研究科向けの質問項目である。

IV. 2: 各研究科の設問にお答えください。

Q95-Q98：あなたは以下の項目（研究科のディプロマポリシー）について、所属していた研究科で学んだことを通じてどの程度身につけることができましたか。

【経済学研究科の修了生】		身についた	ある程度身についた	あまり身につけていない	身につけていない	未記入	計
修士課程	Q95 経済学、経営学、会計学の専門分野の知識	3 (30%)	6 (60%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (10%)	10 (100%)
	Q96 獲得した専門的知識を経済社会の諸課題に応用し、実践する力	2 (20%)	5 (50%)	2 (20%)	0 (0%)	1 (10%)	10 (100%)
	Q97 自らの問題意識のもとに研究課題を設定し、必要な情報や知見を収集・整理し、課題の解決に向けて分析を展開する能力	3 (30%)	5 (50%)	1 (10%)	0 (0%)	1 (10%)	10 (100%)
	Q98 蓄積されてきた知見や諸議論を論理的思考のもとに整理・分析することができ、また、自らの主張・意見を、論理的に説明する能力	3 (30%)	5 (50%)	1 (10%)	0 (0%)	1 (10%)	10 (100%)

注：本表のパーセンテージは Q84 の各研究科卒業生数を分母とした場合の割合。（修士課程：10）

※Q99-104 は、他研究科向けの質問項目である。

V. あなた自身について伺います。

Q105：あなたの性別をお答えください。

性別	男性	8 (80%)
	女性	1 (10%)
	未記入	1 (10%)
	計	10 (100%)

Q106：あなたの現在の年齢（満年齢）をお答えください。

年齢	38	1 (10%)
	45	1 (10%)
	47	2 (20%)
	49	1 (10%)
	52	1 (10%)
	58	1 (10%)
	61	1 (10%)
	未記入	2 (20%)
	計	10 (100%)

Q107：あなたの現在の就業状況についてお答えください。

就業 状況	1 常時雇用の社員・職員	5 (50%)
	2 パート・アルバイト・臨時の社員・職員	0 (0%)
	3 自営業主・家族従業者	3 (30%)
	4 無職	1 (10%)
	5 学生	0 (0%)
	6 その他	0 (0%)
	未記入	1 (10%)
	計	10 (100%)

第4項 共生システム理工学研究科の修了生

I. あなたの福島大学大学院の在学経験と、教育への意識について伺います。

Q1/Q2：福島大学大学院への入学年と修了年（西暦）をお答えください。

入学	2012	1 (6%)	卒業	2014	1 (6%)
	2015	8 (50%)		2016	1 (6%)
	2016	4 (25%)		2017	6 (38%)
	2017	3 (19%)		2018	5 (31%)
	未記入	0 (0%)		2019	3 (19%)
	計	16 (100%)		未記入	0 (0%)
				計	16 (100%)

Q3：福島大学大学院修了時の所属研究科(専攻)について、該当する項目を選択してください。

共生システム理工学研究科（共生システム理工学専攻 博士前期課程）	15 (94%)
共生システム理工学研究科（共生システム理工学専攻 博士後期課程）	1 (6%)
未記入	0 (0%)
計	16 (100%)

Q4：福島大学大学院修了後の在学経験で該当する項目を選択してください。

なし	15 (94%)
福島大学の大学院博士後期課程	1 (6%)
他大学の大学院博士後期課程	0 (0%)
その他	0 (0%)
未記入	0 (0%)
計	16 (100%)

Q5-Q12：大学在籍時の福島大学院の授業について、以下のような授業はどの程度ありましたか。

	多かった	少しあった	あまりなかった	全くなかった	未記入	計
Q5 専門的知識を身につける	7 (44%)	7 (44%)	1 (6%)	1 (6%)	0 (0%)	16 (100%)
Q6 幅広い知識を身につける	9 (56%)	4 (25%)	2 (13%)	0 (0%)	1 (6%)	16 (100%)
Q7 ディベートやプレゼンテーション	6 (38%)	8 (50%)	2 (13%)	0 (0%)	0 (0%)	16 (100%)
Q8 実学を学ぶプログラム（インターンシップなど）	0 (0%)	2 (13%)	8 (50%)	6 (38%)	0 (0%)	16 (100%)
Q9 実践的な外国語学修	0 (0%)	4 (25%)	5 (31%)	7 (44%)	0 (0%)	16 (100%)
Q10 知識や情報を集め自分の考えを導き出す訓練	6 (38%)	6 (38%)	4 (25%)	0 (0%)	0 (0%)	16 (100%)
Q11 チームを組んで特定の課題に取り組む経験	2 (13%)	6 (38%)	6 (38%)	2 (13%)	0 (0%)	16 (100%)
Q12 職業観醸成プログラム	0 (0%)	4 (25%)	5 (31%)	7 (44%)	0 (0%)	16 (100%)

Q13-Q20：授業を今振り返って、それらは必要だと思いますか。

	とても必要	ある程度必要	あまり必要ない	必要ない	未記入	計
Q13 専門的知識を身につける	11 (69%)	4 (25%)	1 (6%)	0 (0%)	0 (0%)	16 (100%)
Q14 幅広い知識を身につける	8 (50%)	6 (38%)	0 (0%)	2 (13%)	0 (0%)	16 (100%)
Q15 ディベートやプレゼンテーション	7 (44%)	8 (50%)	1 (6%)	0 (0%)	0 (0%)	16 (100%)
Q16 実学を学ぶプログラム（インターンシップなど）	2 (13%)	10 (63%)	2 (13%)	2 (13%)	0 (0%)	16 (100%)
Q17 実践的な外国語学修	6 (38%)	8 (50%)	2 (13%)	0 (0%)	0 (0%)	16 (100%)
Q18 知識や情報を集め自分の考えを導き出す訓練	9 (56%)	7 (44%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	16 (100%)
Q19 チームを組んで特定の課題に取り組む経験	6 (38%)	6 (38%)	3 (19%)	1 (6%)	0 (0%)	16 (100%)
Q20 職業観醸成プログラム	1 (6%)	8 (50%)	3 (19%)	4 (25%)	0 (0%)	16 (100%)

Ⅱ. 福島大学大学院での教育について伺います。

Q21：全体的に見て、自分の受けた大学院の授業科目において、達成すべき目標や身につけるべき力は明確だったと思いますか。

非常に明確だった	1 (6%)
だいたい明確だった	9 (56%)
あまり明確でなかった	6 (38%)
全く明確でない	0 (0%)
未記入	0 (0%)
計	16 (100%)

Q22：大学院の教育課程(カリキュラム)は、自分の目指す学問分野や職業分野の能力を獲得するうえで、体系的に編成されていたと思いますか。

強くそう思う	2 (13%)
少しそう思う	8 (50%)
あまりそう思わない	5 (31%)
全くそう思わない	1 (6%)
未記入	0 (0%)
計	16 (100%)

Q23：講義系の科目(知識や理論の獲得を目指すもの)と演習・実習などの科目(実用的・実践的な力の獲得を目指すもの)の比率についてどのように感じましたか。

講義系の科目が多すぎる	5 (31%)
演習・実習などの科目が多すぎる	2 (13%)
ちょうどよい	8 (50%)
その他	1 (6%)
未記入	0 (0%)
計	16 (100%)

※その他内訳

どの分野を専攻しているかで変わってくる 1

Q24：大学院の科目を履修するうえで、履修アドバイスやガイダンスについてどのように感じましたか。

十分に行われたし、必要だと思う	5 (31%)
十分に行われなかったが、必要だと思う	7 (44%)
行われたが、あまり必要だと思わない	0 (0%)
行われなかったし、必要だと思わない	4 (25%)
未記入	0 (0%)
計	16 (100%)

Q25：大学院での研究を計画的に進めていくうえで、研究指導は十分に行われたと思いますか。

強くそう思う	10 (63%)
少しそう思う	4 (25%)
あまりそう思わない	1 (6%)
全くそう思わない	1 (6%)
未記入	0 (0%)
計	16 (100%)

Q26：大学院での学修計画を立てるのにシラバスを活用しましたか。

大いに活用した	2 (13%)
少し活用した	7 (44%)
あまり活用しなかった	3 (19%)
全く活用しなかった	4 (25%)
未記入	0 (0%)
計	16 (100%)

Q27：図書館や研究室、実験器具の使用など、自分たちが自主的に学修を進めるための環境が十分整っていたと思いますか。

強くそう思う	7 (44%)
少しそう思う	6 (38%)
あまりそう思わない	3 (19%)
全くそう思わない	0 (0%)
未記入	0 (0%)
計	16 (100%)

Q28：学修指導や研究指導など、自分たちが自主的に学修を進めるために、教員は十分な配慮をしていたと思いますか。

強くそう思う	8 (50%)
少しそう思う	7 (44%)
あまりそう思わない	0 (0%)
全くそう思わない	1 (6%)
未記入	0 (0%)
計	16 (100%)

Q29：自分の受講した科目において成績評価の方法や手順ははっきりと示されていたと思いますか。

強くそう思う	6 (38%)
少しそう思う	5 (31%)
あまりそう思わない	5 (31%)
全くそう思わない	0 (0%)
未記入	0 (0%)
計	16 (100%)

Q30：自分の受講した科目において成績評価は公正だったと思いますか。

強くそう思う	9 (56%)
少しそう思う	5 (31%)
あまりそう思わない	2 (13%)
全くそう思わない	0 (0%)
未記入	0 (0%)
計	16 (100%)

Q31：福島大学大学院での学修や研究を通じて自分自身が身につけた学力や能力についてどのように感じていますか。

非常に満足している	6 (38%)
だいたい満足している	6 (38%)
あまり満足していない	3 (19%)
全く満足していない	0 (0%)
未記入	1 (6%)
計	16 (100%)

Ⅲ. あなたの現在のお仕事について伺います。

現在お仕事をされていない方は、最後に就かれていたお仕事についてご回答ください。

Q32：就職した年を西暦でお答えください。

就職	2016	1 (6%)
	2017	5 (31%)
	2018	5 (31%)
	2019	4 (25%)
	未記入	1 (6%)
	計	16 (100%)

Q33/Q34：現在のお仕事の業種/職種について当てはまるものを選択してください。

業種	1 農林水産業	0 (0%)
	2 鉱業	0 (0%)
	3 建設業	1 (6%)
	4 製造業	8 (50%)
	5 電気・ガス・熱供給・水道業	0 (0%)
	6 情報通信業	1 (6%)
	7 運輸業	1 (6%)
	8 卸売・小売業	0 (0%)
	9 金融・保険業	0 (0%)
	10 不動産業	0 (0%)
	11 飲食店、宿泊業	0 (0%)
	12 医療、福祉	0 (0%)
	13 教育、学習支援業	2 (13%)
	14 複合サービス事業	0 (0%)
	15 他に分類されないサービス業	0 (0%)
	16 他に分類されない公務	1 (6%)
	17 その他	1 (6%)
	未記入	1 (6%)
	計	16 (100%)

職種	1 一般事務	0 (0%)
	2 営業・販売職	1 (6%)
	3 サービス職	0 (0%)
	4 技術職	8 (50%)
	5 専門職	6 (38%)
	6 その他	0 (0%)
	未記入	1 (6%)
	計	16 (100%)

※その他内訳

化学系メーカー

1

Q35：勤務先の規模(常用雇用者数)について当てはまるものを選択してください。

規模	1 29 名以下	0 (0%)
	2 30-99 名	1 (6%)
	3 100-499 名	7 (44%)
	4 500-999 名	0 (0%)
	5 1,000-4,999 名	3 (19%)
	6 5,000-9,999 名	0 (0%)
	7 10,000 名以上	4 (25%)
	未記入	1 (6%)
	計	16 (100%)

Q36-Q40：あなたが現在の職場に採用された際に評価された点として、以下の項目はどの程度重要だったと思いますか。

	とても重要	ある程度重要	あまり重要ではない	重要ではない	未記入	計
Q36 修了した大学	1 (6%)	5 (31%)	2 (13%)	8 (50%)	0 (0%)	16 (100%)
Q37 大学院修了時の専門分野	3 (19%)	7 (44%)	2 (13%)	4 (25%)	0 (0%)	16 (100%)
Q38 成績（研究成果含む）	1 (6%)	6 (38%)	4 (25%)	5 (31%)	0 (0%)	16 (100%)
Q39 サークル等での実績	0 (0%)	2 (13%)	9 (56%)	5 (31%)	0 (0%)	16 (100%)
Q40 人的なネットワーク	2 (13%)	4 (25%)	4 (25%)	6 (38%)	0 (0%)	16 (100%)

Q41-Q43：次の社会人基礎力について、現在の職場において働く上で重要であると考えられる能力、自分の優れた能力、自分に不足している能力についてお伺いします。

該当する項目全てを選択してください（複数選択可）。

	Q41 働く上で重要な能力	Q42 自分の優れた能力	Q43 自分に不足している能力
1 物事に進んで取組む力(主体性)	14 (88%)	7 (44%)	3 (19%)
2 他人に働きかけ巻き込む力(働きかけ力)	12 (75%)	5 (31%)	7 (44%)
3 目的を設定し確実に行動する力(実行力)	13 (81%)	10 (63%)	3 (19%)
4 現状を分析し課題を明らかにする力(課題発見力)	13 (81%)	7 (44%)	3 (19%)
5 課題解決の過程を明らかにし準備する力(計画力)	12 (75%)	4 (25%)	6 (38%)
6 新しい価値を生み出す力(創造力)	9 (56%)	3 (19%)	10 (63%)
7 自分の意見を分かりやすく伝える力(発信力)	13 (81%)	5 (31%)	7 (44%)
8 相手の意見を丁寧に聴く力(傾聴力)	11 (69%)	7 (44%)	3 (19%)
9 意見の違いや立場の違いを理解する力(柔軟性)	10 (63%)	7 (44%)	2 (13%)
10 自分と周囲のとの関係性を理解する力(状況把握力)	13 (81%)	7 (44%)	3 (19%)
11 社会のルールや人との約束を守る力(規律性)	11 (69%)	7 (44%)	4 (25%)
12 ストレスに対応する力(ストレスコントロール力)	11 (69%)	7 (44%)	3 (19%)
未記入	1 (6%)	3 (19%)	3 (19%)

注：ここでのパーセントは全体（16）を分母とした場合の割合。

Q44-Q53：現在のお仕事において、下記の大学院時代の経験はどの程度重要だと思いますか。

	とても重要	ある程度重要	あまり重要ではない	重要ではない	未記入	計
Q44 大学院進学時に獲得した基礎学力	4 (25%)	8 (50%)	2 (13%)	2 (13%)	0 (0%)	16 (100%)
Q45 学問を修得することによる考え方の訓練	6 (38%)	7 (44%)	2 (13%)	1 (6%)	0 (0%)	16 (100%)
Q46 専門分野の修得による考え方の訓練	3 (19%)	11 (69%)	1 (6%)	1 (6%)	0 (0%)	16 (100%)
Q47 未知のことに目をひらかせられる経験	9 (56%)	5 (31%)	1 (6%)	1 (6%)	0 (0%)	16 (100%)
Q48 先端の学問に触れることによる知的好奇心	7 (44%)	7 (44%)	1 (6%)	1 (6%)	0 (0%)	16 (100%)
Q49 修士論文・修士研究等の経験	7 (44%)	5 (31%)	3 (19%)	1 (6%)	0 (0%)	16 (100%)
Q50 アルバイトの経験	4 (25%)	6 (38%)	2 (13%)	4 (25%)	0 (0%)	16 (100%)
Q51 研究室・ゼミでの経験	7 (44%)	6 (38%)	2 (13%)	1 (6%)	0 (0%)	16 (100%)
Q52 教員との交流	9 (56%)	4 (25%)	2 (13%)	1 (6%)	0 (0%)	16 (100%)
Q53 友人・先輩との交流	10 (63%)	4 (25%)	2 (13%)	0 (0%)	0 (0%)	16 (100%)

Q54-Q74：あなたは以下の自分自身の能力をどのように評価しますか。

	とても ある	やや ある	あまり ない	まった くない	未記 入	計
Q54 幅広い教養	2 (13%)	7 (44%)	7 (44%)	0 (0%)	0 (0%)	16 (100%)
Q55 多角的・総合的な思考	2 (13%)	10 (63%)	4 (25%)	0 (0%)	0 (0%)	16 (100%)
Q56 学問的思考の基礎	5 (31%)	7 (44%)	3 (19%)	1 (6%)	0 (0%)	16 (100%)
Q57 科学的・数量的に物事を見る力	4 (25%)	9 (56%)	3 (19%)	0 (0%)	0 (0%)	16 (100%)
Q58 外国語の能力	0 (0%)	2 (13%)	9 (56%)	5 (31%)	0 (0%)	16 (100%)
Q59 異文化の理解	0 (0%)	6 (38%)	8 (50%)	2 (13%)	0 (0%)	16 (100%)
Q60 健康や運動に関する科学的認識	2 (13%)	6 (38%)	7 (44%)	1 (6%)	0 (0%)	16 (100%)
Q61 インターネットで情報を適切に集める力	7 (44%)	6 (38%)	3 (19%)	0 (0%)	0 (0%)	16 (100%)
Q62 自ら学びをデザインする主体性	2 (13%)	3 (19%)	11 (69%)	0 (0%)	0 (0%)	16 (100%)
Q63 自ら学修する習慣	2 (13%)	11 (69%)	3 (19%)	0 (0%)	0 (0%)	16 (100%)
Q64 コミュニケーション力	3 (19%)	9 (56%)	4 (25%)	0 (0%)	0 (0%)	16 (100%)
Q65 自ら人間関係をつくる力	1 (6%)	8 (50%)	5 (31%)	2 (13%)	0 (0%)	16 (100%)
Q66 自らを律して行動できる力	4 (25%)	6 (38%)	5 (31%)	1 (6%)	0 (0%)	16 (100%)
Q67 必要な場合のリーダーシップの発揮	2 (13%)	7 (44%)	6 (38%)	1 (6%)	0 (0%)	16 (100%)
Q68 プレゼンテーション力	1 (6%)	14 (88%)	1 (6%)	0 (0%)	0 (0%)	16 (100%)
Q69 課題探究能力	2 (13%)	12 (75%)	2 (13%)	0 (0%)	0 (0%)	16 (100%)
Q70 キャリアデザイン力	2 (13%)	4 (25%)	7 (44%)	3 (19%)	0 (0%)	16 (100%)
Q71 複数の活動を調整する能力	0 (0%)	10 (63%)	5 (31%)	1 (6%)	0 (0%)	16 (100%)
Q72 大学で学んだ専門知識	3 (19%)	10 (63%)	2 (13%)	1 (6%)	0 (0%)	16 (100%)
Q73 グローバルな課題への関心	3 (19%)	8 (50%)	5 (31%)	0 (0%)	0 (0%)	16 (100%)
Q74 地域的な課題への関心	3 (19%)	9 (56%)	3 (19%)	1 (6%)	0 (0%)	16 (100%)

Q75-Q76：現在の職場、職務はあなたが就職活動時から希望していたものですか。また、現在の生活や状況について就職活動時から予想していましたか。

	全く その通り	やや その通り	やや 違う	全く 違う	未記 入	計
Q75 現在の職場・職務を希望していたか	5 (31%)	5 (31%)	1 (6%)	5 (31%)	0 (0%)	16 (100%)
Q76 現在の生活や状況を予想していたか	3 (19%)	4 (25%)	1 (6%)	8 (50%)	0 (0%)	16 (100%)

Ⅳ. 1：全ての研究科の修了生にお聞きします。

Q77-Q83：福島大学大学院での学習・研究を通して下記の項目内容がどの程度身についたと思いますか。

【全ての研究科の修了全員】	身に ついた	ある程度 身についた	あまり 身についていない	身に ついていない	未記入	計
Q77 専門分野に対する興味や関心、あるいは問題意識	7 (44%)	7 (44%)	2 (13%)	0 (0%)	0 (0%)	16 (100%)
Q78 専門分野に関する諸科学の知識や技能	5 (31%)	8 (50%)	3 (19%)	0 (0%)	0 (0%)	16 (100%)
Q79 大学院での学習・研究を社会での実践に生かす力	4 (25%)	6 (38%)	5 (31%)	1 (6%)	0 (0%)	16 (100%)
Q80 問題をさまざまな角度からとらえる力	4 (25%)	12 (75%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	16 (100%)
Q81 研究テーマに関連する諸科学についての知見	5 (31%)	8 (50%)	3 (19%)	0 (0%)	0 (0%)	16 (100%)
Q82 研究テーマに関連する研究手法についての理解	7 (44%)	8 (50%)	1 (6%)	0 (0%)	0 (0%)	16 (100%)
Q83 研究テーマに見合った研究手法を適宜採用する力	5 (31%)	9 (56%)	2 (13%)	0 (0%)	0 (0%)	16 (100%)

Q84：所属していた研究科

専攻	共生システム理工学研究科（博士前期課程）	13 (81%)
	共生システム理工学研究科（博士後期課程）	3 (19%)
	無記入	0 (0%)
	計	16 (100%)

※Q85-98 は、他研究科向けの質問項目である。

IV. 2: 各研究科の設問にお答えください。

Q99-Q104：あなたは以下の項目（研究科のディプロマポリシー）について、所属していた研究科で学んだことを通じてどの程度身につけることができましたか。

【共生システム理工学研究科の修了生】		身についた	ある程度身についた	あまり身につけていない	身につけていない	未記入	計
博士前期課程	Q99 共生のシステム科学という新たな枠組みの中で、従来の科学技術の枠組みにとらわれず、多角的な視点から事象をとらえようとする姿勢	1 (8%)	9 (69%)	2 (15%)	1 (8%)	0 (0%)	13 (100%)
	Q100 課題解決に必要な、各分野における専門的な知識・技術・技能	4 (31%)	5 (38%)	3 (23%)	1 (8%)	0 (0%)	13 (100%)
	Q101 専門的な知識・技術・技能を具体的な課題解決に実践的に活かす能力	3 (23%)	8 (62%)	2 (15%)	0 (0%)	0 (0%)	13 (100%)
博士後期課程	Q102 自然科学に関する高度な専門知識	2 (67%)	1 (33%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	3 (100%)
	Q103 人間科学・社会科学的な素養	0 (0%)	1 (33%)	2 (67%)	0 (0%)	0 (0%)	3 (100%)
	Q104 世紀の課題解決に向け、自立して研究・開発を行うことができる能力	0 (0%)	2 (67%)	1 (33%)	0 (0%)	0 (0%)	3 (100%)

注：本表のパーセンテージは Q84 の各研究科卒業生数を分母とした場合の割合。（博士前期課程：13，博士後期課程：3）

※Q95-104 は、他研究科向けの質問項目である。

V. あなた自身について伺います。

Q105：あなたの性別をお答えください。

性別	男性	14 (88%)
	女性	2 (13%)
	未記入	0 (0%)
	計	16 (100%)

Q106：あなたの現在の年齢（満年齢）をお答えください。

年齢	24	1 (6%)
	25	3 (19%)
	26	3 (19%)
	27	6 (38%)
	29	2 (13%)
	31	1 (6%)
	未記入	0 (0%)
	計	16 (100%)

Q107：あなたの現在の就業状況についてお答えください。

就業 状況	1 常時雇用の社員・職員	14 (88%)
	2 パート・アルバイト・臨時の社員・職員	1 (6%)
	3 自営業主・家族従業者	0 (0%)
	4 無職	0 (0%)
	5 学生	0 (0%)
	6 その他	1 (6%)
	未記入	0 (0%)
	計	16 (100%)

※その他内訳

公務員

1

第3章 就職先に対する大学・大学院教育の成果に関するアンケート

第1節 概要と分析

本章は、「就職先（企業等・公共機関）に対する大学・大学院教育の成果に関するアンケート」の集計結果をまとめたものである。第1節では、企業等・公共機関の調査票を総合した集計結果について紹介する。具体的には、属性（所在地・従業員数・業種・採用状況）、大学時代の経験の重要性、福島大学卒業生の能力水準について概括する。なお第2節では企業等・公共機関それぞれの回答をまとめた。企業等・公共機関の詳細回答については、本章第2節をご参照いただきたい。

◎属性

「就職先に対する大学・大学院教育の成果に関するアンケート」回答者の属性は次の通りである。まず回答総数は132件で、このうち企業等が98件（74%）、公共機関が34件（26%）である（表3-1）。また企業等の回答者については、本社の所在地、従業員数、業種についても尋ねている。本社の所在地については、高い順に、福島県77件（79%）、宮城県10件（10%）、東京都4件（4%）と続く（その他の合計で6件、未記入1件、本章第2節参照）。従業員数（正社員のみ）については、「29名以下」8件（8%）、「30-99名」17件（17%）、「100-499名以下」51件（52%）、「500-999名以下」6件（6%）、「1000-4,999名以下」12件（12%）、「5,000-9,999名以下」0件（0%）、「10,000名以上」1件（1%）、未記入3件（3%）である（本章第2節参照）。業種について、高い順に、「卸売・小売業」22件（22%）、「製造業」18件（18%）、「医療・福祉」9件（9%）、「建設業」8件（8%）、「情報通信業」5件（5%）、「金融・保険業」4件（4%）、「不動産業」4件（4%）、「伝記・ガス・熱供給・水道業」2件（2%）、「農林水産業」1件（1%）、「飲食店、宿泊業」1件（1%）、「その他」1件（1%）、未記入23件（23%）である（本章第2節参照）。

企業等、公共機関に共通の設問として、過去5年間の大卒者および大学院修了者の採用者数を尋ねている。また、過去5年間で採用者数の多い上位3校の大学名についても、企業等、公共機関に共通して尋ねている。これらの結果については、本章第2節をご参照いただきたい。

表 3-1 調査対象

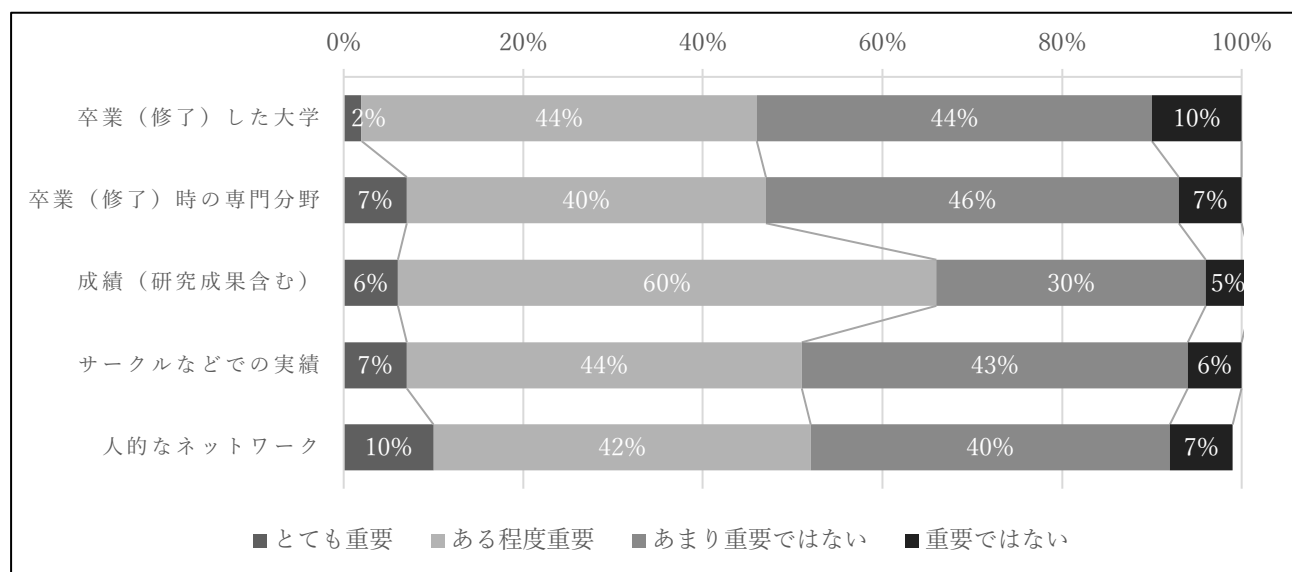
調査対象	回答者
企業	98(74%)
公共機関	34(26%)
計	132(100%)

◎就業後における大学時代の経験の重要性

就職先調査のうち、企業等および公共機関を対象とした質問紙では、図 3-1 に示す「卒業（修了）した大学」「卒業（修了）時の専門分野」「成績（研究成果含む）」「サークル等での実績」「人的なネットワーク」を大卒者の選考時にどの程度重視するかを尋ねている。選択肢は、「とても重要」「ある程度重要」「あまり重要ではない」「重要ではない」の 4 選択である。「とても重要」「ある程度重要」の合計割合が高い順にみると、「成績（研究成果含む）」66%、「人的なネットワーク」52%、「サークルなどでの実績」51%、「卒業（修了）時の専門分野」47%、「卒業（修了）した大学」46%である。なお、卒業生調査における同様の設問（第 1 章参照）と比べると、卒業生が 5 項目すべてにおいて重要性を比較的低く捉えるのに対して（おおむね 5 割以下）、企業等・公共機関では成績を比較的高く評価しており、両者のギャップが見られた。

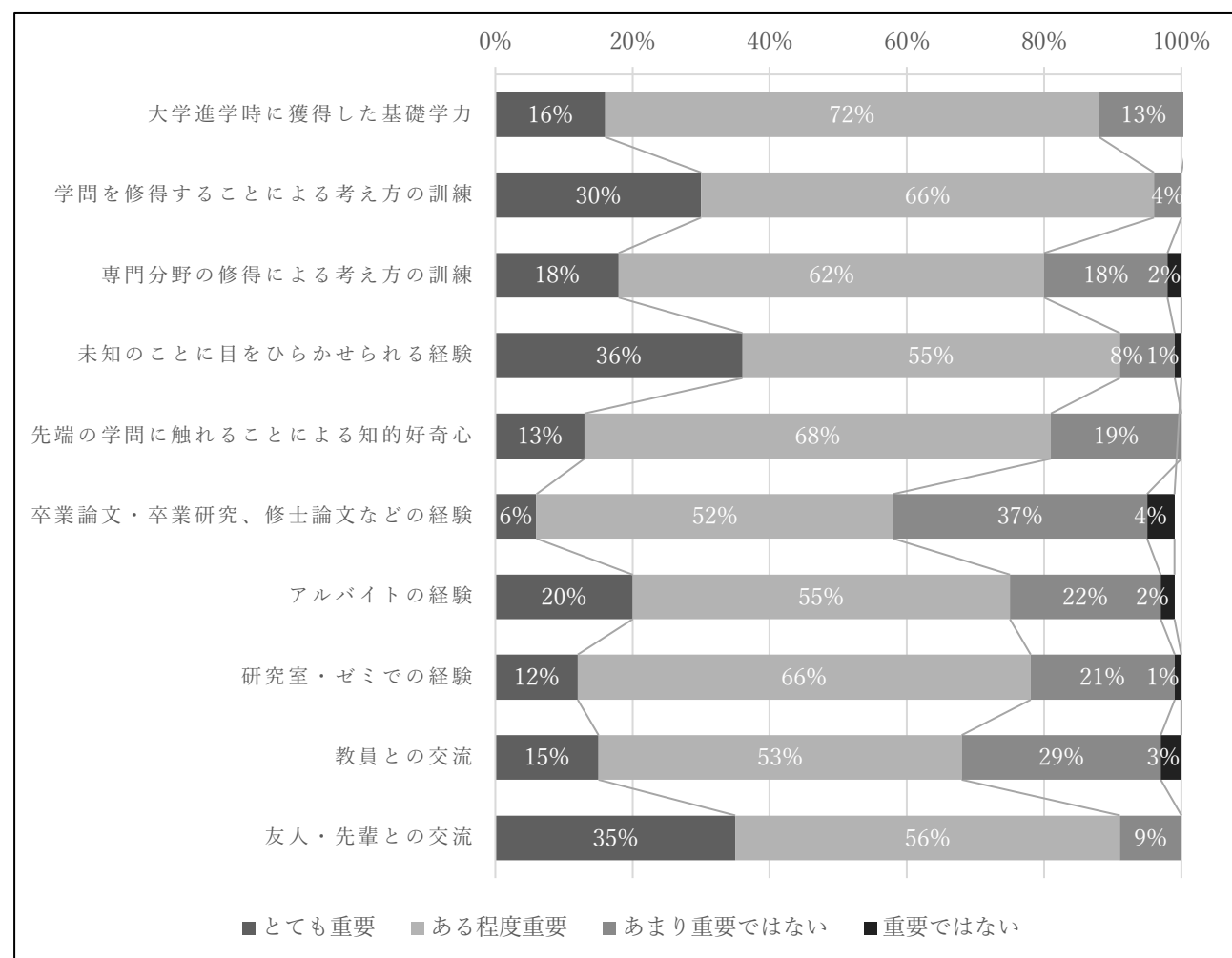
また就職先調査では、図 3-2 に示す大学時代の経験（10 項目）が、どの程度、働く上で重要かについて尋ねている。選択肢は、前問と同様に、「とても重要」「ある程度重要」「あまり重要ではない」「重要ではない」の 4 択である。「とても重要」「ある程度重要」の合計割合が高い順に、「学問を修得することによる考え方の訓練」96%、「未知のことに目をひらかせられる経験」91%、「友人・先輩との交流」91%、「大学進学時に獲得した基礎学力」88%、「先端の学問に触れることによる知的好奇心」81%、「専門分野の修得による考え方の訓練」80%、「研究室・ゼミでの経験」78%、「アルバイトの経験」75%、「教員との交流」68%、「卒業論文・卒業研究、修士論文などの経験」58%である。なお、卒業生調査の同様の設問（第 1 章参照）と比較すると、卒業生がアルバイトの経験（85%）、卒業論文・卒業研究などの経験（73%）を重要視しているが、企業はこれらの経験を重視していない。

図 3-1 採用選考時に重視する点



※上図では「未記入」を除いた割合を示している。

図 3-2 大学・大学院時代の経験の重要性



※上図では「未記入」を除いた割合を示している。

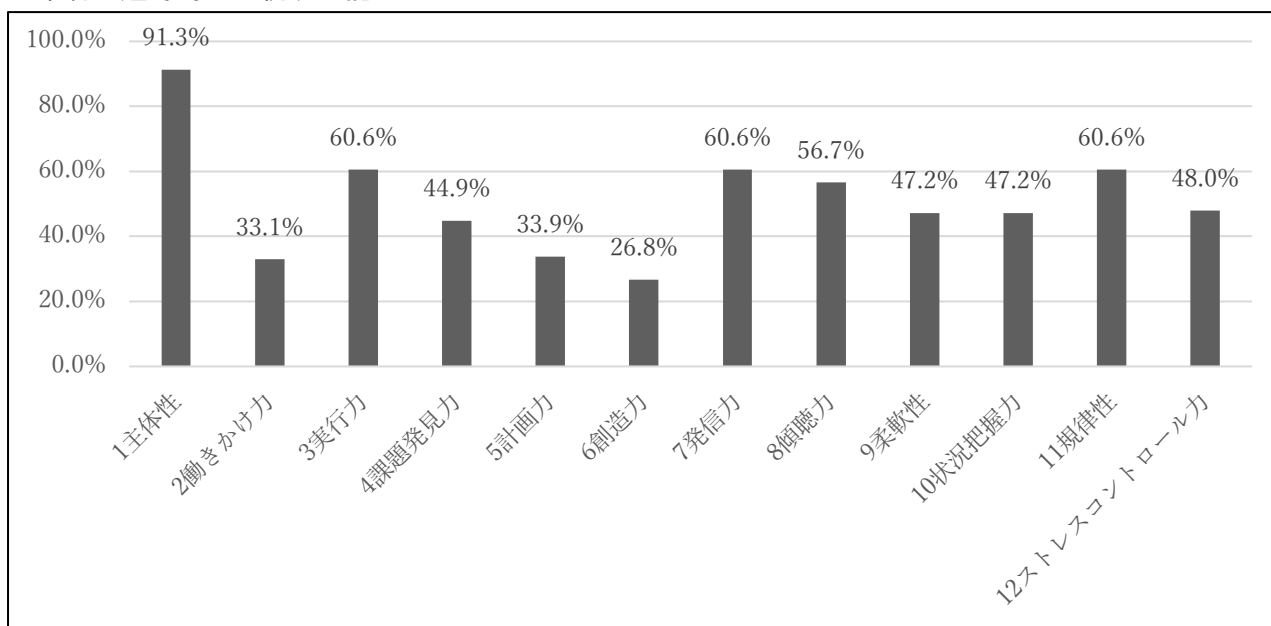
◎各種能力の修得状況

図 3-3 は、社会人基礎力についての集計結果を示すものである。就職先調査では、大卒者の選考時に重視する能力、福島大学の卒業生・修了生に優れた能力、不足している能力のそれぞれについて、複数選択で尋ねている。以下は、それぞれ選択肢の割合（分母は回答者総数）が高い順に 3 項目を見ていこう。まず大卒者の選考時に重視する能力については、「主体性」91%、「実行力」、「発信力」および「規律性」が同率で 61%である。次に、福島大学の卒業生・修了生に優れた能力は、「規律性」59%、「傾聴力」56%、「主体性」42%である。一方、福島大生に不足している能力は「働きかけ力」38%、「主体性」36%、「ストレスコントロール力」32%である。卒業生調査を比較すると、就職先調査では、福島大生に不足している能力の選択率が低い。その原因は、他大学との卒業生との差（不足）を強く感じていないためであると考えられる。不足の能力については、就職先が「主体性」および「ストレスコントロール力」を選択する傾向が、卒業生調査の結果と異なる（卒業生調査では、「創造力」「発信力」であった。第 1 章参照）。ただし、優れた能力としては「規律性」および「傾聴力」を選択する傾向は、就職先調査と卒業生調査に共通する評価である。

また社会人基礎力のほか、図 3-4 に示す能力についての設問も、就職先調査に含まれている。就職先調査では、採用した大卒者の働く上での能力について「とてもある」「ややある」「あまりない」「まったくない」の 4 択で尋ねている。「とてもある」「ややある」の合計割合が高い上位の 3 項目は、「多角的・総合的な思考」、「コミュニケーション力」、「自ら人間関係をつくる力」、「必要な場合のリーダーシップの発揮」が同率で 100%で、「自ら学修する習慣」99%で、「自らを律して行動できる力」97%である。一方、「とてもある」「ややある」の合計割合が高い下位 3 項目は、「外国語の能力」40%、「健康や運動に関する科学的認識」および「異文化の理解」が同率で 52%であった。卒業生調査を比較すると、就職先が「多角的・総合的な思考」、「コミュニケーション力」、「自ら人間関係をつくる力」、「必要な場合のリーダーシップの発揮」、「自ら学修する習慣」を非常に高く評価しているが、卒業生の調査結果と異なる。

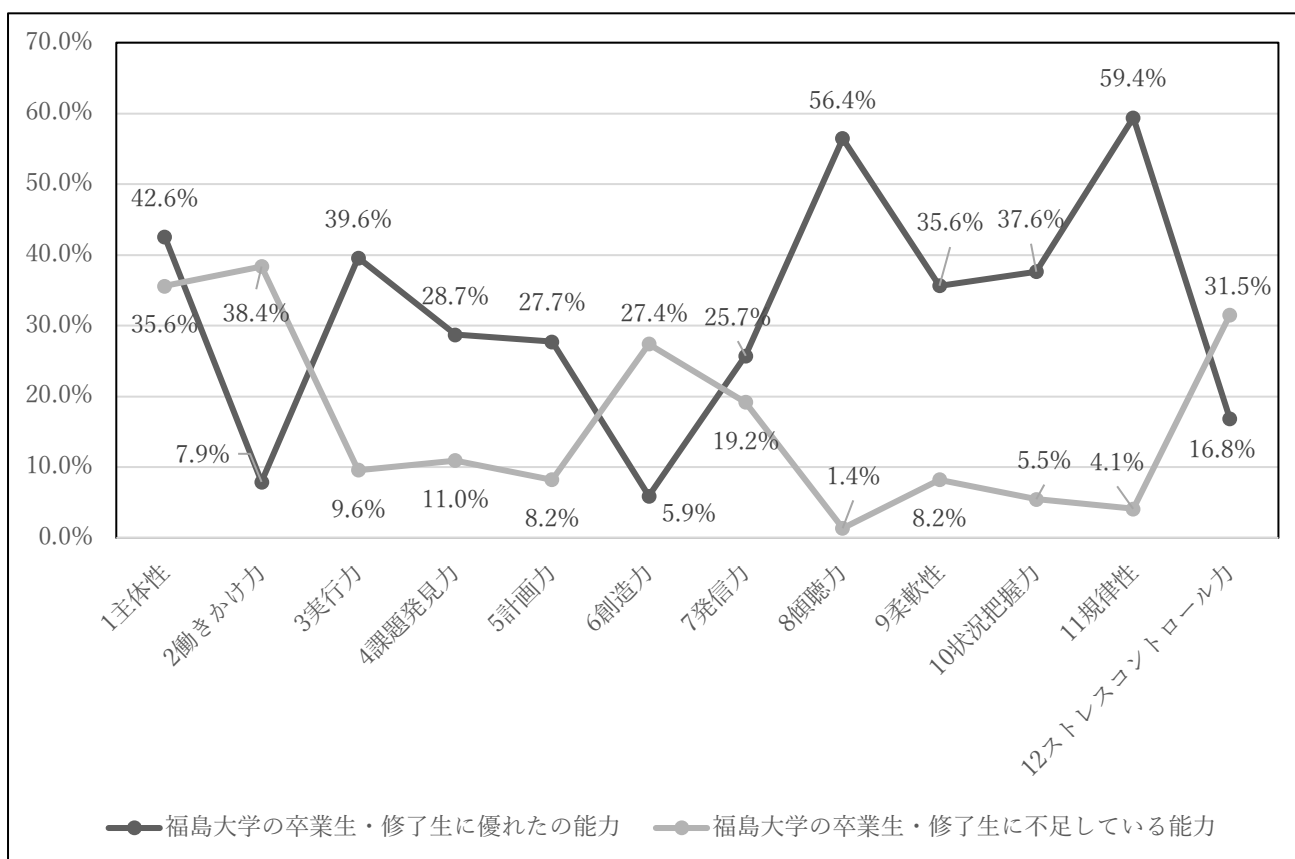
図 3-3 社会人基礎力について

大卒者の選考時に重視する能力



※上図の分母は回答者総数（132 名）である。

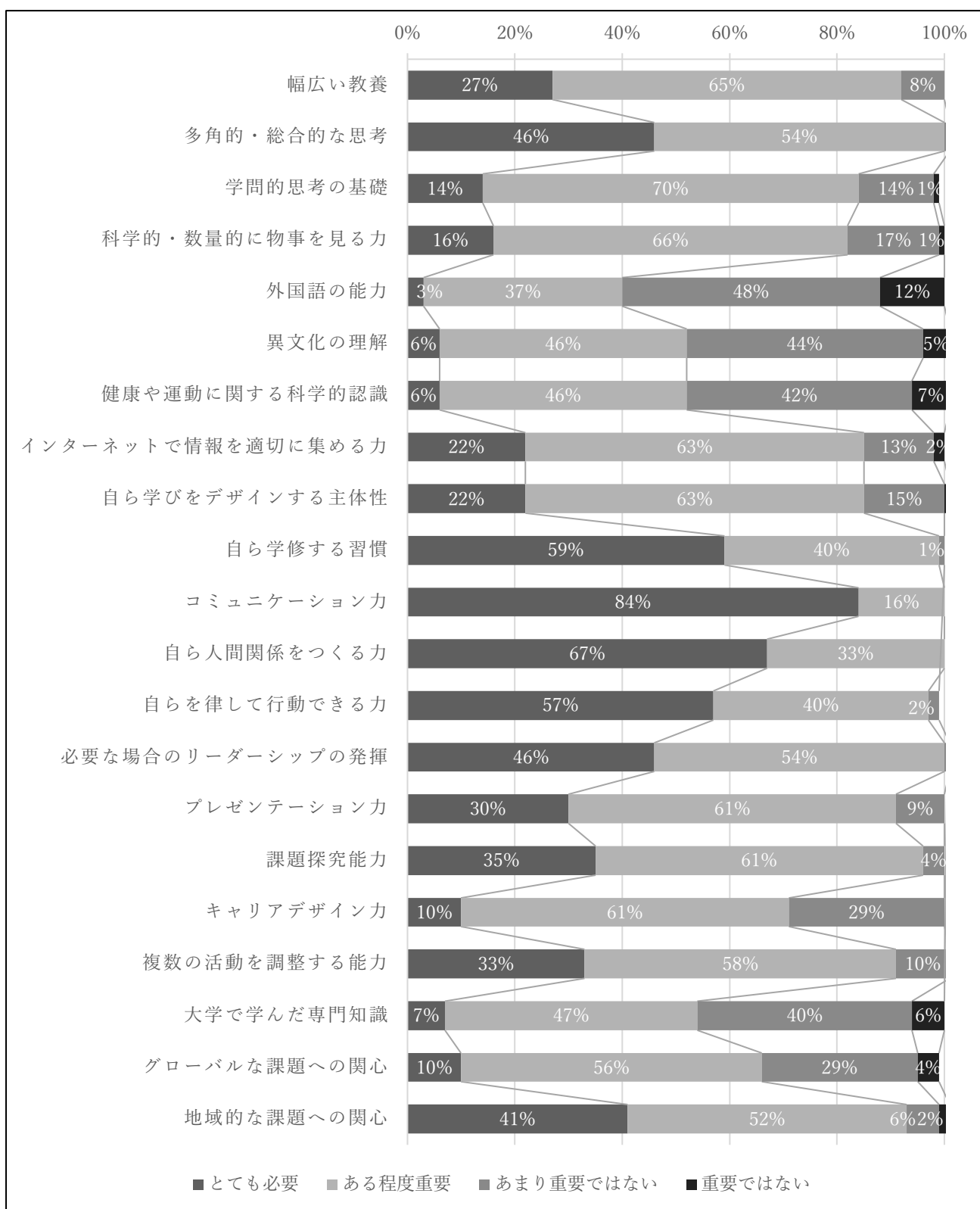
福島大学の卒業生・修了生に優れた能力，不足している能力



※上図の分母は回答者総数（132 名）である。

図 3-4 採用した大卒者の働く上での能力

貴社(貴事業所)・貴機関が採用した大卒者の働く上での能力について、以下の項目は、貴社(貴事業所)・貴機関で働く上で重要だと思いますか。



※上図では「未記入」を除いた割合を示している。

第2節 単純集計

第1項 企業等アンケート

I. 貴社（貴事業所）の概要について伺います。

Q1： 貴社（本所）の所在地について、都道府県名を記入してください。

本社 所在地	北海道	1 (1%)
	宮城県	10 (10%)
	福島県	77 (79%)
	東京都	4 (4%)
	栃木県	1 (1%)
	大阪府	2 (2%)
	広島県	2 (2%)
	未記入	1 (1%)
	計	98 (100%)

Q2： 貴社（貴事業所）の従業員数（正社員のみ）について該当するものを選択してください。

規模	1 29 名以下	8 (8%)
	2 30-99 名	17 (17%)
	3 100-499 名	51 (52%)
	4 500-999 名	6 (6%)
	5 1,000-4,999 名	12 (12%)
	6 5,000-9,999 名	0 (0%)
	7 10,000 名以上	1 (1%)
	未記入	3 (3%)
	計	98 (100%)

Q3： 貴社（貴事業所）の業種について該当するものを選択してください。

業種	1 農林水産業	1 (1%)
	2 鉱業	0 (0%)
	3 建設業	8 (8%)
	4 製造業	18 (18%)
	5 電気・ガス・熱供給・水道業	2 (2%)
	6 情報通信業	5 (5%)
	7 運輸業	0 (0%)
	8 卸売・小売業	22 (22%)
	9 金融・保険業	4 (4%)
	10 不動産業	4 (4%)
	11 飲食店、宿泊業	1 (1%)
	12 医療、福祉	9 (9%)
	13 教育、学習支援業	0 (0%)
	14 複合サービス事業	0 (0%)
	15 他に分類されないサービス業	0 (0%)
	16 他に分類されない公務	0 (0%)
	17 その他	1 (1%)
	未記入	23 (23%)
	計	98 (100%)

Ⅱ. 貴社（貴事業所）の大学卒業者・大学院卒業者の採用状況についてお伺いいたします。

Q4-Q7:過去5年間(2015～2019年計)の貴社(貴事業所)の「大学新卒者」の採用者数について、その人数をご記入ください。なお、該当者がいない場合「0」と記入してください。また、不明の部分については、空欄のまま次の設問にお進みください。

【学部】	過去5年間(2015～2019年計)		うち、2019年4月入社	
	Q4 大卒全体の採用者数	Q5 うち福島大学からの採用者数	Q6 大卒全体の採用者数	Q7 うち福島大学からの採用者数
0人	3(3%)	6(6%)	10(10%)	43(44%)
1人	1(1%)	23(23%)	14(14%)	35(36%)
2～5人	12(12%)	56(57%)	37(38%)	20(20%)
6～10人	20(20%)	9(9%)	15(15%)	0(0%)
11～20人	18(18%)	2(2%)	11(11%)	0(0%)
21～40人	22(22%)	0(0%)	3(3%)	0(0%)
41～60人	3(3%)	0(0%)	3(3%)	0(0%)
61～80人	3(3%)	0(0%)	1(1%)	0(0%)
81～100人	5(5%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
101～200人	3(3%)	0(0%)	2(2%)	0(0%)
201～300人	1(1%)	0(0%)	1(1%)	0(0%)
301～400人	2(2%)	0(0%)	1(1%)	0(0%)
401～500人	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
501～1000人	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
1001人以上	2(2%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
未記入	3(3%)	2(2%)	0(0%)	0(0%)
計	98(100%)	98(100%)	98(100%)	98(100%)

Q8-Q11:過去5年間(2015～2019年計)の貴社(貴事業所)の「大学院新卒者」の採用者数について、その人数をご記入ください。なお、該当者がいない場合「0」と記入してください。また、不明の部分については、空欄のまま次の設問にお進みください。

【大学院】	過去5年間(2015～2019年計)		うち、2019年4月入社	
	Q8 大卒全体の採用者数	Q9 うち福島大学からの採用者数	Q10 大卒全体の採用者数	Q11 うち福島大学からの採用者数
0人	58(59%)	90(92%)	86(88%)	91(93%)
1人	19(19%)	2(2%)	3(3%)	1(1%)
2～5人	10(10%)	2(2%)	2(2%)	1(1%)
6～10人	3(3%)	0(0%)	2(2%)	0(0%)
11～20人	2(2%)	0(0%)	1(1%)	0(0%)
21～40人	1(1%)	0(0%)	1(1%)	0(0%)
41～60人	1(1%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
61～80人	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
81～100人	1(1%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
101～200人	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
201～300人	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
301～400人	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
401～500人	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
501～1000人	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
1001人以上	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
未記入	3(3%)	4(4%)	3(3%)	5(5%)
計	98(100%)	98(100%)	98(100%)	98(100%)

Q12-Q14: 貴社（貴事業所）において、過去5年間で採用者数の多い上位3校の大学名をご記入ください。

1 位	
福島大学	29 (30%)
東北学院大学	21 (21%)
日本大学	15 (15%)
仙台大学	3 (3%)
東北福祉大学	2 (2%)
医療創生大学	2 (2%)
立教大学	1 (1%)
北海道情報大学	1 (1%)
法政大学	1 (1%)
福島県立医科大学	1 (1%)
福島学院大学	1 (1%)
早稲田大学	1 (1%)
神奈川大学	1 (1%)
新潟大学	1 (1%)
秋田大学	1 (1%)
国際医療福祉大学	1 (1%)
広島修道大学	1 (1%)
会津短期大学	1 (1%)
会津大学	1 (1%)
未記入	13 (13%)
計	98 (100%)

2 位	
福島大学	20 (20%)
東北福祉大学	6 (6%)
日本大学	6 (6%)
東北学院大学	5 (5%)
東日本国際大学	3 (3%)
宮城学院女子大学	3 (3%)
東北大学	2 (2%)
東北工業大学	2 (2%)
東北芸術工科大学	2 (2%)
新潟大学	2 (2%)
尚絅学院大学	2 (2%)
桜の聖母短期大学	2 (2%)
国際医療福祉大学	2 (2%)
明治大学	1 (1%)
北海学園大学	1 (1%)
法政大学	1 (1%)
福島大学、山形大学他	1 (1%)
福島工業高等専門学校	1 (1%)
福島県立医科大学	1 (1%)
福島学院短期大学	1 (1%)
白鷗大学	1 (1%)
東北学院大学、仙台大学、神奈川工科大学	1 (1%)
帝京大学	1 (1%)
仙台大学	1 (1%)
神奈川大学	1 (1%)
新潟大学	1 (1%)
山形大学	1 (1%)
弘前大学	1 (1%)
駒澤大学	1 (1%)
京都外国語大学	1 (1%)
岩手大学	1 (1%)
会津大学	1 (1%)
茨城キリスト教大学	1 (1%)
いわき明星大学	1 (1%)
7名はそれぞれ違う大学	1 (1%)
未記入	19 (19%)
計	98 (100%)

3 位	
福島大学	9 (9%)
日本大学	6 (6%)
山形大学	4 (4%)
東北福祉大学	3 (3%)
東北学院大学	3 (3%)
岩手大学	3 (3%)
東北芸術工科大学	2 (2%)
仙台大学	2 (2%)
新潟大学	2 (2%)
会津大学	2 (2%)
茨城大学	2 (2%)
立教大学	1 (1%)
明星大学	1 (1%)
北海道科学大学	1 (1%)
米沢短期大学	1 (1%)
文教大学	1 (1%)
白鷗大学	1 (1%)
日本大学、山形大学	1 (1%)
東北文化学園大学	1 (1%)
東北大学	1 (1%)
東北大学、岩手大学、茨城大学他	1 (1%)
東北芸術工科大学、東北福祉大学、福島大学	1 (1%)
東北学院大学他	1 (1%)
中央大学、明治大学	1 (1%)
神奈川工科大学	1 (1%)
新潟医療福祉大学	1 (1%)
城西大学	1 (1%)
上武大学	1 (1%)
尚絅学院大学	1 (1%)
秋田大学	1 (1%)
山形大学	1 (1%)
国士舘大学、東洋大学	1 (1%)
宮城大学	1 (1%)
宮城教育大学	1 (1%)
宮城学院女子大学	1 (1%)
いわき明星大学	1 (1%)
未記入	35 (36%)
計	98 (100%)

Q15-Q19：貴社（貴事業所）では、大卒者の選考時に以下の項目のようなことをどの程度重視していますか。

	とても重要	ある程度重要	あまり重要ではない	重要ではない	未記入	計
Q15 卒業（修了）した大学	3 (3%)	46 (47%)	41 (42%)	6 (6%)	2 (2%)	98 (100%)
Q16 卒業（修了）時の専門分野	7 (7%)	37 (38%)	46 (47%)	7 (7%)	1 (1%)	98 (100%)
Q17 成績（研究成果含む）	6 (6%)	59 (60%)	29 (30%)	3 (3%)	1 (1%)	98 (100%)
Q18 サークル等での実績	9 (9%)	42 (43%)	42 (43%)	4 (4%)	1 (1%)	98 (100%)
Q19 人的なネットワーク	11 (11%)	41 (42%)	39 (40%)	5 (5%)	2 (2%)	98 (100%)

Ⅲ．貴社（貴事業所）で採用した大卒者の働く上での能力についてお伺いいたします。

Q20-Q22：次の社会人基礎力について、貴社（貴事業所）が大卒者の選考時に重視するのはどの能力ですか。また、福島大学の卒業生・修了生について優れている、及び不足していると感じられるのはどの能力ですか。それぞれ当てはまる項目全てを選択してください（複数選択可）。

	Q20 選考時に重視する能力	Q21 福島大学生の優れた能力	Q22 福島大学生に不足している能力
1 物事に進んで取組む力(主体性)	87 (89%)	37 (38%)	23 (23%)
2 他人に働きかけ巻き込む力(働きかけ力)	29 (30%)	8 (8%)	26 (27%)
3 目的を設定し確実に行動する力(実行力)	56 (57%)	36 (37%)	7 (7%)
4 現状を分析し課題を明らかにする力(課題発見力)	39 (40%)	25 (26%)	8 (8%)
5 課題解決の過程を明らかにし準備する力(計画力)	28 (29%)	25 (26%)	5 (5%)
6 新しい価値を生み出す力(創造力)	22 (22%)	6 (6%)	17 (17%)
7 自分の意見を分かりやすく伝える力(発信力)	54 (55%)	24 (24%)	11 (11%)
8 相手の意見を丁寧に聴く力(傾聴力)	54 (55%)	48 (49%)	1 (1%)
9 意見の違いや立場の違いを理解する力(柔軟性)	39 (40%)	31 (32%)	5 (5%)
10 自分と周囲のとの関係性を理解する力(状況把握力)	42 (43%)	33 (34%)	3 (3%)
11 社会のルールや人との約束を守る力(規律性)	55 (56%)	52 (53%)	3 (3%)
12 ストレスに対応する力(ストレスコントロール力)	44 (45%)	14 (14%)	21 (21%)
未記入	0 (0%)	10 (10%)	34 (35%)

注：ここでのパーセントは全体（98）を分母とした場合の割合。

Q23-Q32：貴社（貴事業所）で働く上で以下に掲げた大学・大学院時代の経験はどの程度重要だと思いますか。

	とても重要	ある程度重要	あまり重要ではない	重要ではない	未記入	計
Q23 大学進学時に獲得した基礎学力	15 (15%)	70 (71%)	12 (12%)	0 (0%)	1 (1%)	98 (100%)
Q24 学問を修得することによる考え方の訓練	27 (28%)	65 (66%)	4 (4%)	0 (0%)	2 (2%)	98 (100%)
Q25 専門分野の修得による考え方の訓練	12 (12%)	64 (65%)	18 (18%)	2 (2%)	2 (2%)	98 (100%)
Q26 未知のことに目をひらかせられる経験	34 (35%)	55 (56%)	8 (8%)	0 (0%)	1 (1%)	98 (100%)
Q27 先端の学問に触れることによる知的好奇心	8 (8%)	70 (71%)	18 (18%)	0 (0%)	2 (2%)	98 (100%)
Q28 卒業論文・卒業研究、修士論文などの経験	6 (6%)	52 (53%)	35 (36%)	5 (5%)	0 (0%)	98 (100%)
Q29 アルバイトの経験	22 (22%)	52 (53%)	18 (18%)	2 (2%)	4 (4%)	98 (100%)
Q30 研究室・ゼミでの経験	13 (13%)	63 (64%)	21 (21%)	1 (1%)	0 (0%)	98 (100%)
Q31 教員との交流	16 (16%)	52 (53%)	26 (27%)	4 (4%)	0 (0%)	98 (100%)
Q32 友人・先輩との交流	40 (41%)	50 (51%)	8 (8%)	0 (0%)	0 (0%)	98 (100%)

Q33-Q53：貴社（貴事業所）が採用した大卒者の働く上での能力について、以下の項目は、貴社（貴事業所）で働く上で重要だと思いますか。

	とても 重要	ある程 度重要	あまり 重要で はない	重要で はない	未記 入	計
Q33 幅広い教養	21 (21%)	68 (69%)	8 (8%)	0 (0%)	1 (1%)	98 (100%)
Q34 多角的・総合的な思考	38 (39%)	58 (59%)	1 (1%)	0 (0%)	1 (1%)	98 (100%)
Q35 学問的思考の基礎	11 (11%)	67 (68%)	16 (16%)	1 (1%)	3 (3%)	98 (100%)
Q36 科学的・数量的に物事を見る力	14 (14%)	66 (67%)	17 (17%)	0 (0%)	1 (1%)	98 (100%)
Q37 外国語の能力	2 (2%)	28 (29%)	54 (55%)	14 (14%)	0 (0%)	98 (100%)
Q38 異文化の理解	4 (4%)	40 (41%)	46 (47%)	6 (6%)	2 (2%)	98 (100%)
Q39 健康や運動に関する科学的認識	5 (5%)	43 (44%)	41 (42%)	8 (8%)	1 (1%)	98 (100%)
Q40 インターネットで情報を適切に集める力	22 (22%)	60 (61%)	13 (13%)	2 (2%)	1 (1%)	98 (100%)
Q41 自ら学びをデザインする主体性	19 (19%)	61 (62%)	14 (14%)	1 (1%)	3 (3%)	98 (100%)
Q42 自ら学修する習慣	52 (53%)	42 (43%)	1 (1%)	0 (0%)	3 (3%)	98 (100%)
Q43 コミュニケーション力	82 (84%)	16 (16%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	98 (100%)
Q44 自ら人間関係をつくる力	64 (65%)	34 (35%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	98 (100%)
Q45 自らを律して行動できる力	51 (52%)	44 (45%)	3 (3%)	0 (0%)	0 (0%)	98 (100%)
Q46 必要な場合のリーダーシップの発揮	40 (41%)	56 (57%)	1 (1%)	0 (0%)	1 (1%)	98 (100%)
Q47 プレゼンテーション力	28 (29%)	59 (60%)	10 (10%)	0 (0%)	1 (1%)	98 (100%)
Q48 課題探究能力	30 (31%)	61 (62%)	5 (5%)	0 (0%)	2 (2%)	98 (100%)
Q49 キャリアデザイン力	6 (6%)	60 (61%)	31 (32%)	0 (0%)	1 (1%)	98 (100%)
Q50 複数の活動を調整する能力	28 (29%)	60 (61%)	10 (10%)	0 (0%)	0 (0%)	98 (100%)
Q51 大学・大学院で学んだ専門知識	4 (4%)	46 (47%)	42 (43%)	6 (6%)	0 (0%)	98 (100%)
Q52 グローバルな課題への関心	5 (5%)	53 (54%)	36 (37%)	4 (4%)	0 (0%)	98 (100%)
Q53 地域的な課題への関心	31 (32%)	59 (60%)	6 (6%)	2 (2%)	0 (0%)	98 (100%)

第2項 公共機関アンケート

I. 貴機関の大学卒業者・大学院卒業者の採用状況についてお伺いいたします。

Q1-Q4:過去5年間(2015～2019年計)の貴機関の「大学新卒者」の採用者数について、その人数をご記入ください。なお、該当者がいない場合「0」と記入してください。また、不明の部分については、空欄のまま次の設問にお進みください。

【学部】	過去5年間(2015～2019年計)		うち、2019年4月入社	
	Q1 大卒全体の採用者数	Q2 うち福島大学からの採用者数	Q3 大卒全体の採用者数	Q4 うち福島大学からの採用者数
0人	0(0%)	1(1%)	2(2%)	8(8%)
1人	0(0%)	2(2%)	2(2%)	11(11%)
2～5人	1(1%)	13(13%)	12(12%)	10(10%)
6～10人	4(4%)	7(7%)	5(5%)	2(2%)
11～20人	7(7%)	4(4%)	3(3%)	1(1%)
21～40人	7(7%)	3(3%)	1(1%)	0(0%)
41～60人	3(3%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
61～80人	0(0%)	0(0%)	3(3%)	0(0%)
81～100人	1(1%)	1(1%)	0(0%)	1(1%)
101～200人	0(0%)	0(0%)	1(1%)	0(0%)
201～300人	1(1%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
301～400人	1(1%)	1(1%)	0(0%)	0(0%)
401～500人	1(1%)	0(0%)	1(1%)	0(0%)
501～1000人	1(1%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
1001人以上	2(2%)	0(0%)	1(1%)	0(0%)
未記入	5(5%)	2(2%)	3(3%)	1(1%)
計	34(100%)	34(100%)	34(100%)	34(100%)

Q5-Q8:過去5年間(2015～2019年計)の貴機関の「大学院新卒者」の採用者数について、その人数をご記入ください。なお、該当者がいない場合「0」と記入してください。また、不明の部分については、空欄のまま次の設問にお進みください。

【大学院】	過去5年間(2015～2019年計)		うち、2019年4月入社	
	Q5 大卒全体の採用者数	Q6 うち福島大学からの採用者数	Q7 大卒全体の採用者数	Q8 うち福島大学からの採用者数
0人	11(11%)	23(23%)	19(19%)	29(30%)
1人	4(4%)	6(6%)	5(5%)	1(1%)
2～5人	6(6%)	1(1%)	3(3%)	0(0%)
6～10人	2(2%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
11～20人	1(1%)	0(0%)	0(0%)	1(1%)
21～40人	2(2%)	1(1%)	1(1%)	0(0%)
41～60人	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
61～80人	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
81～100人	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
101～200人	1(1%)	0(0%)	1(1%)	0(0%)
201～300人	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
301～400人	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
401～500人	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
501～1000人	1(1%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
1001人以上	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
未記入	6(18%)	3(9%)	5(15%)	3(9%)
計	34(100%)	34(100%)	34(100%)	34(100%)

Q9-Q11：貴機関において、過去５年間で採用者数の多い上位３校の大学名をご記入ください。

１位	
福島大学	19(56%)
岩手大学	3(9%)
東北大学	1(3%)
東北学院大学	1(3%)
千葉大学	1(3%)
未記入	9(26%)
計	34(100%)

２位	
日本大学	4(12%)
山形大学	3(9%)
東北学院大学	2(6%)
文教大学	1(3%)
福島大学、弘前大学	1(3%)
福島大学	1(3%)
東洋大学	1(3%)
東北大学	1(3%)
中央大学	1(3%)
専修大学、日本大学	1(3%)
神奈川大学	1(3%)
新潟大学	1(3%)
高崎経済大学	1(3%)
宮城教育大学、新潟大学	1(3%)
岩手大学	1(3%)
会津大学・秋田大学・新潟大学・東北学院大学・日本大学	1(3%)
未記入	12(35%)
計	34(100%)

３位	
東北学院大学	2(6%)
新潟大学	2(6%)
福島県立医科大学	1(3%)
東北福祉大学	1(3%)
東北大学、山形大学	1(3%)
東北大学	1(3%)
中央大学	1(3%)
中央大学、明治大学、東京理科大学、同志社大学	1(3%)
拓殖大学	1(3%)
千葉科学大学	1(3%)
新潟大学、山形大学	1(3%)
淑徳大学	1(3%)
岩手県立大学	1(3%)
未記入	19(56%)
計	34(100%)

Q12-Q16：貴機関では、大卒者の選考時に以下の項目のようなことをどの程度重視していますか。

	とても重要	ある程度重要	あまり重要ではない	重要ではない	未記入	計
Q12 卒業（修了）した大学	0 (0%)	9 (26%)	15 (44%)	6 (18%)	4 (12%)	34 (100%)
Q13 卒業（修了）時の専門分野	2 (6%)	14 (41%)	12 (35%)	2 (6%)	4 (12%)	34 (100%)
Q14 成績（研究成果含む）	1 (3%)	16 (47%)	9 (26%)	3 (9%)	5 (15%)	34 (100%)
Q15 サークル等での実績	0 (0%)	14 (41%)	12 (35%)	3 (9%)	5 (15%)	34 (100%)
Q16 人的なネットワーク	2 (6%)	11 (32%)	11 (32%)	4 (12%)	6 (18%)	34 (100%)

Ⅱ. 貴機関で採用した大卒者の働く上での能力についてお伺いいたします。

Q17-Q19：次の社会人基礎力について、貴機関が大卒者の選考時に重視するのはどの能力ですか。また、福島大学の卒業生・修了生について優れている、及び不足していると感じられるのはどの能力ですか。それぞれ当てはまる項目全てを選択してください（複数選択可）。

	Q17 選考時に重視する能力	Q18 福島大学生の優れた能力	Q19 福島大学生に不足している能力
1 物事に進んで取組む力(主体性)	29 (85%)	6 (18%)	3 (9%)
2 他人に働きかけ巻き込む力(働きかけ力)	13 (38%)	0 (0%)	2 (6%)
3 目的を設定し確実に行動する力(実行力)	21 (62%)	4 (12%)	0 (0%)
4 現状を分析し課題を明らかにする力(課題発見力)	18 (53%)	4 (12%)	0 (0%)
5 課題解決の過程を明らかにし準備する力(計画力)	15 (44%)	3 (9%)	1 (3%)
6 新しい価値を生み出す力(創造力)	12 (35%)	0 (0%)	3 (9%)
7 自分の意見を分かりやすく伝える力(発信力)	23 (68%)	2 (6%)	3 (9%)
8 相手の意見を丁寧に聴く力(傾聴力)	18 (53%)	9 (26%)	0 (0%)
9 意見の違いや立場の違いを理解する力(柔軟性)	21 (62%)	5 (15%)	1 (3%)
10 自分と周囲のとの関係性を理解する力(状況把握力)	18 (53%)	5 (15%)	1 (3%)
11 社会のルールや人との約束を守る力(規律性)	22 (65%)	8 (24%)	0 (0%)
12 ストレスに対応する力(ストレスコントロール力)	17 (50%)	3 (9%)	2 (6%)
未記入	5 (15%)	21 (62%)	25 (74%)

注：ここでのパーセントは全体（34）を分母とした場合の割合。

Q20-Q29：貴機関で働く上で以下に掲げた大学・大学院時代の経験はどの程度重要だと思いますか。

	とても重要	ある程度重要	あまり重要ではない	重要ではない	未記入	計
Q20 大学進学時に獲得した基礎学力	5 (15%)	21 (62%)	4 (12%)	0 (0%)	4 (12%)	34 (100%)
Q21 学問を修得することによる考え方の訓練	10 (29%)	18 (53%)	1 (3%)	0 (0%)	5 (15%)	34 (100%)
Q22 専門分野の修得による考え方の訓練	11 (32%)	13 (38%)	5 (15%)	0 (0%)	5 (15%)	34 (100%)
Q23 未知のことに目をひらかせられる経験	11 (32%)	14 (41%)	2 (6%)	1 (3%)	6 (18%)	34 (100%)
Q24 先端の学問に触れることによる知的好奇心	8 (24%)	14 (41%)	6 (18%)	0 (0%)	6 (18%)	34 (100%)
Q25 卒業論文・卒業研究、修士論文などの経験	2 (6%)	14 (41%)	12 (35%)	0 (0%)	6 (18%)	34 (100%)
Q26 アルバイトの経験	3 (9%)	15 (44%)	9 (26%)	1 (3%)	6 (18%)	34 (100%)
Q27 研究室・ゼミでの経験	2 (6%)	20 (59%)	6 (18%)	0 (0%)	6 (18%)	34 (100%)
Q28 教員との交流	3 (9%)	14 (41%)	10 (29%)	0 (0%)	7 (21%)	34 (100%)
Q29 友人・先輩との交流	5 (15%)	21 (62%)	3 (9%)	0 (0%)	5 (15%)	34 (100%)

Q30-Q50：貴機関が採用した大卒者の働く上での能力について、以下の項目は、貴機関で働く上で重要だと思いますか。

	とても 重要	ある程 度重要	あまり 重要で はない	重要で はない	未記入	計
Q30 幅広い教養	13 (38%)	15 (44%)	2 (6%)	0 (0%)	4 (12%)	34 (100%)
Q31 多角的・総合的な思考	20 (59%)	10 (29%)	0 (0%)	0 (0%)	4 (12%)	34 (100%)
Q32 学問的思考の基礎	7 (21%)	21 (62%)	2 (6%)	0 (0%)	4 (12%)	34 (100%)
Q33 科学的・数量的に物事を見る力	6 (18%)	17 (50%)	4 (12%)	1 (3%)	6 (18%)	34 (100%)
Q34 外国語の能力	2 (6%)	18 (53%)	7 (21%)	1 (3%)	6 (18%)	34 (100%)
Q35 異文化の理解	3 (9%)	17 (50%)	8 (24%)	0 (0%)	6 (18%)	34 (100%)
Q36 健康や運動に関する科学的認識	2 (6%)	14 (41%)	11 (32%)	1 (3%)	6 (18%)	34 (100%)
Q37 インターネットで情報を適切に集める力	6 (18%)	19 (56%)	3 (9%)	0 (0%)	6 (18%)	34 (100%)
Q38 自ら学びをデザインする主体性	8 (24%)	16 (47%)	4 (12%)	0 (0%)	6 (18%)	34 (100%)
Q39 自ら学修する習慣	21 (62%)	8 (24%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (15%)	34 (100%)
Q40 コミュニケーション力	25 (74%)	5 (15%)	0 (0%)	0 (0%)	4 (12%)	34 (100%)
Q41 自ら人間関係をつくる力	22 (65%)	8 (24%)	0 (0%)	0 (0%)	4 (12%)	34 (100%)
Q42 自らを律して行動できる力	22 (65%)	7 (21%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (15%)	34 (100%)
Q43 必要な場合のリーダーシップの発揮	17 (50%)	11 (32%)	0 (0%)	0 (0%)	6 (18%)	34 (100%)
Q44 プレゼンテーション力	10 (29%)	18 (53%)	1 (3%)	0 (0%)	5 (15%)	34 (100%)
Q45 課題探究能力	13 (38%)	15 (44%)	0 (0%)	0 (0%)	6 (18%)	34 (100%)
Q46 キャリアデザイン力	6 (18%)	16 (47%)	5 (15%)	0 (0%)	7 (21%)	34 (100%)
Q47 複数の活動を調整する能力	13 (38%)	13 (38%)	2 (6%)	0 (0%)	6 (18%)	34 (100%)
Q48 大学・大学院で学んだ専門知識	5 (15%)	14 (41%)	9 (26%)	1 (3%)	5 (15%)	34 (100%)
Q49 グローバルな課題への関心	8 (24%)	18 (53%)	1 (3%)	1 (3%)	6 (18%)	34 (100%)
Q50 地域的な課題への関心	21 (62%)	7 (21%)	1 (3%)	0 (0%)	5 (15%)	34 (100%)

令和元年度(2019年度)
卒業生・修了生・就職先調査報告書

令和3年1月発行

編 集: 福島大学教育推進機構高等教育企画室

発 行: 福島大学教育推進機構